

www.ima-ams.co.jp

facebook [www.facebook.com/amsdesign.ima](http://www.facebook.com/amsdesign.ima)

twitter [twitter.com/#!/ima\\_ams](https://twitter.com/#!/ima_ams)



**ima**® 株式会社アムズデザイン 〒289-2516 千葉県旭市口404番1  
Phone 0479-62-8505 Fax 0479-62-7880 info@ima-ams.co.jp

imaからお願い：「KEEP CLEAN」フィールドをいつも美しく保つため、ゴミは必ず持ち帰りましょう。資源保護のため必要以上の魚のキープは慎みましょう。いつまでもゲームフィッシングを楽しむことできる環境を次代へと遺しましょう。

▲ 釣り以外の目的に使用しないでください。 ● 幼児子供の手の届かないところに保管してください。  
● 針先は大変危険です。取扱いに注意してください ● ルアーを投げる場合、周囲の安全を確かめ危険のないことを確認してください。  
注意 ● 車中など高温場所に保管しないでください。熱による破裂・変形が起こる恐れがあります

製品の仕様、カラーは予告無く変更する場合がございます。製品の写真は印刷のため実物と若干色味が異なる場合がございます。御了承ください。

 **ima**®  
SEABASS/TROUT/BASS



2013

2011

- 1/25 Koume60
- 1/25 Flit 100
- 2/18 Koume90
- 2/28 SQUARE BILL
- 3/10 sukari 50SS/50SS Deep
- 3/31 molmo 80
- 4/18 komomoII 90
- 5/25 Melty Nymph
- 5/31 NEW GUN吉20・30・40g
- 7/18 Sea Mouse
- 7/18 komomo SF-110
- 8/12 GUN吉7・12g
- 8/21 BEAST HUNTER
- 8/25 SPIN GULF 30
- 9/25 BarbarossA 95
- 10/9 ROCK N' VIBE 19g
- 10/25 Hound 125F Glide
- 11/10 Flechette 100
- 12/10 FLAMING DART
- 12/25 Hound 125F Fang

2012

- 2/21 Pin Jack-200
- 2/21 issen 45S
- 3/10 DEVIL'S CROSS
- 3/10 PLUS DRIVER
- 4/10 しらすネ〜ク
- 4/30 Hound 125F Orca
- 5/10 MIGHTY HOG
- 5/25 komomo SF-90
- 6/25 Melty Nymph 3inch
- 7/10 JIVE
- 7/10 JIVEHEAD
- 7/20 FLAMING DART 95F
- 8/10 SPIN GULF 20
- 8/15 Koume INFINITY 28
- 9/10 sasuke 130 剛力
- 12/10 しらすネ〜ク ミニ
- 12/10 Aldente 95

2013

- 2/25 Hound 100F Sonic

2007

- 1/21 Farina 90S/Deep 85F
- 1/31 CALM 80
- 2/10 Farina 90SR
- 3/10 komomo SF-95 Slim
- 5/21 Keep 90MD
- 6/10 魚道 130MD
- 7/10 NABARONE stuka
- 9/10 imapopkey

2008

- 3/21 HONEY TRAP 70S
- 4/21 Keep 125F
- 6/21 sasuke 140 裂波
- 8/10 NABARONE 125S
- 9/21 RUNDAM 80
- 12/15 CALM 110

2009

- 3/10 komomo II
- 6/30 sasuke 75 shad
- 8/10 NABARONE 150F
- 9/30 p-ce 100
- 11/30 sasuke 105
- 12/21 mebaCALM

2010

- 2/21 Farina 70S
- 3/31 Flit 120
- 4/10 ROCK N' VIBE 14・17g
- 4/21 sukari 50S
- 4/28 Koume70
- 4/30 NABARONE 125F SLIM
- 4/30 ima Shaker
- 5/21 Koume80
- 5/31 ikuri 60
- 5/31 ima Skimmer
- 6/10 TRILOBITE S/M
- 6/10 Turtle Head
- 6/10 ROUMBA
- 6/21 imapopkey 80
- 7/21 NEW Ligid 70
- 7/31 BarbarossA
- 8/21 PUGACHEV'S COBRA
- 9/21 RUNDAM twitcher
- 10/21 p-ce 80S
- 11/21 NEW komomo SF-125
- 12/18 FOXY FRY
- 12/18 TRILOBITE SS

2011

1998~2003

- 1998/6/15 komomo SF-125
- 2001/11/15 sasuke SF-95/SS-95
- 2003/8/21 Ro 百郎/八十郎
- 2003/12/9 Ro 百二十郎
- 2003/12/21 imagene 110

2004

- 4/21 GUN吉 30g
- 6/21 B-太 70
- 9/21 sasuke 120 裂波
- 10/21 B-太 66 MOGE
- 12/21 p-ce 80

2005

- 3/31 imagene 130
- 4/21 trip 85
- 5/31 GUN吉 20g
- 6/21 sobat 80
- 8/10 魚道 110MD
- 8/31 GUN吉 40g
- 9/30 Ro 六十郎/八十郎 リアウエイト
- 11/21 NABARONE
- 12/1 Farina 90F
- 12/21 komomo SF-130 Slim

2006

- 1/21 trip 66
- 3/31 VIBE 80
- 4/10 Ligid 70
- 4/30 魚道 Heavy Surfer 90
- 5/21 B-太 60SR
- 5/31 B-太 80SR
- 7/21 Keep 90S
- 8/10 VIBE 80 1oz
- 11/21 ko 130S
- 12/21 HONEY TRAP 95S

2007

- 61
- 62
- 63
- 64
- 65
- 68
- 69
- 70
- 71
- 72
- 73
- 74

issen 45S イッセン 45S    sukari 50SS Deep スカリ 50SS ディープ

sukari 50S スカリ 50S    sukari 50SS スカリ 50SS

Farina 70S ファリーナ 70S    Farina 90SR ファリーナ 90SR

Farina 90F ファリーナ 90F    Farina 90S ファリーナ 90S

Farina Deep 85F ファリーナ 85F

2013新製品 [TROUT]

2013新製品 [BASS]

SQUARE BILL スクエアビル

FOXY FRY フォクシーフライ

PINJACK-200 ピンジャック200

ROCK-N' VIBE 14g/17g/19g ロッキンバイブ

Roumba ランバ    ima Skimmer アイマ スキマー

Flit フリット100    Flit フリット120

Roumba ボーンカラー    Flit ボーンカラー

BEAST HUNTER ビーストハンター

ima Shaker アイマ シェイカー    MIGHTY HOG マイティホッグ

PLUS DRIVER プラスドライバー    DEVIL'S CROSS デビルスクロス

- 27
- 28
- 29
- 30
- 41
- 42
- 47
- 48
- 49
- 50

Hound 125F Glide ハウンド 125F グライド

Hound 125F Fang ハウンド 125F ファンング

Hound 125F Orca ハウンド 125F オルカ

Hound 100F Sonic ハウンド 100F ソニック

NABARONE 150F ナバロン 150F    NABARONE ナバロン

NABARONE 125S ナバロン 125S    NABARONE ナバロン スズーカ

NABARONE 125F ナバロン 125F SLIM

HONEY TRAP 95S ハニートラップ 95S    HONEY TRAP 70S ハニートラップ 70S

ko 130S コウ 130S    Keep 125F キープ 125F

p-ce 100 ピース 100    p-ce 80S ピース 80S

RUNdAM 80 ランダム 80    RUNdAM ランダム トウィッチャー

subat ソバット 80

FLAMING DART フレイミングダート    FLAMING DART 95F フレイミングダート BD-95F

FLAMING DART 95S RC フレイミングダート BD-95S RC

BALBA ROSA バルバロッサ    BALBA ROSA 95 バルバロッサ 95

FINISH 100 フレッシュ 100    PUGACHEV'S COBRA プガチョフコブラ

JIVE ジャイブ    JIVE HEAD ジャイブヘッド

Melty Nymph メルティニフ    Melty Nymph メルティニフ

Sea Mouse シーマウス

シラスネ〜ク    シラスネ〜ク ミニ

Turtle Head タートルヘッド    TRILOBITE トライロバイト

八十郎    六十郎    六十郎    八十郎

百郎    百二十郎    百二十郎    百二十郎

GUN吉    GUN吉

ガンキチ 40g/30g/20g/12g/7g

2013新製品 [SALT]

- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 25
- 26

komomo SF-125 コモモ SF-125    komomo SF-110 コモモ SF-110

komomo SF-90 コモモ SF-90

komomo SF-130 Slim コモモ SF-130 スリム    komomo SF-95 Slim コモモ SF-95 スリム

komomo II コモモ II    komomo II 90 コモモ II 90

sasuke 130 剛力 サスケ 130ゴウリキ

sasuke 140 (裂波) サスケ 140レツパ    sasuke 120 (裂波) サスケ 120レツパ

sasuke 105 サスケ 105    sasuke SF-95/SS-95 サスケ SF-95/SS-95

sasuke 75 shad サスケ 75シャッド

Beta 70 ビータ 70    Beta MOGE ビータ 66 モーグ

Good Do 130MD ギョウドウ 130MD    Good Do 110MD ギョウドウ 110MD

Heavy 90 ギョウドウ ヘビーサーファー 90

INFINITY 28 コウメインフィニティ 28

SPIN GOLF 30 スピンゴルフ 30    SPIN GOLF 20 スピンゴルフ 20

Koume 90 コウメ 90    Koume 80 コウメ 80

Koume 70 コウメ 70    Koume 60 コウメ 60

IKURU 60 イクリ 60    Ligid 70 リジッド 70

Aldente 95S アルデンテ 95S    molmo 80 モルモ 80

imapopkey アイマポッキー    imapopkey 80 アイマポッキー 80

CALM 110 カーム 110    CALM 80 カーム 80

meba CALM メバカーム

trip 85 トリップ 85    trip 66 トリップ 66

History of products EST.1998

人生の途上に、  
この喜びと出会いを。



# 釣りのある人生

水面にたゆたう、手にした魚の銀色のきらめき。  
過ぎ去った興奮の余韻が、鼓動となって胸を打つ…。

魚と出会うこと。

釣りは、その瞬間を求めて試行錯誤を繰り返す遊びだろう。  
しかし僕たち釣り人の喜びとは、それだけなのだろうか？

夜の港、潮止まりの時間。

釣友たちと竿を置き、コップを片手に語り合う。

親友と遠征で憧れの海を訪れ、

その美しさと素晴らしさを共有する。

様々な出会いや、ゆつくりと流れる時間…。

釣り人の喜びのそばに、魚の姿がないことだってある。

仕事と生活、家族、そして釣り…。

社会の中で生活している僕たちは、

完全なる自由の中にいるわけではない。

だけど釣りという遊びとの関わり方においては、

完全に自由だ。

ひたすらに釣りまくるのもいい。

仕事や家族を大切にしながら、

余裕がある時に水辺に立つのもまた楽しいものだ。

十人の釣り人がいれば、十通りの人生と、

そして釣りの楽しみ方がある。

お金や仕事で人生を窮屈にした人はいるかもしれない。

でも釣りという遊びに出会って、

人生を貧しくした人などいるのだろうか。

釣りのある人生。

それはきっと釣り人全員にとって、

豊かで、そして楽しい人生に違いない。





成就是、次の冒険の始まり。彼は魚を追って、走り続ける。

「…来た」  
 つい今しがた、目の前で仲間がメーターオーバーを  
 バッスのを見ていた。  
 心の準備は、できていた方なのかもしれない。  
 突然のあたり即座にアワセを入れていた。  
 ほとんどフルに締めてあるドラッグが、切れ目のない  
 悲鳴を上げ始める。  
 相手は暗い水の中、その力を誇示するよまに疾走  
 を始めた。

「上流へ走って」見守ってくれている仲間の一人が  
 叫んだ。相手は、ストロクチャーへと向かっている。  
 上流へ移動し、角度を稼いでラインブレイクを防  
 ぐのだ。彼は泣き叫ぶドラッグと出ていくラインを  
 確認しながら走った。すると、相手は向きを変え  
 てこちらへと迫ってきた。  
 ここぞとばかりリーリングでたぐり寄せると、相  
 手はまだ沖へと逃げる。  
 綱引きのようなファイトを繰り返した。  
 そして相手は、ついに水面を割る。  
 「アカメだっ！」

周りにいた仲間全員が声をそろえて叫んだ。  
 相手の姿を目にしたとき、彼の胸には意外な思い  
 がよぎっていた。  
 「このサイズなら、獲れそうだ……」  
 針を伸ばされ、ロッドをヘシ折られ、その異様な魚  
 体を目の前に何度も見せつけられてきた。  
 これまでアカメを長年追い続けて尚叶わなかった  
 アングラーにとって、それは心の底から漏れた眩し  
 かった。

彼は、ついに手にする初めての釣果を目の前にし  
 て、安堵を覚えていたのだ。

しかし相手は猛き魚、アカメである。緊張感の  
 あるファイトは尚も続いた。  
 背後には、自分のロッドすら放り出し、彼の釣果  
 を待つ仲間たちが固唾をのんで見守っていた。

…やがて仲間が差し出したネットに、無事アカ  
 メが獲りこまれた。  
 70cm。アカメにしては、大きなサイズではないのか

もしれない。  
 でも、彼を知るその場にいた皆にとつてそんなこ  
 とはどうでもよかった。仲間たちは、喜びの叫び声  
 をあげて彼の肩を抱いた。

2012年5月、このとき小林厚治というアング  
 ラーの、20年越しの夢が実現となった。

小林厚治というアングラーがいる。  
 imaテスター、フィッシングチームTokyo Sea  
 Paradise代表。

シーバスフィッシング黎明期よりロッドを振り続  
 け、西に東に奔走し、多くの仲間の人々や魚との  
 出会いを届け、ロアマ問わず多くのアングラーか  
 ら「アニキ」と慕われている、往年のアングラーだ。  
 往年とはいつても、彼の釣りは終わってなどない。  
 彼を重鎮と呼ぶにはまだ早いのかもしれない。  
 アングラーとして、若者顔負けのバリバリの現役  
 なのだ。

CM制作会社のプロデューサーという多忙な職  
 業にありながら連日関東東部の海や川へと通い、しば  
 しば他県への遠征にも出かける。  
 週末に飛行機で釣りに出かけ、月曜日に羽田から  
 直接出社することも珍しくない。

そして釣り場では、フィールドをよく知る地元  
 の釣り仲間が彼を迎える。  
 ロッドとルアーがすぐそばにある生活を、多くの  
 仲間を支えられながら彼は何十年も「心底楽し  
 みながら」続けてきた。

小林厚治は、多くの人が思い描く「釣りのある  
 良き人生」を具現化した稀有なアングラーの一人  
 であるのかもしれない。  
 釣りとは人生。そのテーマを語るべき、だれもが思い  
 浮かべるアングラーである。

そんな彼の「スタイル」は、一人の男の出現によっ  
 て始まることになる。  
 時は30数年前にさかのぼる。  
 それが夜の釣り場にジャガーに乗って現れた、一風  
 変わったアングラー、西村雅裕氏との出会いだった。



2012年、小林厚治は3尾のアカメを手に入れている。一尾目は本文にある5月の70cm。次いで10月、ECLIPSE・ヒデ林氏の手による87cm。ヒデ林氏とは旧知の仲で、かつて干潟の釣り場で毎夜同行するメンバーの内のひとりだった。この日は約10年ぶりに一緒に竿を振るう機会に恵まれた。最後に12月、後述のimaテスター西村好仁氏と共にグレイゴースト号で挑んだ124cmである。2012年は、彼にとつて忘れられない一年となったはずだ。

小林厚治にとって2尾目となった87cmのアカメ。この時すぐそばで釣りをしていたヒデ林氏は、自身の取材中だったのにも関わらず、ロッドを置いてランディングに手を貸したという。

1998年、千葉県で産声を上げたkomomo SF-125。  
komomoの誕生は、当時のシーバスシーンに大きな衝撃をもたらしました。  
それから15年が経ち、ルアーやタックルの進化・アングラーの増加によって、  
シーバスフィッシングは大きな変貌を遂げました。

釣り人同士の繋がりを深めたり、  
魚だけでなくフィールド全体に目を向けたりするなど  
釣果以外の部分も、楽しむ人が増えてきたように思います。  
それは皆が気軽に楽しめるようになってきた今こそ  
大切なことなのかもしれません。

釣果の先にあるもの。  
アングラーが感じる幸せをその中に見出し、ご提案する。  
皆様がもっともっと釣りのある人生を  
幸せに送るためのお手伝いをしていきたい。  
それが私たちimaの、これからの使命だと信じています。



ルアー・マガジンソルト誌  
SWタックルオブザイヤー  
sasukeシリーズ4連覇!



2012年、ルアー・マガジンソルト誌の  
SWタックルオブザイヤー「ルアー部門」にてV4を達成  
記念のアルミ貼りオリジナルカラーが2013年3月25日に発売される

1998年発売当初、旧imaロゴのkomomo SF-125  
水面直下をトレースするこのルアーの登場で  
シーバスシーンが大きく変わった



### 新しいフィールドと、憧れの魚。一人の男がもたらしたもの。

30年以上も前のこと…。当時サーフィンで海に通っていた小林厚治は波打ち際を歩いてくる一人のアングラーの姿を目にする。  
ウエーダーを履いて、長い釣竿。手には大きな魚をぶら下げている。  
その魚を見てどうやって釣ったのかと尋ねると、アングラーはむしろ自分で作ったのであろう手作りのジグを見せてくれた。  
「これで釣れるんですか？」と小林厚治は思わずそのアングラーに尋ねていた。  
多くのルアーアングラーが最初につかる疑いに、彼もまた同じようにぶつかったのだ。  
「釣れるよ！目の前で魚を手を持った人にそう言われても、まだ半信半疑だった。  
それでも「釣ってみたい」という好奇心が湧き上がってきた。  
釣り小屋に走り、道具を買い揃える。当時、まだシーバス専用のロッドなどなく、ムーチングロッドで、ナイロンラインにミノーを直結して投げている。  
毎日のように夜の港湾へ通うようになり、やがてさらに広いフィールドを求めて荒川へと足を延ばすようになった。  
ここまでは、釣りに魅了されていく一人のアングラーの典型的なストーリーなのかもしれない。  
しかし次に彼を待っていたのは、運命的な出会いだったのだ。  
彼が荒川で釣りをしていたある夜、釣り場にジャガーを乗りつけ、颯爽と水辺に降り立ったのはどこか垢抜けた雰囲気のある西村氏。シーバスフィッシング黎明期のこの時代に格好よく見えたのは当然だろう。  
容姿だけではなく、釣りのスマートさも目を引いたのだらう。

とにかく、西村雅裕と小林厚治。また20歳そこそこだった若き二人はこうして出会った。  
そして当然のように意気投合し、ともに釣り場へと通うようになった。  
「秋がすぎいんだ」西村氏の言葉につられ、小林厚治は秋の訪れを待ち、彼と木更津へと向かう。  
当時、川崎から東京湾を横断するアクアラインはまだない。週末になると、二人は片道2時間かけて、木更津へと車を走らせた。  
「ルアーは引く掛じゃないか」と言う人がまだいるような時代だった。  
釣り場に人影はほとんどなく、当時の飛ばないタックルでも十分な釣果を上げ続けることができた。  
「素晴らしい状況の時に、好きな場所にひいっと入って釣りができたんだ」と彼は言う。当然釣果を上げ続けるためには腕も必要だろう。だがそれだけではない。  
西村氏との出会いという不思議な縁に導かれて、彼は広いフィールドに出ることができた。  
さらに仲間に紹介されてkomomoというルアーに出会い、西村氏とのシーバスフィッシングに大きな変化をもたらした事も特筆すべきひとつの奇妙な縁と言っべきであろう。  
ストレスのない豊富なフィールドを独占に近い形で楽しむことは、まだ離れなかったこの国のシーバスフィッシングを切り開いてきた当時の開拓者たちの特権であったのかもしれない。  
月日が経ち、西村雅裕氏と釣行を繰り返していた小林厚治はある時、西村氏の持つウエダCPSのロッドのエンブレムに目を留める。  
そのシルエットは、伝説の魚をかたどっていた。  
どんな魚なのかと尋ねると、西村氏はなんと、愛車にその魚の剥製を積んで、彼のもとまで見せに運んでくれたという。  
アカメ。西村氏はその巨大魚が棲む高知県の出身だった。  
ここでまた、ひとつの縁が繋がっていく。  
その瞬間から、アカメはアングラー小林厚治にとって幻の魚ではなくなっていたのだらう。

## komomo® SF-95 Slim

[全長]95mm [重量]16g [タイプ]フローティング(海水) [レンジ]15~30cm  
[アクション]ウォブロール [フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2007/3/10



バチ、稚アユ、シラス、サヨリ...自然界には案外シルエットの細いベイトが存在する。これらのベイトを捕食するシーバスはルアーシルエットに対し非常にセレクトティブ。ワーム感覚で使えるkomomo SF-95 Slimはフィネスタックルと組み合わせて攻略。

## komomo® SF-130 Slim

[全長]130mm [重量]12g [タイプ]フローティング [レンジ]20~60cm  
[アクション]ウォブロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,205円(税抜2,100円) [誕生日]2005/12/21



ルアーが進歩するならば、フィールドもまた日々変化していくもの。昨今のシャローフィールドはタフネス化の一途をたどり、シーバスが容易に口を使わなくなってきている。komomo SF-125に比べてシルエットを抑え、ロールのピッチは速く、レンジを深くしたスレ対策の決定版。

## komomo® SF-110

[全長]110mm [重量]12g [タイプ]フローティング [レンジ]0~50cm  
[アクション]ローリング+ウォブリング [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,995円(税抜1,900円) [誕生日]2011/7/18



シャローゲームの定番ともいえるkomomoSF-125のダウンサイジング版。110mmでスリムなシェイプを持ちながらもタンクステンウエイトを搭載することにより安定した飛距離を実現。また、着水時の姿勢にもこだわり、着水の音を小さくすることに成功。アクションを抑え気味にすることで他のシャローランナーとの使い分けが可能にした。ここぞというピンスポットで狙ったターゲットを食わせる。

## komomo® SF-125

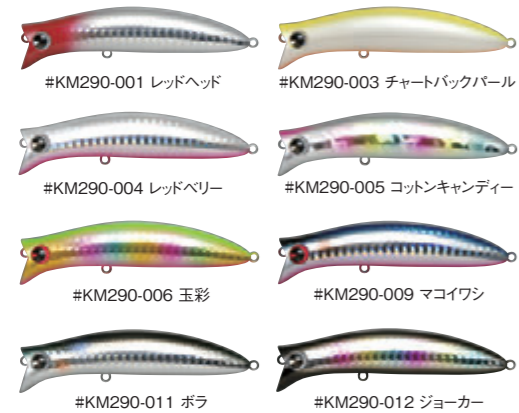
[全長]125mm [重量]16g [タイプ]フローティング [レンジ]0~30cm  
[アクション]ローリング+ウォブリング [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,205円(税抜2,100円) [誕生日]2010/11/21



2010年秋シーズンに大幅なリニューアルを断行。進化を続ける現代型シャローゲーム対応させるために、旧komomo SF-125のポテンシャルをそのままボトムアップ。使って明らかに違いがわかるほどの改良を是非体感していただきたい。

## komomo® II 90

[全長]90mm [重量]12g [タイプ]フローティング [レンジ]0~20cm  
[アクション]ローリング+ウォブリング [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2011/4/18



水面攻略のマスターアイテムkomomo IIにダウンサイジングモデルがラインナップ。デッドスローでリトリブすれば水面をノタノタとアクション。その引き波はシーバスを強く誘き寄せ。ロッドティップを下げて通常リトリブすれば水面直下をスネークアクション。ベイトサイズの小さい春~夏場にかけて、一度使ったらもう手放せない使いやすさが魅力。

## komomo® II

[全長]110mm [重量]15g [タイプ]フローティング [レンジ]0~20cm  
[アクション]ローリング+ウォブリング [フック]ST-46 #3 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,205円(税抜2,100円) [誕生日]2009/3/10



特定の条件下で大爆発する表層直下のフィーディングレンジ。高活性のようでありながらレンジに気難しいシーバスに対し、うねりを伴うアクションと微細な引き波で強烈なバイトに持ち込む。

## komomo® SF-90

[全長]90mm [重量]14g [タイプ]フローティング [レンジ]30~60cm  
[アクション]ローリング+ウォブリング [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,943円(税抜1,850円) [誕生日]2012/5/25



imaブランドを代表するシャローランナーとして日本中のアングラーに愛され続けるkomomoシリーズ。そのkomomoシリーズにダウンサイズの90mmモデルが新たに仲間入り!! komomoの高い基本性能をベースに喰わせを重視した一口サイズのボディでガッチリとターゲットに口を使わせます。90mmとは思えない飛距離を実現し、コモモIIやコモモシリーズでは手の届かない未開拓ポイントを攻略できます。さらにコモモシリーズをローテーションさせることでシーバスに見切られることなく食性を刺激し続け、より高次元な釣りを展開できます。

## sasuke® SS-95

[全長]95mm [重量]10g [タイプ]シンキング [レンジ]30~60cm  
[アクション]ウォンロー [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,785円(税抜1,700円) [誕生日]2001/11/15

## sasuke® SF-95

[全長]95mm [重量]8g [タイプ]フローティング [レンジ]10~60cm  
[アクション]ウォンロー [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,785円(税抜1,700円) [誕生日]2001/11/15



リップレスの欠点と言われた速い流れでの飛び出しを独自形状のリップで克服。  
リップレスとリップ付きの長所を兼ね備えたミノー。  
SFモデルはシャロー攻略を得意とし、軽快なアクションが特長。  
SSモデルはタングステンウエイトを装備し、速い流れの攻略やオカッリゲームを得意とする。  
二つをローテーションすることで、攻められる範囲が格段に広がる。

## sasuke® 75 shad

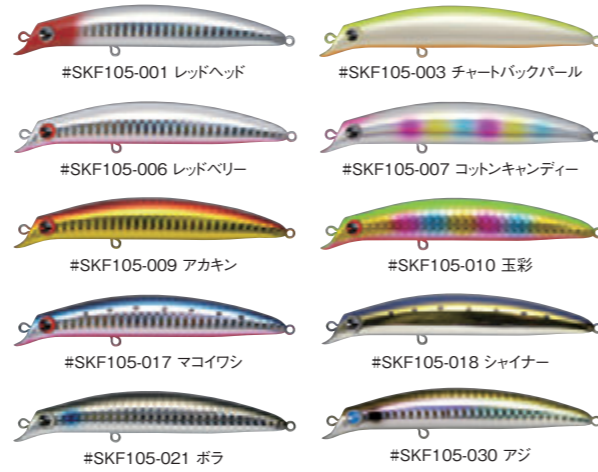
[全長]75mm [重量]8g [タイプ]シンキング [レンジ]60~120cm  
[アクション]ウォンロー [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,628円(税抜1,550円) [誕生日]2009/6/30



リップレスとシャッドプラグを融合させたsasuke 75 shad。  
リップレスの特徴を残しながら、シャッドシェイプを持たせることによって75mmサイズにありがちなアピール不足を克服。  
幅広ボディから放たれるフラッシングは強烈な集魚効果が期待できる。

## sasuke® 105

[全長]105mm [重量]13g [タイプ]フローティング [レンジ]50~80cm  
[アクション]ウォンロー [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2009/11/30



sasuke 120 裂波の性能を踏襲しつつも新機軸を盛り込んだ sasuke 105。  
通常リトリブ時でもスライドダートアクションを発生。  
ファストリトリブでも水面を割りにくい。  
また、空力に優れた箱型ボディの採用により安定した遠投性を獲得している。

## sasuke® 130 剛力

[全長]130mm [重量]25g [タイプ]フローティング [レンジ]80~120cm  
[アクション]ウォンロー [フック]ST-46 #2 [リング]オリジナル#4  
[価格]2,310円(税抜2,200円) [誕生日]2012/9/10



“剛力”のペットネームの付いたサスケがついに復活。  
太くボリュームあるボディに幅広のレードルリップが荒々しい外海の潮流をがっちりキープ。  
待望の2フック仕様、大型フック搭載で大型ヒラスズキからシイラ、  
青物などの大型魚狙いに特化させたシリーズ最強のサスケ。

## sasuke® 120 (裂波)

[全長]120mm [重量]17g [タイプ]フローティング(海水) [レンジ]70~90cm  
[アクション]ウォンロー [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2004/9/21



比較的大振りなアクションをするsasuke120裂波は、  
フィッシュイーターの側線を刺激するタイプのルアーである。  
多くのアングラーがパイロトルラーとして使っているようだが、  
濁りや波の強い日でもルアーの存在をターゲットに  
しっかりアピールするトータルバランスに優れた実力派ルアーである。

## sasuke® 140 (裂波)

[全長]140mm [重量]20g [タイプ]フローティング [レンジ]60~100cm  
[アクション]ウォンロー [フック]ST-46 #3 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,520円(税抜2,400円) [誕生日]2008/6/21



sasuke120裂波の優れたバランスをそのまま踏襲。  
サーフの強いカレントやサラシ渦巻く磯場などタフな条件下での安定感はピカイチ。  
沖に潜むランカー攻略には欠かせないアイテムで、大型フックを三本装備。  
強引な寄せにも無理が効く。





## 魚道 110MD

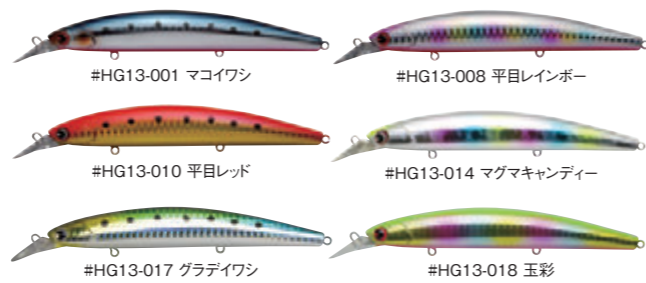
[全長]110mm [重量]17g [タイプ]フローティング [レンジ]80~160cm  
[アクション]ウォンロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2005/8/10



登場以来サーフのヒラメ攻略において数々の実績を上げてきた魚道110MD。サーフに押し寄せる波や強力なカレントに飲み込まれコントロールを失ってしまうミノーが多いなか、ガッチリと水流を掴むリップにより安定した泳ぎを約束。サーフと同様に複雑な流れが渦巻き、波の洗う荒磯でもその基本性能どおりのポテンシャルを発揮する。

## 魚道 130MD

[全長]130mm [重量]22g [タイプ]フローティング [レンジ]70~100cm  
[アクション]ローリング [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,468円(税抜2,350円) [誕生日]2007/6/10



魚道110MDとは対照的なローリングが強めのアクションが特長。ウエイトと高いアピール性を備えているので、広範囲を探る時に用いたい。ローリングのアクションを活かすなら、透明度の高い水質でフラッシングによるリアクションバイトを狙ってみると良い。ジャークのキレも秀逸。

## 魚道 Heavy Surfer 90

[全長]90mm [重量]28g [タイプ]ヘビーシンキング [レンジ]100~120cm  
[アクション]スラローム+ウォンロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,995円(税抜1,900円) [誕生日]2012/5/10



魚道 Heavy Surfer 90 は、そのウエイトから飛距離ばかりがクローズアップされるが、サーフのボトム攻略を実現したミノープラグだ。着水後にボトムを取ってからのトゥイッチ、横からの流れに乗せて海底を転がすボトムドリフト等、その応用範囲は広い。濁りを嫌って追いの悪いヒラメを狙うときの特効薬。リップ強度をアップして2012年マイナーチェンジを果たした。

## B-太 66 MOGE

[全長]66mm [重量]8g [タイプ]シンキング [レンジ]80~150cm  
[アクション]ウォンロール [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2004/10/21



B-太70が持つキビキビしたアクションを受け継ぎ、その波動でさらにディープエリアを攻略できるロングビルシャッドタイプ。堤防際での8の字メソッドにも対応。かなり激しく8の字を描いても飛び出すどころか、強烈な振動アクションアピールでボトムからシーバスを呼び寄せる。

## B-太 70

[全長]70mm [重量]8g [タイプ]シンキング [レンジ]60~100cm  
[アクション]ウォンロール [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,575円(税抜1,500円) [誕生日]2004/6/21



シビアな港湾のシーバスにターゲットを絞ったモデル。固定重心のため余計なノイズがカットされ、ルアーから出る純粋な波動がシーバスに猛烈アピール。キビキビアクションがシーバスの捕食スイッチをONにする。湾奥部のスレックラシを狙うなら、まずはコレから。



# Keume 90

[全長]90mm [重量]20g [タイプ]シンキング [レンジ]160~300cm  
[アクション]バイブレーション [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2011/2/18

# Keume 80

[全長]80mm [重量]15g [タイプ]シンキング [レンジ]80~180cm  
[アクション]バイブレーション [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,628円(税抜1,550円) [誕生日]2010/5/21

# Keume 70

[全長]70mm [重量]13g [タイプ]シンキング [レンジ]70~150cm  
[アクション]バイブレーション [フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,470円(税抜1,400円) [誕生日]2010/4/28

# Keume 60

[全長]60mm [重量]11g [タイプ]シンキング [レンジ]60~120cm  
[アクション]バイブレーション [フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,470円(税抜1,400円) [誕生日]2011/1/25



水切りの良い薄いシェイプは従来のバイブレーションのイメージを一新。  
ロッドがもたれるようなダルさは一切無く、まるで木の葉をリトリーブしているようである。  
テーリングを起しにくいバランス設計で、小細工を効かせることが可能となった。

# Ligid 70

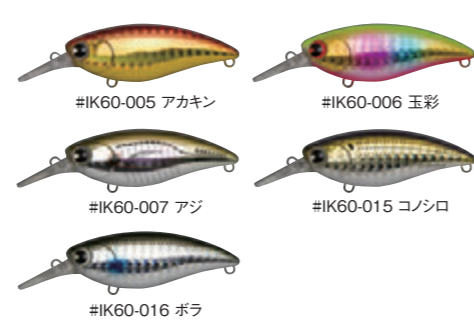
[全長]70mm [重量]13g [タイプ]シンキング [レンジ]150~240cm  
[アクション]オープンロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル #2  
[価格]1,785円(税抜1,700円) [誕生日]2010/7/21



メーターオーバーシーバスの実績を持つLigid70。  
流れの効くエリアでチューニングを必要とした、旧タイプを完全リニューアル。  
新Ligid70はその性能をブラッシュアップし、再びランカーシーバスの潜むディープへと挑む。

# ikuri 60

[全長]60mm [重量]10g [タイプ]シンキング [レンジ]100~150cm  
[アクション]オープンロール [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,733円(税抜1,650円) [誕生日]2010/5/31



どこにでも見かける消波ブロック帯は豊かな生態系を構築する。  
しかし根掛かりの多い構造物ゆえアングラーは敬遠しがちである。  
ikuri 60の根掛かり回避能力を持ってすれば、そんな心配など皆無。  
消波ブロックヘルマーをこすりつけてリアクションを狙うことさえ可能だ。

# SPINGULL 30

[全長]105mm(ボディ 55mm) [重量]30g  
[フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2 [ブレード]オリジナル #3  
[価格]1,313円(税抜1,250円) [誕生日]2011/8/25 ※(カッコ)内はブレードカラー



小さめのブレードを搭載することで軽い引き抵抗とスムーズな回転、すばやい立ち上がりを実現。  
ボディ全長は55mmと長めに仕上げ、従来の製品の欠点であったハリ絡みを克服した。  
重心位置を頭部に設定し、正しい姿勢で素早いフォールを実現。  
従来ではメタルジグの領域であった10mオーバーのディープゾーンを射程に捉えた。

# SPINGULL 20

[全長]95mm(ボディ45mm) [重量]20g  
[フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2 [ブレード]オリジナル #3  
[価格]1,313円(税抜1,250円) [誕生日]2012/8/10 ※(カッコ)内はブレードのカラーです



スピングル30の使用感そのままに水深5m前後を攻略できるスピングル20。スピントール系が得意とする定番の沖堤や岸壁、ボートゲームはもちろんのこと、サーフや河川、中小運河内等、様々なフィールドでの使用が可能となった。  
食い渋った時はスピングル20のスローフォールを利用して攻略。

# INFINITY Keume 28

[全長]80mm [重量]28g [タイプ]シンキング [レンジ]150cm over  
[アクション]バイブレーション [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,418円(税抜1,350円) [誕生日]2012/8/15



デイゲームの定番である鉄板系パイプがコウメシリーズに仲間入り。  
3ヶ所に設けられたラインアイは、それぞれ手前からファストスピードアイ、ミディアムスピードアイ、デットスローアイと三段階のリトリーブスピードにより使い分けが可能。また、鉄板系パイプにありがちな引き重りが少なく、軽快なリトリーブ感が特徴。



「釣れなくてもいい」  
遠征に来た仲間がそう言った時、  
僕はこの島を改めて誇りに思った。



五島列島といえば、男女群島を含めて古くから釣り人のメッカとして有名である。近年はヒラスズキやヒラマサなど、ルアーフィッシングのターゲットも人気だ。もちろんそれらフィッシングターゲットの魚影も濃く、毎年多くの釣り客が訪れている。僕の身近にも、10日テスター仲間をはじめ、毎年のように遠征してくる友人知人が数多くいる。彼らの多くはヒラスズキに魅せられ、中には年に何度も訪れるジャンキーアングラーも存在する。しかし毎回確実に釣れるという訳にはいかない。島の自然は常に寛大というわけではなく、冬場に至っては滞在期間中に二度も竿を出せないなんてこともあるわけで、バイトすら得られずに帰るなんてこともあるだろう。それでも何年も通い続ける彼等は「釣れなくてもいい、島に癒されるんだ」と言う。僕ら島の人間にとってそれは褒め言葉で、我が島を誇りにさえ思ふものだ。

躍り出るヒラスズキを毎夜夢見つつ、何日も前から入念に準備し、海を渡って来る好奇心に富んだ探検家だ。ホームを離れて体力の限り一日中磯を駆け、そしていにサカナを手にしたアングラー達の笑顔はサイコーに輝く。無機質な漆黒の溶岩磯と真っ白なサラシを背景に、磯の王者たる風格漂う銀鱗と、興奮を隠せない釣り人の笑顔。僕らはこれを共有したくて来島を心待ちにしているわけだ。「遠方からのまれ人を歓迎せよ」というのが、島のアングラーの大憲章。何度も通いたくなるような遠征釣行になるよう、出来る限りのサポートをしていきたい。同時に遠征アングラーには是非大物を釣って帰ってもらいたいと願う。ところがその反面、簡単には釣れないでもらいたいとも願う。もちろんそれは、何度もトライしてもらいたい、何度も来島してもらいたいという想いからだ。島のアングラーは寂しがり屋でもあるのだ。

の自営をしている。その合間を縫ってのプライベート釣行と、島に来るアングラーを迎え見送る日々。遠征仲間からは、もはや「アラキ観光」に社名変更しろなどとも言われている。もう少し歳をとったらそれもいいかな…。仕事と趣味の両立というのはなかなか大変なものだが、釣りもたらす何かがあるゆるストレスを緩和しているに違いない。そもそも、僕の全てのモチベーションの根源はアングラー達の笑顔だから、釣れても釣れなくても全く関係ない。大自然の織りなす空気が時間の流れの中で僕は一緒に喜ぶ憂い、夕暮れに笑う。コレが最高のものだ。

足しげく遠征してくるアングラーはサラシから

僕は普段「アラキ管工」という建築設備工事業

大好きな釣りを仕事にする  
人生を選ばなかった。  
だからこそ今の「喜び」に  
出会えたのだと思う。



なんでそんなに釣りが好きなのか？それは単純に楽しいからである。それは釣りをするすべての人に共通することだと思ふ。

そんな当たり前な理由で始めた釣りが、今では自分の人生の大きな支えとなっている。小学生の頃、なかなか思うように魚が釣れない時期（今もそうだが）、釣り番組でブラックバスを次々と釣り上げるプロフェッショナルアングラーを見て、自分もバスアングラーになりたい、と夢を描いた。休日には親にねだって富士五湖や芦ノ湖に連れて行ってもらう。平日は学校が終われば、狩野川にシーバスを釣りに行った。とにかく無我夢中で釣りをした。それはやっぱり釣れた時に楽しいから。

そのまま、夢は変わらず、時が流れ、自分の釣りの知識を深めるために水産系の大学に進学した。そこで魚の勉強をしながら、先輩の紹介で釣り雑誌に連載をはじめた。自分の夢が一つの形になった瞬間である。そこからさまざまな釣り業界の方と知り合い、話をする機会が多くもてるようになってきた。釣り自体も、ブラックバスだけでなく、シーバスやヒラメ、オフショアのキャストイングゲーム、と幅広く楽しむようになってきた。imaとの出会いもそんな中から生まれたのである。

大学4年生の後半、すでにある釣り具メーカーから就職内定をいただいていたとき、大学の体育の教授から来年度より釣りの実技をメインとした集中講義を開始するから協力してほしいという話を受ける。当時、4年制の大学で単位のとれる釣りの講義はなかった。内定をいただいた釣り具メーカーを断り、1年間研究生として大学に残り、その講義の土台作りに協力した。すべてが楽しかった。

しかし、そんな中、自分が健康で好きでやれるなら頑張りたい。賢不全による人工透析の導入。医師からの説明を受けたが、そのすべてが理解受け入れることが出来たわけではなかった。「自分だけ好

き勝手に、釣りをしている良いのだろうか？」と思いが悩んだ。そんなとき、看護師をしていた母親本人から、「あんたは、優しいし、根性もあるから看護師にもなれば？普段の日に休みがとれるから釣りもしやすいと思うけど」とその言葉を受け、2年間受験勉強を直し、看護学校を受験、何とか合格した。3年間、看護師を目指しながら、その間もやっぱり釣りを続けた。それは楽しいからだと思う。そして平成19年、正看護師国家試験に合格、自宅と釣りのホームグラウンドである狩野川、伊豆半島に近い総合病院に就職することができた。

しかし、看護師の仕事は想像以上に厳しかった。不規則な勤務時間だけでなく、人間の生命、その様々なクワイアックスに直面し、精神的にも、肉体的にもしばしば追い込まれることがあった。それでも釣りを続けた。それはやっぱり楽しいから…。

そんな生活を続けてきて今、思うこと。それは人に「有難う」と言ってもらえることが、看護師と釣りのテスターという足の草鞋をはく、今の自分の大きな支えになっているということだ。

看護師として仕事をしていて、患者さんや御家族から「有難う」と言ってもらえる。自分が好きな釣りをさせてもらっている中で、imaを始め、テスターをさせてもらっているメーカーさんからも「有難うございます」と言ってもらえる。釣り場で出会ったアングラーに、「新保さんの記事をみて尺メバル釣れました。嬉しかったです。有難うございます」と言ってもらえる。

ただ楽しい、自己満足のために始めた釣りをきっかけに看護師となり、働きながら、釣りをしている様々な形で有難うと言ってもらえる。そんな私に関わった全ての人々に、私から改めて「有難う」と言わせていただきたい。今私の胸中は、そんな感謝の気持ちでいっぱい。

### Yoshihito Nishimura 西村 好仁

遠征客と地元アングラー。  
夢の実現と熱意が交差するこの場所を  
これからも大切にしていきたい。

私がルアーゲームを本格的に始めるきっかけとなり、最も通いつめた場所が高知県の中央部を流れる仁淀川である。他の河川ではあまりアングラーに会うことも多くなく情報も全くなかったため、全くの手探りで釣行が多かったのだが、仁淀川へ釣行するようになって数人のアングラーと顔見知りになり、色々情報交換するようになってからは仁淀川への釣行回数も多くなってきたのである。それから数年してシーバスのメーターオーバーがキャッチされた情報なども入ってくるようになったのだが、それは運の良いアングラーの話と聞きながら、私もいつかメーターオーバーを手にする事を夢に思い、仁淀川へ十数年釣行していた。

そんなある日、河口付近にコノシロの大きな群れが入ってきており、そのコノシロを捕食するためシーバスが回遊してくるのではないかと思ひ友人と釣行。早い時間に70cmクラスのシーバスをキャッチしたものの、次第にバイトも少なくなり友人も帰路につき私も諦めモードになりながらキャストしているとき、今まで聞いたことのないような捕食音がしたかと思つとききなりロッドが引き込まれ激しい引きでリールからラインが出されていく。無我夢中でファイトし、なんとか足元まで寄せることができた魚は今まで目にしたことがない巨大なシーバスであった。ランディングしたそのシーバスを抱きかかえる手の震えが止まらなかつたことは、今でも鮮明に覚えている。

に、息子達とも幼い頃から釣りを通して時間を共有することができた、私の人生にとって大切な場所である。  
最近では浦戸湾や仁淀川、四万十川などへアタメやシーバスを求めて訪れる県外アングラーが目立つようになってきた。私の20数年の友人である「mha」テスター小林厚治氏もその一人であり、最初にアカメを狙いにやってきたのが20年くらい前だったと記憶している。その時は完敗だったのだが、彼はアカメに対する想いをずっと心に持ち続けていたようである。  
時代の流れと共にタックルも進化し情報も増え、我々も年をとったが、その当時と変わらない熱い気持ちを持ち続けた結果、一夜にして2つもの夢の記録を打ち立て、一生消えないであろう記憶を刻む事を成し遂げてくれた。その一部始終を隣で見ることができたのは大変光栄だったし、熱い握手をガッチリと交わし、彼を慕う高知の仲間と明け方まで祝杯をあげられたことも嬉しかった。  
県外アングラーの方にとって、高知は夢を叶えられる場所かもしれない。しかし地元高知のアングラーも目標を持ってフィールドへと足を運んでいる。お互い目標を持ち、釣りという共通点で繋がっているから故のトラブルなども耳にするようになってきた。ナイトゲームではお互い顔が見えないために挨拶などもしにくい場合も多く、誤解を招くこともあるかもしれないが、自ら進んで声かけを行うなど、楽しい釣りができるように自分なりのルール・環境を創っていくてほしい。そしてフィールドへと足を運び、いつの日か夢が現実となるようキャストを繰り返してもらいたいと思う。



### Michihiro Matsuo 松尾 道洋

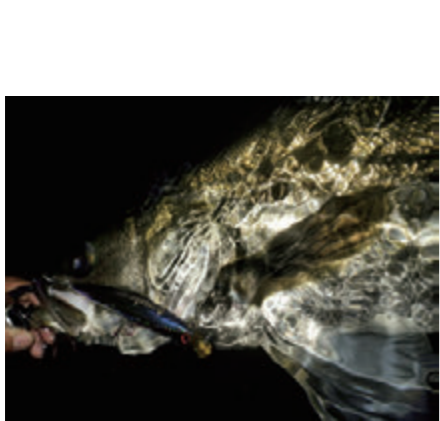
魚を獲る手段は  
無限の広がりを見せる。  
同じフィールドで  
ロッドを振り続ける中で  
見えてきたもの。



ウェーディングを始めて今年で何シーズン目になるだろうか。活動年数としては決して長くはないが、考えてみると釣り人生の半分ほどを河川のススキと過ごしてきたことになる。そしてそのキャリアのほとんどを、地元の広島河川中心に費やしてきた。普段あまりこういうことは考えないのだが、釣りにまつわることで過去や将来を考えて文章を書いていると、リリースしてきた魚のことを否応無しに考える自分が居ることに気が付くものである。

ひとくちにキャリア15年とか20年とか口にするが、その頃に放たれていったシーバスはどうに寿命を迎え、新たな子孫を残しているだろう。その子孫の中には立派にランカーサイズへと成長し、今シーズン再び誰かのロッドを曲げてくれた魚がいるかも知れない。そういうサイクルを繰り返すことが出来る思考力を得たということは、僕もベテランの域に入ってきているということになる。  
この地に根を張っているからと言えはそうなのだが、それほど広島というフィールドはシーバスを追いかけると条件が整っていると言える。内陸を見れば複数の大規模河川が海へと注ぎ、ひとたび海へと目を向ければ瀬戸内に浮かぶ島々が複雑な潮流を生み出し、尾鰭の発達した強い魚を育て上げてくれる。特異的な干満差も魚とのファイトを強くする様々な要因を手伝っており、こうした環境で行われるシーバッシングは全国的にも珍しく魅力的に映ることは間違いないだろう。それを証拠に近年では他県からの遠征アングラーも増え、ハイシーズンである初秋から初冬にかけての広島市内河川は連日のように賑わいを見せており、リアとして注目度は非常に高いものがある。四国や九州とは違い、陸続きである本土に存在しているというアクセシビリティの良さも広島の魅力の一つだろう。

ただし残念な部分としては、今現在ほぼ「地域差が生む魅力」が優先され一人歩きしている状態であること。それぞれが地元で培った経験を試すことを目的としての釣り、あるいは遠征で得たことを自らホーム河川へとフィールドバックさせるという根底の部分が見えず、マナーの低下もつかがわれる。これは一部の地元アングラーにも言えることだが、ただ魚を競い合っただけという行為だ



けでなく、アングラーとしての考えが熟成されるにはもう少し時間が掛かりそうである。  
さて、僕自身これだけ長く市内河川に浸かりながらも、まだまだやり切れていないことがある。抽象的な部分では、都会的な釣りから自然とシブクした釣りまで、具体的にポイントひとつをとっても、上流域と河口域の釣りは大きく違ふし、潮汐や地形が絡むとシーバスを釣る為の手段は底なしに広がりを見せてくれる。これはどの地域でも言えることではあるが、先に書いた様に特異的な広島においては、その広がりには間違いなく一般的な他のエリアを凌駕しており、非常にありがたいことに終わりが全く見えないのである。おまけに、現在広島には市内河川を横断する形で、河口部に新しい橋が架けられている最中であり、街灯が灯るまでに完成すれば、慣れ親しんだ現在の河口域のフィッシングシーンも、また大きく変わることに予想される。  
こうした現状を考えると、恐らくこの先何年浸かり続けても、やりきったという満足感を得て他の地に目を向けることは無いのではないかと思ふ。これだけやっても成長させてくれる恵まれたフィールドが基盤としてあるからこそだが、それよりも何よりも、とにかく僕は地元である広島市内河川に浸かり、暑くとも寒くとも黙々とロッドを振るという行為が好きなのである。

湾奥の日常、  
スノーカーフィッシング。



僕のシーバスフィッシングは年間の7割が東京湾奥での釣行だ。その中でも東京都内で釣りをする機会が8割。これほど人に近く、人工的であるにも関わらず圧倒的な魚数を抱えるフィールドは他を探してもないだろう。

そこには、最も身近な自然が人の目には見えない形で存在する。スーツを着たサラリーマン、通勤の路上で通学する子供たち、犬の散歩や早朝のジョギングをする人々。そんな人々が行き交うすぐ傍で、最も身近な自然シーバスが乱舞するフィールドがある。それが東京湾。専用のウエアや特別な装備はいらない。運河沿いの遊歩道、整備された都市型河川のテラス、く身近な水辺でカンクリアルなスタイルで必要最低限の釣り道具さえあれば成立するフィールドだから、その手軽ながらも熱いゲームを堪能できる。凹下を振った者には味わうことのできな、至福の時間を知ってしまったらもう後戻りできない。

幸い僕はそんな恵まれたフィールドに囲まれて育った。西に行けば隅田川、東へ行けば荒川や中川、旧江戸川、南へ行けば運河群や埠頭を含む港湾部といったフィールドが広がる。僕に釣りという日常が組み込まれたのは中学生の頃だ。当たり前のように釣りにいき、当たり前のように口を開けて振る。それが普通だった。

そのスタイルは今でも変わらない。身近だからこそ、いつでも通えるフィールドは、カジュアルな服装とスノーカーにウエストバッグ、タックルがあれば事足りる。通えば通うほど見えなくなるそのフィールドの奥深さを持たせ合わせた東京は、いくら経験を積んでも、一生かけても攻略しきれないほどのキャパシティがある。それは経験値が増えるにつれて、それなりの難しい課題を与え続けてくれるフィールドとも言える。

これほどの奥深さやフィールドのキャパシティ、膨大な魚の数があるからこそ、日本一激戦区と言われるフィールドにまでなった東京湾奥。アングラーの多さも日本一。仕事帰りに飲みに行くように、スロップトを打ちに行くように、当たり前のように釣りに行く。非日常だった釣りが日常へと変わっていき、そんな生活の中でいつしか釣りにハマっている自分

に気づくはずだ。

僕は一人で釣りをしている時間よりも好きだ。仲間と釣りに行ったりしても離れて釣りをすることも多い。後に合流して「うちはどうだった、あちはどうだった」と意見を交わすのが楽しい。

釣りはシーバスと自分。そこはほとんど集中できる時間やっぱ好きなのだ。本気で集中して釣りをした後はぐっすり眠れるほど疲れるが、そんな疲れ方も好きだ。誰かの都合に合わせてでもなく、自分が選んだタイミングで自分が選んだ場所に釣りに行く。釣れても釣れなくても自分の責任。だからこそ、釣れたときの感動は人倍大きい。もちろん魚を探すのも、ターンを探すのも、仲間と一緒に釣りに行く時よりも時間がかかる。けれどすべて自分の考えを答えに辿り着いたときのなんとも言えない達成感。他では味わうことができない。

車に積みっぱなしの釣り道具。自分さえ乗り込んで釣り場に行けばいつでもどこでも釣りができる。車は大きな釣り道具箱の役割も兼ね備えている。タックルはもちろんルアーやライン、その他の小物類。ウエィターにレインウエィア、折り畳み自転車まで積んである。それが常であり、逆にそれらの道具を下して車を使うときが僕にとっての非日常だ。今では仕事となつてしまった釣りだが、仕事としての釣りを除けばその8割が純粋に自分の釣り。いつものフィールドで自分の釣りたい魚を釣りたいように釣る。そこは様々な楽しさを見出すことで仕事の釣りへとライドバックしていくのが僕のスタイルだ。中学生の頃からこれだけ同じ湾奥で釣り続けてもそのワクワク感は最初にルアーでシーバス釣りに行ったときと変わらない。今日はどんなシーバスに出会えるだろう、そんな期待感が僕の足をフィールドに向かわせる。

釣りがしたくなったら釣りに行けばいい。そんな自然な感覚でいいじゃないか。釣らなきゃいけないものでもない、釣れなくても死ぬことはない、なにか、ついつい釣りに行ってしまおう。釣れなくても釣れなくても楽しければそれでいい。いつでも釣りを楽しめる環境を作れる人に、僕はなりたいたいと思うのだ。

# CALM<sup>®</sup> 80

[全長]80mm [重量]7g [タイプ]シンキング [レンジ]0~20cm  
[アクション]スローオープンロール [フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,523円(税抜1,450円) [誕生日]2007/1/31



春のバチヌケ攻略に欠かせないアイテム。港湾、運河はもとより、河川バチにも広く対応可能です。表層はアルデンテ、中層攻略にカム80と使い分ければ効果倍増! また、バチパターンのみならずマイクロベイトを偏食している時は切り札となることでしょう。

# CALM<sup>®</sup> 110

[全長]110mm [重量]11g [タイプ]シンキング [レンジ]0~30cm  
[アクション]オープンロール [フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,733円(税抜1,650円) [誕生日]2008/12/15



河川バチ攻略にはルアーの存在をアピールするだけのサイズが必要だ。しかしシェイプとアクションにはセレクトティブなシーバス。CALM80ではアピール不足だった状況をCALM110が完全にフォロー。夏場のエンピツサヨリパターンにも威力を発揮。

# meba CALM<sup>®</sup>

[全長]60mm [重量]4.8g [タイプ]シンキング [レンジ]10~30cm  
[アクション]オープンロール [フック]ST-36BC #14 [リング]オリジナル#1  
[価格]1,418円(税抜1,350円) [誕生日]2009/12/21



同サイズのシーバスよりもはるかに強い引きを見せる尺メバル。もはや港湾用タックルやマイクロフォームでは太刀打ちできない。尺メバルが好むゴロタや小磯を攻略するにはハイアピールルアーで広範囲に探ることが攻略の鍵だ。もちろんアジや港湾バチヌケにも対応。

# trip<sup>®</sup> 66

[全長]66mm [重量]10g [タイプ]シンキング [レンジ]0~20cm  
[アクション]スラローム [フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2006/1/21



デッドスローリトリーブでもピッチの細かいスラロームアクションが特徴。バチヌケ後期に発生する小型でスピーディな動きをするバチに対応。一方で尺越えのメバルを狙うパイロットルアーとしても秀逸。

# trip<sup>®</sup> 85

[全長]85mm [重量]12g [タイプ]シンキング [レンジ]0~15cm  
[アクション]スラローム [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,785円(税抜1,700円) [誕生日]2005/4/21



バチヌケ時の中層~ボトム攻略に活躍するのがtrip85である。特に河川バチ攻略にはドリフトでの使用が効果的。その他、小型のイカをイミテートするパターン等、多彩な能力発揮する。

# mo'mo30<sup>®</sup>

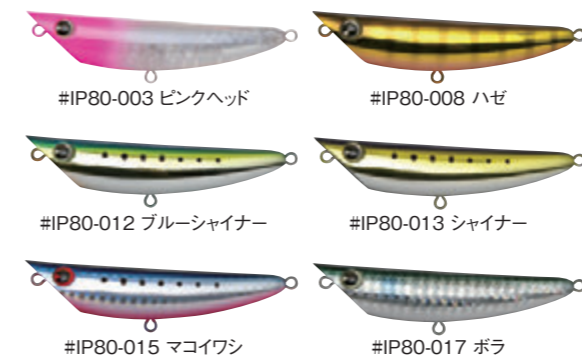
[全長]80mm [重量]12g [タイプ]フローティング [レンジ]0~20cm  
[アクション]オープンロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2011/3/31



湾奥のプリンス大野ゆうきテスター完全監修によるミノー。着水直後から立ち上がり、水面直下レンジをオープンロール。スローリトリーブでは薄皮一枚を剥ぎ取るような独特の引き波を発生。港湾・河川・干潟までとあらゆるシャロー域に対応。引き波の大きなkomomoIIやナチュラルアクションをするtripシリーズと組み合わせることによって、表層レンジを完全攻略することが可能となった。

# imapopkey<sup>®</sup> 80

[全長]80mm [重量]9g [タイプ]直立浮き  
[アクション]ドッグウォーク&ウェイク [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,995円(税抜1,900円) [誕生日]2010/6/21



内湾や汽水域の小型ベイトに対応したのがimapopkey 80。120mmサイズで見せた多彩なアクションをそのまま受け継ぎ、アングラーの意思をそのままスイムで表現可能。チヌ、メッキにもベストなアイテム。

# Aldente 95S

[全長]95mm [重量]7.1g [タイプ]シンキング [レンジ]0~1cm  
[アクション]ゆらぎロールアクション [フック]ST-46 #10 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,575円(税抜1,500円) [誕生日]2012/12/10



港湾バチ攻略の決定版アルデンテ95Sは着水後のリトリーブからすぐに急浮上。サーフェスレンジをキープし、表層を意識しているシーバスに猛アピール。揺れるような揺らぎアクションと僅かに発するV字引き波で攻略困難なバチ食いシーバスに口を使わせます。

# imapopkey<sup>®</sup>

[全長]120mm [重量]16g [タイプ]直立浮き  
[アクション]ドッグウォーク&ウェイク [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,310円(税抜2,200円) [誕生日]2007/9/10



シーバス専用のペンシルとしてこれほど多彩な使い方ができるルアーは他に無いだろう。ただ巻きでのウェイクアクション、ロッドを操作してのドッグウォーク、ダイブetc…。どのようなアクションでも必ず織り交ぜたいのがポーズ。間合いを入れることでシーバスのミスバイトを減らすことができ、確実なフッキングへと繋がる。

## NABARONE<sup>®</sup>

COLLABORATION ima X DUO

[全長]125mm [重量]16g [タイプ]フローティング [レンジ]20~80cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2005/11/21

## NABARONE<sup>®</sup> 125S

COLLABORATION ima X DUO SINKING

[全長]125mm [重量]17.5g [タイプ]シンキング [レンジ]60~120cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,258円(税抜2,150円) [誕生日]2008/8/10



NABARONEは磯専用ミノーか。確かに発売当初はそうだったのかもしれない。しかし発売後、日が経つと共にNABARONEの活躍フィールドは広がりを見せた。サーフ、河口、干潟、河川内…。飛距離も十分、流れに強い、トイッチできる、シャローOK。その実はあらゆるフィールド、メソッドに対応するスペックを備えた万能ミノーなのである。

## NABARONE<sup>®</sup> 125F

COLLABORATION ima X DUO SLIM

[全長]125mm [重量]14g [タイプ]フローティング [レンジ]40~80cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,258円(税抜2,150円) [誕生日]2010/4/30



DUO社とのコラボで非常に人気の高いNABARONEシリーズの最終章。今回のスリムはその完結版にふさわしいパーサタイルなリップ付きフローティングミノー。安定したスィムや同クラスでは圧倒的な飛距離などはあらゆるシチュエーションで使用が可能。

## NABARONE<sup>®</sup> 150F

COLLABORATION ima X DUO FLOATING

[全長]150mm [重量]23g [タイプ]フローティング [レンジ]50~150cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #3 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,730円(税抜2,600円) [誕生日]2009/8/10



より速く強い潮流を攻略するためにリリースされたNABARONE 150F。サイズを生かした遠投性もさることながら、急流でも確実なアクションを保証。もちろんサラシの中でも確実に水を噛み、ボリュームあるアクションでランカーサイズを誘き出す。青物にも対応。

## NABARONE<sup>®</sup> Stuka

COLLABORATION ima X DUO

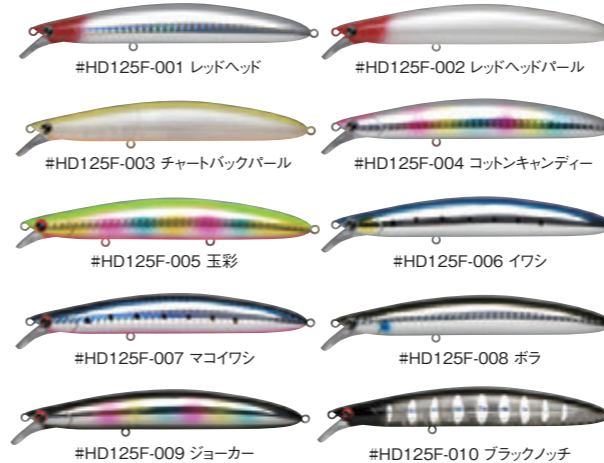
[全長]90mm [重量]12g [タイプ]シンキング [レンジ]80~150cm  
[アクション]ローリング [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,995円(税抜1,900円) [誕生日]2007/7/10



「スツーカー」とは急降下爆撃機の名前。その名の通り狙ったレンジまで急降下し、シーバスの潜むレンジを直撃するシンキングミノー。一般的な港湾部はもちろん、足場の高い場所でも足元までキッチリ泳ぎきる広い適用範囲が特徴。ベタナギのヒラズギ攻略にも高い実績を誇る。

## Hound 125F Fang

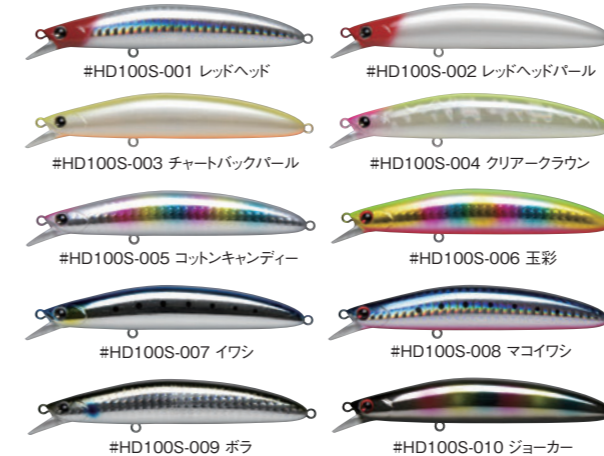
[全長]125mm [重量]20g [タイプ]フローティング [レンジ]80cm~130cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #2 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,310円(税抜2,200円) [誕生日]2011/12/25



ハウンド125Fグライドに続き、ランカーフィッシュ対応モデルに位置付けられたハウンド125Fファンクが登場。#2番という大型フックを搭載。2フックバージョンに足回りを改めて、根回りのきつい場所でのラフなファイトを可能とした。爆発的な飛距離をそのまま受け継ぎつつも、レンジは1m前後とやや深めの設定。足場の高い場所でのピックアップ寸前のバイトにも強い。

## Hound 100F Sonic

[全長]100mm [重量]14g [タイプ]フローティング [レンジ]40~80cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2013/2/25



ハウンド125mmサイズの飛距離を受け継ぐダウンサイジングモデル。その魅力は飛距離のみならず、湾奥部のオカッパリから、干潟や河川のウエーディングまでこなす対応力。ここぞと言う時の食わせのルアーとしてサーフや磯でも使用可能なスペックを備えます。ジャーク時のダートアクションもキレキレで、ナイトゲームはもちろんシャローデイゲームでも威力を発揮します。

## Hound 125F Glide

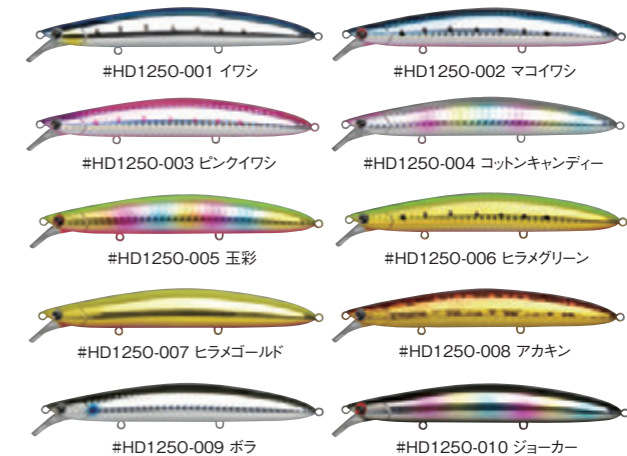
[全長]125mm [重量]20g [タイプ]フローティング [レンジ]70~100cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,310円(税抜2,200円) [誕生日]2011/10/25



投げ釣りでも使われる錘の形状からヒントを得て開発されたボディ形状は、重量20gながら実測78mをマーク。飛ぶルアーにありがちなモッサリしたアクションは一切排除し、キビキビしたキレのあるフローティングミノー本来の動きを再現している。ハウンド125Fグライドはやや浅めの潜行レンジに設定。フックは三本仕様とし、スレた場所での浅いバイトもフッキングへと持ち込む。

## Hound 125F Orca

[全長]125mm [重量]20g [タイプ]フローティング [レンジ]80cm~130cm  
[アクション]ウォンローロール [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,310円(税抜2,200円) [誕生日]2012/4/30



ハウンドシリーズ第3弾として発売されたオルカ。グライドと同じく3フック仕様で、レンジは1m前後と深めに設定されている。ターゲットはシーバスのみならずサーフのヒラメやマゴチといったスナモノに威力を発揮する。カラーもスナモノを意識した派手なラインナップとなっている。

# p-ce 80S

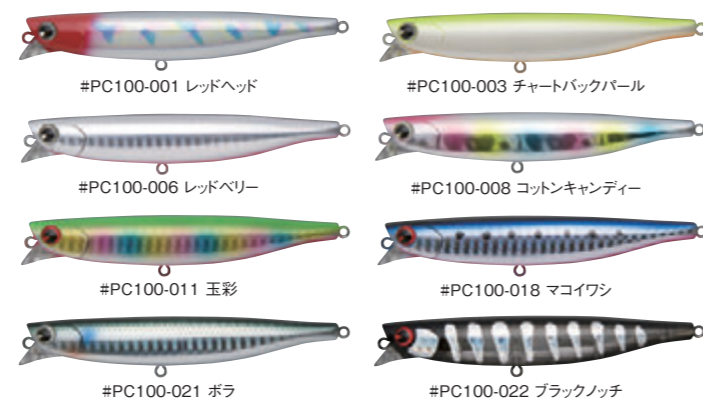
[全長]80mm [重量]16g [タイプ]シンキング [レンジ]40~80cm  
[アクション]タイトスラローム [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2010/10/21



既存のp-ce80のボディを使用し、p-ce100のアクションをそのまま再現。広大なシャローフラットエリアでは微細な流れを見つけやすく、どんなシャローランナーにも反応しないシーバスをバイトへと持ち込む。

# p-ce 100

[全長]100mm [重量]17g [タイプ]シンキング [レンジ]30~60cm  
[アクション]スラローム [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2009/9/30



ミノの常識を打ち破るリップ付きシンキングペンシルがp-ce100だ。リップを装着することにより、流れの中でも踏ん張りが効きロッドアクションも加えることが可能。また、リトリブ時における引き抵抗感が増し、手に感じる情報量が大幅に増した。

# RuNdAm 75

[全長]75mm [重量]11g [タイプ]シンキング [レンジ]60~120cm  
[アクション]ウォンロール [フック]ST-46 #5 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2010/9/21



デイゲームで有効とされるトゥイッチングメソッド。このメソッドに特化させ、かつ飛ばせて能動的に操作可能なルアー。流行のシーカヤックやボートゲーム、また岸壁や沖堤のデイゲームまで、高次元な操作ができるシャッドフォルムトゥイッチングベイト。

# RuNdAm 80

[全長]80mm [重量]13g [タイプ]シンキング [レンジ]60~120cm  
[アクション]ウォンロール [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2008/9/21



コンパクトなボディに収められたヘビーウエイト、#4フックは80mmサイズとしては異色の存在。これだけの重量を背負いながら軽快なアクションをするシンキングミノーは他には無いだろう。使いやすさが口コミで広がり、発売以来ベストセラーを続けている。

# sobat 80

[全長]80mm [重量]13g [タイプ]シンキング [レンジ]20~50cm  
[アクション]可変アクション [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2005/6/21



オートマチックに使えるシンキングミノーが主流だが、マニュアル的な使い方ができるのがsobat80。ファストではウォンロール、スローでは蛇行を描き、トゥイッチでは激しいフラッシングを起こしながら鋭いダートを見せる。熟練度を要するが、その見返りもまた大きいシンキングミノーである。

# ko 130S

[全長]130mm [重量]12g [タイプ]シンキング [レンジ]0~60cm  
[アクション]ローリング [フック]ST-46 #8 [リング]オリジナル#2  
[価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2006/11/21



様々なフィールド、シチュエーションで使い込むほどに、その細いシルエットからは考えられない泳ぎの安定性に驚かされるだろう。泳ぎの安定性は、冬場の風が強く波の高い干潟で本領を発揮する。誰も釣れない状況下で、何度も連釣を味わった事は、このルアーのポテンシャルを物語る重要なエピソードである。

# HONEY TRAP 95S

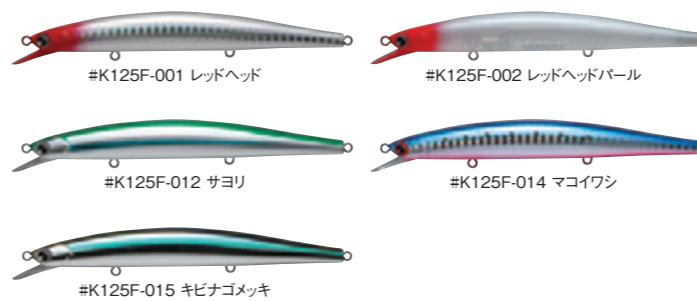
[全長]95mm [重量]25g [タイプ]シンキング [レンジ]30~80cm  
[アクション]スラローム [フック]ST-46 #3 [リング]オリジナル#4  
[価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2006/12/21



「攻略できるエリアが広がった」と多くのアングラーは口々に言う。しかしHONEY TRAP 95Sの魅力は飛距離だけではない。S字を描きながら時に波を受けて偶発する「揺らぎ」がシーバスの食性を最高に刺激する。水深があって流れのある場所ではドリフト&トゥイッチで喰わないランカーを仕留められる切り札的アイテム。

# Keep 125F

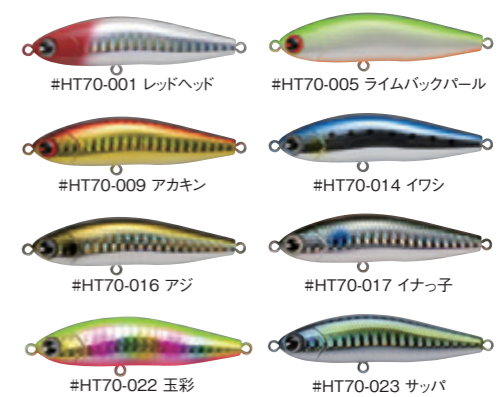
[全長]125mm [重量]15g [タイプ]フローティング [レンジ]40~100cm  
[アクション]ウォンロール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]2,205円(税抜2,100円) [誕生日]2008/4/21



魚種、フィールド、あらゆるメソッドにいたるまでオールマイティに対応するフローティングミノー。いまや12cmクラスのスタンダードともいえるスリムなシェイプを持ち、ベイトフィッシュに近いフォルムを再現。キャスト性能にも優れた使い勝手の良いルアー。

# HONEY TRAP 70S

[全長]70mm [重量]14g [タイプ]シンキング [レンジ]20~60cm  
[アクション]スラローム [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,995円(税抜1,900円) [誕生日]2008/3/21



河川、港湾部やウエーディングによるシャロー攻めに特化したHONEY TRAP 70S。HONEY TRAP 95Sの浮き上がりにくい特性をそのまま受け継ぎ、流れのある河川での使用も可能だ。他の70mmサイズを寄せ付けない飛距離で、さらに広範囲なターゲットの攻略ができる。





獲れない日々が育んだもの。

西村雅裕氏の四万十川釣行へ同行することから小林厚治のアカメへの挑戦は始まる。彼の行動力は、遠征釣行という非日常を限りなく日常に近づけた。日々の多忙な仕事をこなしながら休日には飛行機に乗り、アカメの棲む高知の水辺へと向かう。同じようにフットワークが軽く、気の合う釣友がいたことも、彼の行動力を支える一つの大きな理由であったのかもしれない。

高知遠征を繰り返す中で彼は、釣果を手にすることはできないものの、信じられないような光景を何度も目の当たりにする。ルアーをヒックアップする瞬間、目の前で水面が爆発した。

量一量分はあろうかという巨大アカメのミスバイト。あまりの巨大さと迫力に、言葉も出なかった。アタリをとり、フッキングしたことも幾度もあった。しかしあまりのパワーに押しまわられ、針を伸ばされる、つぶされる……

釣れないままに月日は過ぎていく。やがて彼の遠征への情熱は九州のヒラススキへとシフトし、徐々に高知から足が遠のいて行った。

高知から離れても、もちろん彼の釣りは終わらない。釣行を繰り返す日々の中で、たくさんの仲間との関係を育んでいく。

特に、かつて西村氏と共に結成したフッキングチーム「Tokyo Sea Paradise」としての活動は全国へと波及し、シーバスアングララー達の繋がりを育てる、大きな礎を築いた。東京湾や房総半島など関東の海や河川をホームに、陸っぱり、オフショア、ウエーディング……あらゆるスタイルで日々の釣りを仲間たちと楽しみながら、長崎の五島列島のヒラススキや大分河川のリバーゲーム、駿河湾のオフショア等、遠くに良い魚がいると耳にすれば、遠征に出てその地の仲間とともに釣りに挑んだ。さらに彼が二期バスプロとして活動していたことを、知る人も少なくはないだろう。

ありとあらゆるフィールドで魚を追い求める中で彼は常に仲間を大切にしていた。出会いに感謝した。そしてどんな相手にも気さくに、丁寧に話をし、耳を傾けた。小林厚治というアングララーは、抜群の技術と経験を持ちながらそれに奢らず、釣果に貪欲でありながら、決して人を押しつけることをしなかった。人との出会いが、釣りのある人生をより広く、より豊かにしてくれる。ことを身を以て知っていたからだろう。

時代は変わり、多くのアングララーが当たり前のようシーバスフッキングを楽しむようになった。プロとして活躍する多くのスターも誕生した。そんな時代の流れの中にあっても、当然のように名だたるアングララーが彼を慕い集った。彼はいつしか、皆からアニキと呼ばれるようになり、中心的な存在になっていった。

……時は過ぎた。シーバスフッキングの黎明期を歩いてきた彼等の後に続く次世代のアングララーが、四国の地で再び彼とアカメという魚を結びつけることになるのだ。





釣りをする僕の傍らには常に仲間がいた。これからも『釣り人の絆』を大切にしていきたい。

小学生の頃、夏休み、冬休みの月曜日が楽しみで仕方なかったことを今でもよく思い出す。親父と釣りに行く予定の前日なんて、お腹が痛くても、頭が痛くても黙って我慢してた。なぜそんなことをしてたか？そりゃ釣りに行くためですよ(笑) 僕で三代目となる稼業(散髪屋)の定休日(月曜)は月曜。学校が休みじゃないと釣りに連れてって貰えないのは当然で、だから夏休み、冬休みの月曜日というわけ。

その時が楽しみで楽しみで、仮病の逆だよまたく！お腹痛しても隠れて正露丸飲んで知らん顔してたなあ。特に遠征(行き先はこの時から高知が主だった)の時なんて、何が何でも連れてけえ、状態だった。一度、学校の行事が親父の発発の時間と合わなくて、後から汽車(当時はダイヤセルエンジンの汽車だった)に乗って宿毛まで追いかけたことを覚えている。それ程、釣りが好きで、親父に連れて行って貰うのが好きで、道中のご飯が楽しみで、船宿の女将さんがくれるお年玉が楽しみだったのをこれを書きながら思い出してるところだ。そんな体験は間違いなく今の僕の釣りの原点になっている。そして、あの頃から月曜日に釣りに行ってたんだなあと思えば面白くも面白くない。

稼業を継いで20年の時が過ぎた。この歴史とほぼ同じだけシーバスとの時間が在る。月曜日「のみに留まらず、ほぼ毎日釣りしてたのだが決して義務でも情性でも無く、ただただ毎日が楽しく、一匹のシーバスと出会うことに楽しさを覚えていた。ただ僕の場合、少々寂しがり屋であるが故に、誰かと一緒に釣りがほとんど、携帯の無い時代などはフィールドにシーバスを探しに行くのだけども、むしろ釣りをする友達の影を探しに行っていたのかも知れない。家族との時間ももち

ろん大切だったし、大事にしてきたと思ってる。でもそれは個人の勝手な解釈で、妻には大きな苦勞を掛けていたのだと、今は素直に反省している。妻に稼業を手伝って貰ったこともあり、仕事に話をする時間も多くなったので、今までなんとか「釣り人、濱本国彦」を温かく見守ってくれていたんだと思う。

おっと…話がそれた。月曜日の釣りを振り返ると、平日なのに何時も誰かが一緒に釣りに連れてきた僕の釣り人生、休みを合わせてくれた友達、同じ定休日の友達、たまたま休みになった友達、そして親父。シーバスを始めた頃、今思えば親父と一緒にガンガン行っていた。40代だったあの頃の親父、11フィートのシーバスロードを片手に一緒に並んでよく釣りをしたもんだ。

当時、まだまだシーバスに出会えるチャンスが少なく、キャスト回数(シーバスに出会える確率で、とにかく投げろ！)というスタイルだった。そんな親父も今は歳を重ねて足だの腰だの、痛い所も増え、船釣りに収まっている。多分僕も、後何十年後には穏やかな瀬戸内海で糸を垂らしているんだろうと思うこともある。そんな良きお手本となっている親父。決して真似しては訳じゃないけど、影響を受けているのは確かなんだな、と。ひとつの事にどうぶりのめり込み突き進む親父の姿を見できた延長線上に今の僕がいるんだと、改めて思う。

月曜日の釣りに「笑顔」があり、「出会い」があった。シーバスのみならず、磯のフカセ釣り、川のアユ釣り、池のブラックバスに雷魚。色んな釣りに費やしてきた数十年。決して「人ばっぢぢや無かつた」ことがホントに有難い。僕は「人が嫌いだ」ので誰に対しても常にウエルカムな状態だったと思う。「一緒に行く?」「月曜日や?」「的」な「リアンス」かな。

2012年11月、第5回をファイナルとして、S.W.A.P.に区切りを付けた。5年間刻み込まれた「思い出」がとてつもなく大きく、繋がれた人と人との時間は掛け替えの無いものになり、僕が始めに思っていた「隣の人の顔」を皆間近に見ることができたんじゃないかと思う。これから5年、10年先、釣りを続けようが止めていようが、ここで繋がった絆を大切にできれば、今までに無かった何かを得られることは間違いなく、その得られたものは「楽しさ」に繋がって、釣りにしてはホントに良かったな、と思える。そんな様々なキッカケの場を提供するS.W.A.P.に惜しみない協力をしてくれた友達には、ホントに感謝しているし、寂しがり屋の僕の釣り人生にとって無くてはならない存在になったのだ。メーカーにも同じことを感じられる人が多くいることが、これからの釣り人皆の絆の支えになっっていくんじゃないかな?

こうやって改めて「釣り」と「人生」という時間を振り返れば、何処であろうが、誰とだろうが、釣りをしている最中はもちろんであるが、そこに至るまでの準備の時間や、アフターのお酒の時間も含めて「笑顔になる」という幸せを釣りに通じて教えてくれた親父に感謝かな? 面と向かっただけで言える事じゃないので、ここで伝えよう。ありがとう!

そしてこれまで築いてきた「繋がりが」ファイナルを迎えたS.W.A.P.で終わることなく、ここから始まりなんだと。今からもっと大きく、広く、S.W.A.P.で築けた「絆」を無駄にしないように大切に釣り人生を歩いて行きたいと思う。



を常に出しつつ(笑) 誰かを誘っていたように思う。結果ジャンルに関わらず肩を並べて釣りにしてくれる友達が多く増えたことに繋がったと思う。それが今でも「絆」として残っていて、これからも繋がっていきたくて信じている。

そんな「繋がり」的な話をすると、やっぱりS.W.A.P.の話になるだろう。初めてこのパーティーを計画した2008年、横浜のフィッシングショーで不意に感じたことだったのだが、メーカーのブースに集まって来てくれるお客様は同じ趣味を持ち、フィールドも恐らくそんなに遠くないはず。もちろん、遠方の方の中にはいらっしやるだろうがそれならば尚のこと、ステージに上がってる僕らに目を向けるだけでなく、同じトークショーを聞いている隣の人と会話ができたら、もし友達になれたら…遠征先に知り合いがきたら、どんなに楽しいだろう? と感じたのである。ただ、そのためには具体的に何かできるか?

大それたことができるわけではなく、考えるだけ無駄か?とも思ったが、田舎のおさんができることと言えは「忘年会」くらいかと。毎年友達を集めて仲間内でやる忘年会を大きくしてみようと思いついた。香川にソルトやてる人って何人いるやろ? 100人位かな? 友達に相談したら、やろっぜえ! 的なノリになっちゃった(笑)。

それから海上保安署への打診をしたり、各メーカーへ説明をして理解を求めていった。周囲の反応は賛否両論。酒の席で? 実釣無し? 何が生まれるの? という御声も頂いた。だが不思議と落ち込むこともなく、ただただ前を向き進み続けられたのは、最初から応援してくれた人がいてくれたからだと思ふ。RED中村君に「どうにか来れないか?」と打診したら「面白そうだから何とかするよ!」と返ってくれたことをよく覚えている。嬉しかったなあ! 主催の本人でさえこんなことになるか想像もできていない2008年の6月頃のこと

### Masanori Muraoka 村岡 昌憲

釣り、家族経営  
すべてに全力投球することは  
とても難しい。  
でもそれに敢えて挑戦すれば、  
何倍も充実した人生が  
手に入るはず。



僕は二オイに関する事を取り扱う日本のトップブランドである、カルモアという会社の経営者である。この会社には二オイセンサーの事業や産業用消臭剤の事業、いくつかの釣具工場は弊社商品のユーザーだ。そしてマンションなどの室内空間用の脱臭装置や脱臭フィルターといったものも販売している。その技術を用いて病院向けのホルムアルデヒド除去対策事業も行っているし、なぜかアニメ業界向けに消臭妖精ノールというキャラクタービジネスも展開している。ノールはイラストレーターが初音ミクを描いたことで有名なKEIさん、声優は天使の声で有名な竹達彩奈さんを起用し、アニメ業界で話題沸騰中だ。そして、このカルモアという会社はfirmoというソルトウォーターフィッシングを楽しむ人たちが集まる巨大サイトも運営している。さらに昨年にはBFBFB(ブルーブルー)という釣具製造会社を立ち上げた。改めて数えようと、僕は7つの事業をまとめる立場にある。

というと、経営者としてさぞ忙しく、世界を飛び回っていると思われるだろうが、実際は決してそうではない。日々あちこち飛び回っているのは事実であるが、それは経営者としてではなく、釣り人として飛び回っているだけである。(それも仕事なのだ)

その全てを完璧にやりとげられるのか。その答えは決まっている。絶対にNOだ。僕は決して優秀な頭脳を持った人間でもないし、凄まじい人望を持った人間でもない。本当に普通の人間である。が、村岡昌憲という名前を姓名判断で調べると、ひとつ特徴があつて、とんでもない強運であるというところらしい。過去を振り返ってみれば、特に人との出会いという点でその強運が使われており、一緒に働く人に恵まれて、それでなんと今ここまでやってこれたというのが本当の話だ。(釣果にも強運が使われているとの声もあるが、そこは目に涙を溜めてでも釣りの腕であると言いたい)

19歳に社会人になつてから、いつも何かひとつの事業とプロアングラーという仕事を両立させるべく、僕なりに必死に二所懸命にやってきました。ひとつはつとを立ち上げては一緒にそれを育ててきた幹部に渡し、30代以降は父親の起こした事業も親



それからもうひとつ、僕は家庭にもきちんと向き合っている。いや、それは言いすぎかな。ちょっとだけ寂しい思いをさせているかもしれないが、決して暖かさや笑顔は失われていないと思ってる。釣りと家庭の両立の秘訣はただひとつ、サボらないことだ。20代の頃の僕は、男というものは仕事で頑張るものという幻想に取り憑かれ、家庭には目もくれないひたすら働き、一度は家庭を壊してしまつた。その反省から、もう一度縁あつて家庭を得た今、家庭ではサボらないということを肝に銘じている。何をサボらないかという家事もそうなんだけど、「一番は」ありがとこつという言葉だと心得ている。ひとつひとつにありがと。毎日にあるがとつ。今も自分のそばにいてくれることにありがと。そして、「一番伝えなくちゃいけないこと」もありがと。…そりゃ照れくさいけど、でもサボらない。些細なことかもしれないけど、感謝の言葉を口に出す積み重ねが、家族にとつととても大切なことだと思ってる。



孝行と思つて継承し、気付けば7つの事業になつたという感じだ。

そして、今の僕が日常的に関わるのはfirmoとBFBFBの2事業。それにプロアングラーとしての自分だ。2つではなく、3つ。その他は優秀な幹部社員がやってくれている。しかし、3つでも成り立たせるのは困難極まりないというのが正直な感想だ。2012年、生まれて初めてビジネスマンとしての自分の限界を感じた2年間でもあった。どんなに頑張っても自分一人にできることは限りがあるのだ。当たり前のことなんだけど、それでも40歳になるまでは自分一人でもいざとなったら結構やっちゃうよつてことを思っていた。しかし、体力の衰え、家庭への関わり方に対する考え方の変化などがあつて、実際はそれは無理だということを感じ知ったのだ。

そこで初めて感じたことは、周りのスタッフへの深い感謝である。いてくれるだけで有り難い。これは人生初めての感覚だった。

僕は理想主義なところがあつて、特に誰かを社員として預かる立場になつた以上、彼、彼女には必ず幸せになつてもらいたい。だからこうあるべきだ、こうなつて欲しい、こう育つて欲しい、という想いが先走るのである。時間、考え方、お金、知識といった様々なところに厳しさを求めてしまう。そうでなければ後に人生を後悔することになる。今の日本を取り巻く状況は相当にきつしい、この先を考えるとつとぎついだらう。だからこそ、自分のところにいる人間に自分の人生を後悔して欲しくない。それはどんな経営者だつて思つたことだと思つた。あんな無茶苦茶だつた僕でも一所懸命にやったらこれくらいにはなれた。だから君にだつてできるはずだ、と。そう思つて期待が先行しすぎるきつがあるらしい。

が、2012年、あまりの忙しさにそれすらできなかった。あれもこれもやらなければいけないことだらけなのに、進まない。叱咤激励している場合ではない。課題山積の中で、やろう、進もう、前に行こうとやっているうちにひとつ気付いたことは、やってくれるだけでありがたい。会社に来てくれるだけでありがたいということだ。

それから、僕は友人にも恵まれている。釣り仲間もそうだし、釣りをしない仲間もそう。

虫が好きで、スケベだ。小学校の頃に出会つたなら、確実に仲良しになつただろうなということ、容易に想像させるメンバーが大先輩。というより、今時の小学生より小学生らしい人が多い。彼らは多くの安らぎと笑顔をもたらしてくれる。そして時には多くの気付きを与えてくれる。僕の足りないもの、僕の余計なもの、様々な形で彼らは僕にそれを教えてくれる。本当に有り難い。僕も彼らに何かを伝えていたら嬉しい。

…ああ、話が随分と逸れてしまつた。ちょっと強引だけど、まとめれば、両立というのは本人の努力無くしてできないことには間違いないが、一方で周りの人の応援も無くしてはできないのである。両立できない人生より何かを両立した人生の方が二倍は楽しい。だから周囲への感謝を忘れずに、何事も欲張りに頑張つていこうと思つた。

## General Osawa ジェネラル大澤

会話を通じて一人でも多くの人に、「釣って簡単で楽しい」と思ってもらえる手伝いをしたい。



サンデーアングラ時代、潮の良い週末には決まった仲間と干潟や港湾部に釣行を重ねるとにかくシーバスの数を釣ろうと躍起になっていた。当時のシーバスを狙うシチュエーションは夕間詰から夜間の釣りか主体であった。まだリップの長いルアーが多かったので、浅いポイントにルアーを通すのは容易ではなく、長いロッドを立てて極力表層をゆっくりと引くようにして釣果を出していた。ある日、釣友からこのルアーが釣れるらしいぞと薦められ釣具店に探しに行く。

ミノールといえはリップの付いているものだという先入観があり、目にしたルアーで本当に釣れるのか？と疑問を抱いたのがKONOSHITAだ。どの様にして泳ぐのか？使い方は？と店のスタッフに質問をぶつけてみた。スタッフは今までに無い泳ぎで、何よりロッド操作を行わなくても表層を引けると説明してくれた。また、実際に自分が使ってみて使い易さや釣果は革新的だったと体験談を話してくれた。

その話を聞いて自分が釣った気になる程こちらが釣られていた。釣り場にKONOSHITAを持っていき、竿を振るとスタッフの言葉通りに表層を引いた。すると驚いたことにシーバスが一桁釣果であった。その時、「釣具店スタッフって凄いと感心し、彼らはアングラにとって身近な先生のような存在なんだと確信した。

シーバスが数多く釣れるようになり、次第に数や大きさにこだわるようになり、釣り場のロケーションなども気になるようになってくる。ソルトをメインにした各雑誌に興味を持つようになり、有名アングラの載っている記事を読み、自分もこの

人の様に景色の良い場所で大いシーバスを釣りたいという気持ちが大きくなった。清流域で釣るリバーシーバスや外洋に面したサーフ、磯へとフィールドを移していくようになり、大きさや数釣りを目的としてきた釣りが、いつの間にか可愛いサイズでも綺麗な魚に会うことに喜びを感じる様に変化してきている自分に気がついた。そんな期間が5年程続き、気がつけば釣具業界に入っていた。自分の中の釣りは、単にストレス解消のついでではなく生活のリズムとなり、無くてはならない存在になっていた。

北海道や東北、四国から九州へと釣り場を巡ることによって各地域のアングラとも釣り場で交流を持ち、知り合いもたくさん増えた。もちろんRED氏の人柄や力添えが大きい。彼は私が尊敬するアングラの一人だ。今の私があるのはRED中村氏という有名アングラが側にいてくれたお蔭だと思っ。

これから私に出来ることは、各小売店を回り、担当スタッフを通して来店していただいているアングラの皆様に色々な釣りを提案していくことだと考えている。皆さんには、お店で私を見かけたらどんな質問をしてほしい。会話を通して、自分という商品を知ってもらい、私たちとの距離感を縮め「釣って簡単だ」と実感してほしい。そうすることでひとつの釣り方や、釣果だけが釣りの全てではないということを皆さんに知ってもらえればこれに勝る喜びはない。私たちも、釣り場やお店でのアングラとの出会いがとても楽しく、新鮮に感じる。その喜びを胸に、これからもずっと釣りを続けていこうと思っ。

## Ryouichi Okubo 大久保 亨一

釣りも仕事も人生も、縁。人は様々な出会いから、長くつきあえるものを選んでいく。

「「らあー」油売って」と仕事の合間釣りをしている時に地元親父衆に言われると、すかさず「商売だから」と言い返す。すると言った本人は「はっ」と本取られた表情を醸す。そう、私の稼業は油売り。プロパンガスと灯油販売をしております。住んでいるのは海沿いの街、鹿島。海の近くで釣りをしない訳はないですね。

釣りと本業を両立していると言われますが、別に私自身は無理をしているわけではなく、自然な流れで現在のような生活になりました。今後どう展開していくか解りませんが、仕事も趣味も今していることは必然で与えられているものだと思います。

食べていくための仕事をしている。そして好きな釣りもしている。この生き方に対しては私なりの考え方があります。

人にはその場所生まれた所や活動している所、その人(両親や上司、友人、親戚、御嫁さん)に縁があって、今居る場所を与えられ生かされていると信じています。だから釣りも縁、仕事も縁、趣味も縁。関わっていくものには深い浅い、長い短いもあるでしょうから、その中で長く深く付き合えるものを最終的には自然に選んでいくのだと思います。



大久保氏の経営するガス販売店の看板は、ヒラメを愛する茨城のアングラの間では密かな撮影スポットになっている。(中)大久保家に伝わる出産祝いの奉納絵馬。1846年の丙午年のもの。紆余曲折を経て2009年に大久保家に戻った。自身も丙午年生まれの大久保氏は、この絵馬に「縁を感じる」と言う。(下)

私が興味を示したのは釣りだけではありません。美術版画や柔道、スキーやパドミントン…色々好きになり、やってみました。休止している今でもそれは無駄ではなく、今の自分を作り上げてきた必要不可欠なものだったと振り返ってみて思っています。そして、それはまたいつかやる日が来るような気がしています。

トレスを抱える量が多くなり、つまらなくなってしまうような気がしています。

人は良いことでも悪いことでも与え試されているのであれば、自然とそれに向かって夢中になっていきます。一通りやり終えると気が済み、悪くてであればしみじみ正され、良し悪しを知っていく生き物なのでしよう。

自分がでできる範囲で趣味を楽しむ、本業が忙しければ没頭するので釣りに行きたいとはあまり考えず、やはり食べるための本業を維持することを優先します。食べさせて頂いている、趣味を持てる生活をさせて頂いている、ヘースとなっているお客様は大変大事と思っています。家族もそう、自分の行動に合わせて束縛させてしまつものも関わらず付き合って貰えることには、とても感謝しています。面と向かつては言えませんが…ハハハ。そして趣味に没頭する時期が来れば自然と趣味の世界の中へ流れていく自分がいます。

釣日も音楽も自分の楽しみだけでなく、こうメディアに出続けているということは「小さいながらも周りになんらかの影響を与えられる存在でなければいけないんじゃないか？だから下手でも今は音楽や釣りという趣味を与えて頂いているのだ」という気がするのです。自分自身をよく見つめてみると、僕の場合仕事は食べていくために、趣味は生きるために、のようです。趣味を仕事にできる人は素晴らしいと思いますし憧れます。しかし僕の場合下手なんでしょう。趣味を仕事にしようと思っ。

好きなことを行える所、支えてくれる人、影響や教えを与えてくれる環境や人には常に感謝をすることです。まずこの日々感謝することが食入ることと活きることを両立するのだと思っ。あつ！もちろん釣れてくれる魚も御縁！ここも特に感謝を忘れてはいけないところですよね！

道草大好き。  
その性分が、遠征の日々を  
何倍も楽しくしてくれる。

最近では航空網も発達し、格安航空会社を利用でき  
ることもあってか、以前にも増して遠征釣行が  
より身近になってきている。私もそういう交通手段  
を利用することによって、より遠征が身近になり、  
口々をする環境もだいぶ良くなってきたように感  
じている。しかしながらシーバスの分布域を考えると、航空機を使った移動は最大でもせいぜい2時間  
ほど。そこに旅をしているという旅情を感じるこ  
とは希薄になってしまったように思う。何分、学生時  
代は東南〜南アジアを旅する貧乏バックパッカー  
だったので、なにかとんびり無為な時間を過ごす  
のが好きな性格。実は皆さんが思っているほどに釣  
りにカチガチしておらず、多趣味で色々な方向に興  
味があるので、道草寄り道が大好きなのだ。遠征  
途中に有名なB級グルメがあればチヨイとつまみ  
気持ち良さ気な露天温泉があればタオル片手に  
入浴。そんな風にだんだんと目的地へ近づいていく  
と気分も盛り上がるというもの。

また、なんかやんや言いつつ、取材先で宿をとら  
ないで車中泊するのもいいものだ。特にナイト  
ゲーム中心のマル狙いでは宿を予約しなくてもチエツ  
イン、チエツアウトの時間が合わないばかりか、現  
地での機動力が悪くなってしまうケースもある。  
そんな時車中泊ならばまったく気にならない、好  
きな時に寝ることができると、釣り場近くに潜伏  
していれば早朝に起床してすぐにポイントに入る  
ことも可能だ。それに加え、密かにキャンプ好き  
&道具フェチの私。神田界隈の山登り用品街や中  
古ミリタリー屋で品定めしながら買い集めたバー  
ナーやらフーエルなんかもそこそこばかり活躍。  
遠征先はお食事処やコンビニが無い僻地も多いの  
で、こういった小道具が大活躍してくれる。あまり  
手の込んだ料理は作らないものの、寒い時期の鍋  
物やスープは外で作って食べる美味しさは五割増  
した。たまに買ってみる怪しげな輸入食材を使うと  
夕食を作ったりするのも実に楽しい。そんな料理

を突っつきながら仲間とビールや安焼酎を片手に  
その日の釣り談義をするワケである。思うに非常  
に贅沢な時間があるにはある。ある時は波音の聞  
こえる磯の隅っこで、またある時は常夜灯が水面  
を照らす寂れた漁港で、またある時は鹿や野  
うさぎが徘徊する田舎のキャンプ場で、またある  
時は人里遠く離れた山中の源流域で...  
学生時代にインドを旅した時にタージリンの安宿  
の屋上から夜空を見上げて、宇宙にはこんなにも  
星がいっぱいあるのかと腰を抜かしたことがある  
が、案外日本国内の夜空も捨てたものじゃない。流  
れ星や真つ赤に染まる朝焼けの風景も普通に生活  
している人達には比べたら、ものすごい多くの回数見  
ているはずだ。  
遠征の釣りという二十代の頃はオフショアの  
ターゲットを中心に攻めていた。しかしここ数十年  
はオカッパリがメインだ。オフショアというどうし  
ても出費が高むし、釣り以外の所で楽しむ要素が



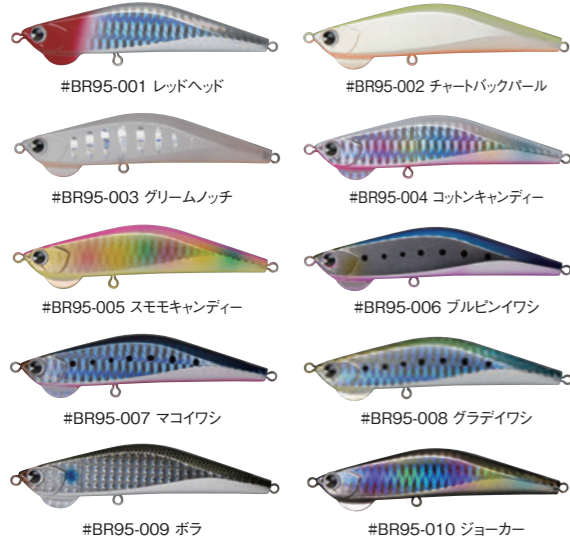
少なくなってしまう。その点、オカッパリは大自然  
を身近に感じることができると、キャンプを含め花  
鳥風月を楽しむという点では二歩も二歩もリード  
しているように思う。それにどうも私は地べたを這  
いつくばっている方が性に合うようで、地に足を  
つけて釣りをしているほうが落ち着くのである。最  
近ではトラウト類を楽しむ機会も増えてきたが、ソルト  
でのメインターゲットはやはりシーバス。普段、ホー  
ムである東京湾のマルズズキや伊豆を狙っているヒ  
ラスズキをあえて遠征で狙うのだ。シーバス達の環  
境適応能力が高く、多様なシチュエーションに根付  
いているのがわかる。技術的なことはホームで培っ  
た知識を遠征で応用するのだが、やはりそこはそ  
れぞれの土地に適応した微妙に違った性格のシー  
バスがいる。その辺を修正しつつ結果に結びつける  
のだが、これが意外や意外！毎回遠征の度に新し  
い発見があったりして、全く飽きのこないターゲット  
なのである。遠征先での経験に基づいて新しいル  
アーのアイデアを思いつくこともあるし、遠征先の  
メソッドをホームでの釣りにフィードバックしてみ  
るのもひとつの楽しみである。このようにしてフィ  
ールドから生まれたのがRED STAR ARMYの商  
品群だ。どれもこれもひねくれたクセのある、これら  
のルアーは、多様な使用方法があるモデルが多い。



ちろんただ投げて巻くだけでもきちんとアクション  
するのだが、使い込むことによって様々な使用方法  
ができる。応用の利くルアーとなっている。釣りとい  
うのは自然が相手の遊びである。当然ながらマ  
ニュアル通りに事は運ばないし、マニュアル通りの釣  
りをしても面白くない。その日の天候、流れ、水  
色、潮位、ベイト状況その他が複雑に絡み合う中、  
どうルアーを使いこなすかを楽しむ遊びだ。  
よってこのルアーで様々な使い方ができるよう発  
展性のあるルアーの方が想像力をかきたてられて  
面白いのではないかと、使い手によって自分なりの使  
いこなしを発見していただければ良いなあ」と考え  
ている次第である。  
だいぶ遠征の話からはそれてしまっただが、遠征で  
の釣りの楽しみ方は人それぞれ。二十代の頃はた  
だひたすら時間を惜しんでロッドを振り、大きな魚  
やたくさん釣ることを釣るだけだが、釣りの楽しみ  
方、と思いついてきた。しかしながら歳を重ねるこ  
とによって遠征の釣りを取り巻く様々な環境  
を楽しめるようになってきた。余裕を持って遠征の  
時間を楽しむことはと贅沢なことではないと感じ  
る次第である。  
2013年も、釣りを仕事と趣味にして良かった  
と思える時間をたくさん過ごしたいと思う。

# Barbarossa 95

[全長]95mm [重量]22g [タイプ]シンキング [レンジ]20~80cm  
 [アクション]S字スラローム+ローリングフォール [フック]ST-46 #4 [リング]オリジナル#3  
 [価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2011/9/25



流れや風を利用し'巻かないで釣る'ことを可能にしたRED中村プロデュースのバルパロッサ。そのバルパロッサに、磯以外のフィールドにも適合する95mmサイズがラインナップ。リフト&フォール、リトリブ&フォール、ジャーク&フォール、トリフの基本操作に加え、タダ巻きでは通常のシンキングペンシルとは一線を画すS字蛇行アクションを発生。ジャークによる強烈なヒラ打ちフラッシングも有効。

# PUGACHEV'S COBRA

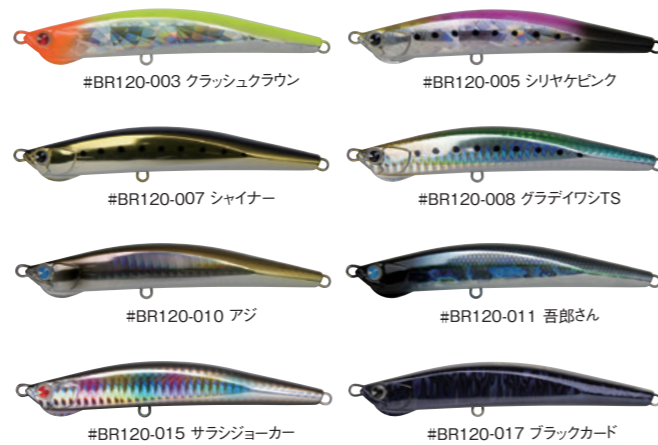
[全長]90mm [重量]12g [タイプ]トップウォーター  
 [アクション]スライディング [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
 [価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2010/8/21



シーバスのトップウォーターゲームで頻発するミスバイト。フッキング効率を改善するために浮力をギリギリまで落とし、吸い込みを重視したペンシルベイト。その水に纏わりつくような操作感とは他のペンシルと明らかに異なる。アングラーのロッドアクションに機敏に反応し、真横90度近くにグイッと首を鋭く振る動きはシーバスのみならず、ブラックバスにも効果抜群。

# Barbarossa

[全長]120mm [重量]33g [タイプ]シンキング [レンジ]20~80cm  
 [アクション]S字スラローム+ローリングフォール [フック]ST-46 #3 [リング]オリジナル #4  
 [価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2010/7/31



シンキングペンシルの可能性と発展性に早くから着目していたRED中村が、さまざまな使用方法に対応するマルチメソッドシンペンとしてプロデュース。テンションフォールした時に発生する平行姿勢でのローリングフォールは、横方向の動きで全く反応しないシーバスもバイトに持ち込むことを可能とした。独特なボディ形状により浮力を抑え、ヘビーウエイトを搭載することにより、磯や強風の中でも浮き上がりにくい性能を発揮。

# FLAMING DART

[全長]150mm(ボディ100mm) [重量]24g [タイプ]シンキング [レンジ]10~80cm  
 [アクション]微振動ローリング+ローリングフォール [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#2  
 [価格]2,100円(税抜2,000円) [誕生日]2011/11/10  
 ※品番の( )内はブレードのカラー



シャローエリアで使えるテールスピンという大胆な発想を元にRED中村がプロデュース。水面直下でのレンジキープ能力に優れ、デイゲームでのシャロー攻略に最適な設計となっている。タダ巻き、ストップ&ゴー、往年のグリグリメソッドが使い方の基本。フォールスピードはかなり遅めのセッティングになっているので、シャローレンジでもフォールを織り交ぜた攻略が可能。深場攻略が一般的だったテールスピンの概念を覆す意欲作。

# FLAMING DART

[全長]125mm [重量]20g [タイプ]フローティング [レンジ]50~100cm  
 [アクション]ハンティングスラローム+ローリング [フック]ST-46 #3 [リング]オリジナル#3  
 [価格]2,205円(税抜2,100円) [誕生日]2011/12/10



REDプロデュース第4弾にして正統派を思わせるフローティングミノ。キビキビとしたローリングアクションを基調として、緩やかなS字軌道を描くという二つのアクションを融合させた「ダブルアクション」がコンセプト。オフセットタイプのリップは空気抵抗の少ない飛行姿勢を実現し、かつ素早い立ち上がりを実現。ボディは角型面を持ち、ローリングアクションで強烈にフラッシング。

# FLAMING DART BD-95F

フレイミングダート BD-95F ※BDはBeastlyDrunk(へべれけ)の略  
 [全長]95mm [重量]18g [タイプ]フローティング [レンジ]50~100cm  
 [アクション]ビーストリイドランク、スラローム+ローリング [フック]ST-46 #3  
 [リング]オリジナル#3 [価格]1,995円(税抜1,900円) [誕生日]2012/7/20



[FLAMING DART BD-95F] オリジナルのフレイミングダートを再設計。港湾や大中河川のコンシロ、サッパ、ヒイラギパターンに対応するシャッドフォームを採用。特徴である蛇行アクションのピッチを細かくさせた。95mmとはいえ単なるダウンサイジングではなく、シルエットボリュームがあってアピール力は強め。大型のシーバスにも対応できるモデル。

[FLAMING DART BD-95 RC] フレイミングダートBD-95Fを足場の高い磯や堤防でも使えるように再チューニング。浮きを抑え込んだリップ形状に加え、シンキング化をすることによってサラシに採まれることなく狙ったコースをトレース。大型ミノに反応しない時のフォローミノとして迷うことなくチョイス! 2013年発売予定。



## Yuji Teramoto 寺本 雄二

例えばサイズより、獲り方にこだわる。自分にあつた楽しみ方を見つける。それが一番幸せな釣りだと思ふ。



僕が釣りと出会ったのは、小学校二年生の時に近所の兄さんに連れて行ってもらつたフナ釣りだつた。人口50万人以上の世界の都市で唯一水道水源を地下水だけでまかなう「世界一の地下水都市」と呼ばれる熊本県熊本市で僕は育つた。近所には豊富な湧水や河川・湖等が有り、当時の熊本の子供達は当たり前のよう釣りを水遊びに親しんでいた。

釣りを覚えてからは自宅のそばに湖があつたおかげで、勉強もせずにはほぼ毎日釣りに雷魚・ブラックバスを狙つていた。その頃からルアーでシーバスも狙えることは知つていたが、ポイントまでの距離の遠さから本気でシーバスを狙うことはできなかった。やがて大人になつて行動範囲が広がり、お約束のようにルアーシーバスを始める。広大なロケーション、シーバスの強い引き、豪快なエグイ洗いに魅了され、一発でこの釣りにハマつた。

その中でも、僕に合ったのは河川でのシーバス。最大約4メートルという、日本有数の干満差を誇る地元熊本本の河川。釣りをすることで初めて知つたのだが、上げ潮での速い逆流でダウンクロスに流し込む釣りもできるような特殊な地域だつた。水面の上下動は、動く時で時速約1メートル。シーバスの捕食スイッチは入りやすいが、あつという間に切れる。それどころか、ポイントに水がなくなるような場所も多い。

そんな場所でシーバスを効率よく狙うために身に付けたのが、アップクロスの釣り方。シャローや深みなどの広範囲に居るシーバスを狙うのではなく、立体的なストラクチャーに捕食のために着いたシーバスを少ないキャスト数で食わせる方法に夢中になつた。潮位と流れを見極め、こそとというタイミングでキャストし、弱りながらも頑張つてるベイトを演出しながら、シーバスが捕食のために待っているポイントにルアーを誘導する。

潮位と流れタイミングを待ち、一投で決めた時の気持ちよさ。これが自分に合った釣りだつた。速い流れの中のポイント、そこを狙つて釣るためにどうしても元気のいい中堅クラスのヒット率が高くなるが、狙つて食わせる楽しさが最高！

全国的にも有名な、メーターオーバーのシーバスが獲りやすいと言われる熊本県。実際、良型と呼ばれるのは90cmからという変な土地。「90cm以下はセイゴだね」という、地元アングラー同士の話もある。しかし、僕が獲りたいのは型ではなく、思い通りにヒットさせたシーバスだ。獲り続けていけば、型はいつか出るという考え方だ。

釣りの楽しみ方は人それぞれ。型にこだわるアングラーもいれば、友人と仲良くロッドを振るだけで楽しい人もいるだろう。皆それぞれの楽しみ方でゆつくりまったりと楽しんでいけばいいと思う。趣味なのだから。

ただ好きで続けてきた釣りという遊び。続けてきたことによつて、年齢・性別・土地を超えてたくさんの友人が出来た。釣りをしていなければ、知り合うことはなかつただろう人達もいる。

シーバスを始めた時に、昔バス釣りにいた頃の友人と再会したこともある。僕にとって、釣りはなんなのだろうか？釣りをしていなかつたら、どうなっているのだろうか？食物連鎖の形をテレビ以外で見ることができたのだろうか。自然の美しさや恐ろしさ、野生の強さと弱さを身をもって知ることができたのだろうか。四十歳を過ぎて、先輩や若い友人たちと夜明けまでバカ話なんてできたのだろうか。真冬の星の下で食う、カップラーメンの旨さに気づいたのだろうか。

若い頃の僕は独りが好きだつた。独りで楽しめるから、釣りという遊びに夢中になつた部分もあった。でも、長年釣りを続け、気づいたら周りにはたくさんの友人がいた。なんの違和感もなく、当たり前のようにその環境を楽しんでいる自分がいる。釣りをしていなかつたら、今の自分とは全く違う人生だつたらう。そつちのほうが良い人生だつたのかもれないが…(笑)

過去に戻つて釣りを知らない人生を選べるとしても、僕は間違いなくまたこの人生を選ぶ。そして朝までロッドも振らずに、たくさん仲間達とバカ話をする夜を過ごしたい。

## Takashi Kuwamura 桑村 孝

マリンスポーツが盛んな土地柄と、魚種の豊富な海が育てたカヤックフィッシングで楽しむ「非日常」の世界。

全国的に広がりを見せるカヤックフィッシング。その中でも私の暮らす神奈川県は、週末ともなると多くのアングラーがカヤックで海に出る、数多くのカヤックフィッシングのバイオアを有する地域だと思ふ。その背景には、元来マリンスポーツが盛んな地域であることが挙げられます。たくさんの人々に海が開放され、サーフィンやヨット、遊漁船など、海を利用した遊びは多岐に渡ります。東に東京湾、西に相模湾、南には三浦半島が広がり、そこにはシーバスをはじめ、アオリイカや真鯛、青物など多数の魚種が季節ごとに姿を見せます。マリンスポーツが盛んな地域に魚種が豊富な海、カヤックフィッシングが早い時期から発展したのも、このような背景があつたからなのかも知れません。

さて、そんなカヤックフィッシングの魅力とはなんでしょうか？たくさん魚が釣れること？美味しい魚が釣れること？それとも、苦勞してカヤックを漕いで1匹の魚に出会うことでしょうか？どれも正解だと思ふ。しかし、やっぱり一番の醍醐味は、普段の生活を送る陸の上では体験できない数多くの感動が待っているからではないでしょうか。海上から見渡せるシヨライン。手を伸ばせば届く海面。透き通る水の中に見渡せるベイトの群れ

やボトム、岩礁帯。日常生活を送る陸のすぐ横には、カヤックアングラーでないと体験できない、これらの非日常の世界が広がります。この感覚を体験できることこそが、カヤックフィッシングの最大の魅力だと感じています。

非日常と言えは極めて特殊な人でないと体験できないような印象があるかも知れません。しかし、普段の生活の中でもいつも隣り合つて居る海。そこは遠い場所ではなく、身近な場所。カヤックを漕ぎ出すことさえできれば簡単に非日常を体験できるのも素晴らしい点だと思ふ。

ひとたび海へ漕ぎ出すと、そこに広がるのは広大なフィールド。動ける範囲は、動力船が二番で次にカヤック、そしてウエーディングといったところでしょうか。今まで培ってきた経験の中からシーバスを探し出すのもよし。魚探やGPSなどの電子機器を装備してシーバスを探すのもよし。仲間とエリアを手分けて探るのもよし。シーバスひとつをこつとめて、攻めることもできるフィールドが大きいからその楽しみ方が数多くあります。

その広大なフィールドの中で、私の住む神奈川県は横浜南部、横須賀にかけてのエリアがシーバスの絶好のフィールドとなっています。一年を通じて



釣果を得ることができず、イワシの接岸する春から初夏、産卵を意識した個体が回遊し始める晩秋は数、型ともに狙えるベストシーズンと言えるでしょう。ポイントとなるエリアも水深2〜10m程度と幅広く、ボトムも砂地から岩礁帯、人工の護岸とその種類は豊富で飽きることはありません。沖から見える景色は横浜や横須賀の街並少し南へ目を向ければ観音崎の磯。そして対岸には房総半島の工業地帯から富津以南に広がる緑のエリア。それらの景色は、まさに普段を過ごす日常。そこから僅か数キロメートル沖には、シーバス釣りを通じて感じる「こと」できる非日常的な世界が広がっています。

日常の中で目にする海。そんな場所でも視線が変われば、途端に非日常へと変化します。ただそれを体感するだけではなく、私たちカヤックアングラーには釣りという要素がプラスされ、その楽しみはフィールドの数と魚の種類の分だけ広がりを見せてくれます。

皆さんも、普段の生活と隣り合わせの非日常を、カヤックとタックルを手に探しに出かけてみてはいかがでしょうか！

### Toshihiro Takatsu 高津 利広(もんじゃ五平)



人と出会いが釣りを深め、  
釣りがまた釣り人たちとの絆を深めていく。

子供の頃から、「釣り」が好きでした。子供の頃から、「ずーっと」「釣り」が好きでした。「月島」という、隅田川に囲まれた下町に生まれ育った私が釣りを好きになったのも「もんじゃ屋」を営むようになったのも、自然の成り行きだったのでしょ...

そんな私が、村岡昌憲という稀代のシーバサーと出会ったのは、90年代も終わりの頃。インターネットの普及に先駆け、当時「東京湾奥シーバス情報」というホームページを立ち上げた彼のもとには、多くの釣り人が集まりました。かくいう私もその一人でした。

「釣り」が好きで好きでしようがない者同士。ときには良い釣り仲間であり、ときには良きライバル。互いに人と人として向き合い、親交を深めていったのです。彼等からもらった刺激は、私の釣りに対する考えを、大きく動かしてくれました。

村岡さんは、ことあるごとに私の店「もんじゃ五平」を、釣り人の集いの場として活用してくれました。釣りの打ち上げや、釣り仲間とのミーティング、釣り人同士の大忘年会...。たくさん釣りの人がお店に足を運んでくれるようになりました。

お店にやってくる釣り人たちと、釣り好きもんじゃ屋の私。「店と客」という垣根を越えるのに、そう時間は必要ありませんでした。すぐに打ち解け、一緒に釣りにも行くようになりました。そうしてさらに釣り人の輪は広がっていき「もんじゃ五平」は、新たな出会い、新たな繋がりを生み出す場として、釣り人たちの絆に「役担える場所」になったのです...

村岡さんが、「fimo」という釣り人のSNSを立ち上げた現在も変わらず、いや、むしろこれまでよりたくさんの釣り人たちの繋がりの場として活用していただけるようになりました。そしてもちろん私自身も、もんじゃ五平に集まる釣り人たちとの繋がりをさらに深めていっています。そして「昨年、私の釣り人生は、「fimo」の「凄腕」なる釣りトーナメントを機に新たな局面を迎えます。それが、私とimaとの出会いとなりました。

優勝した者だけが「凄腕」の称号を得られ、最大魚を釣った者だけが「超弩級」の称号が得られる...それが「凄腕」というfimo内釣りトーナメント。その「凄腕」の2011年11月開催のimaカップの副賞が「ima新作ルアー1年間モニター権」だったのです。オフショア部門で優勝することができた私は、2012年ima新作モニターの1人となったのです。

昨年、imaルアーで武装した私は、東京湾奥でたくさんのランカーシーバスと出会うことができました。自身のシーバスフィッシング歴においても過去最高の数字をたたき出し、imaルアーが、私の釣りに、湾奥での自分の釣りに、深く、濃く、染み込んでいった成果でした。

「釣り」が好きでしようがない私が、「fimo」を通じてimaと出会う...それも、必然だったのかも知れません。「もんじゃ五平」に集まる釣り人との繋がりが、imaとの出会い。その偶然を、必然と信じ、海に、人に...出会いと繋がりに感謝して、今日もまた大好きな「釣り」をして、フィールドに出かけたいと思います。

### Hitoshi Suzuki 鈴木 斉



青森から九州、そして済州島まで。  
未知なるシーバスフィールドを探す旅を続ける。

北は青森県から西は九州の海まで！2012年はとにかく魚を追い求め、全国各地をひたすら走り回り、釣りに出掛けた年でした。日本には、まだまだメディアで紹介されていない素晴らしいシーバスフィールドがたくさん存在しており、そんなご当地では地元アングラーの皆さんと楽しく釣りができ、また大変お世話になりました。

特に印象に残っているフィールドは、青森県十三湖と島根県宍道湖のシーバス。この二つの湖は、私の地元茨城県酒沼と同じ汽水湖で、湖全体が遠浅でウエーディングでシーバッシングが楽しめます。メインベイトは鱈の子で、ルアーへの反応も良く、ディゲームオンでも安定した釣果が出る素晴らしいフィールドなんです！とにかく自然が豊かでロケーションもよく、シーバスがスゲー！まだ日本には、そんな夢みたくないフィールドが存在していることに驚きました。

昨年テレビ撮影をした時にも、気持ち良く釣りを楽しみながら撮影ができました。これもロケルアングラーや釣具店のみなさまのサポートのおかげです。ロケルでは当たり前釣りの場でも全国レベルになると全く知られていないことも珍しくありません。昨年の私の釣りは、全国の知られざる穴場的シーバスフィールドを探しながら、全国で紹介していくことだった様な気がします。

私の探究心は日本国内に留まらず、韓国済州島にもシーバスを求めて行って来ました。韓国のシーバスは、いいイメージで出掛けま

したが、意外なほど韓国でもシーバスフィッシングの人氣が高まってきており、一周約3kmの小さな離島にも関わらず週末になると多くのアングラーが訪れていました。事前情報が少ないながらも釣行で四苦八苦していた際に、訪れた加波島の食堂で発見した一枚の写真に驚かされました。明らかに90cmを超えるヒラスズキの口元には、なんとimasasuke120裂波がぶら下がっていたからです！

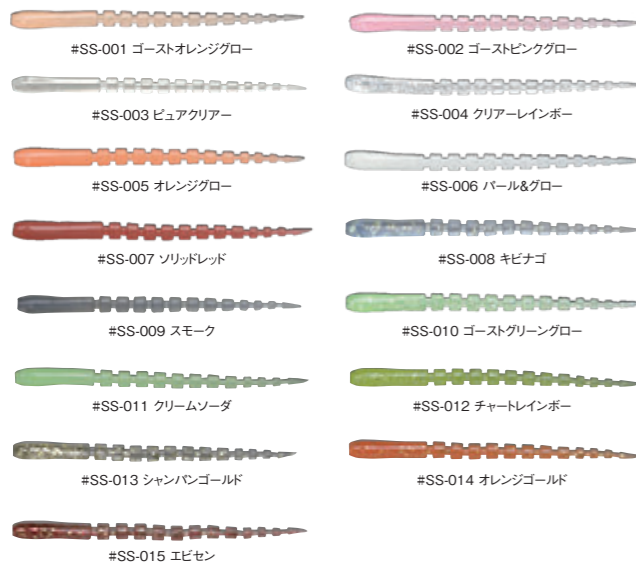
店内をよく見るとシーバスの写真が至る所に！しかもトップウォーターimapopkeyでの釣果写真もありました。店の方と話を分かったことは、まずはシーズン毎にマルズズキとヒラスズキ、狙うターゲットがかわること。島のポイントによって上げ潮が良いか下げ潮が良いかということ。シーズン(水温)でベイトが変わり、潮位のタイミングで魚のポイントを出入りするということだった。全くシーバスに対して未知なフィールドだと思いきや、日本と同じ位ポイント開拓や狙い方などがパターン化されているのは正直驚きました。今やシーバスフィッシングは、日本に留まらず世界各地でポピュラーなゲームフィッシングになったのだと思った瞬間でした。

2013年の今年も、私は全国各地を歩き回りながら、まだ紹介されていない未知なるシーバスの楽園を求めて、仕事にプライベートに釣りに出掛けようと思っておりますので、現地でお会いした際には、皆さんぜひとも暖かく迎えて下さい！



# シラスネーク

【全長】3inch(75mm)  
【価格】525円(税抜500円)【誕生日】2012/4/10



特徴的な凹凸ボディから繰り出される艶かしいスイムアクションと吸い込みを重視した柔らかい素材が特徴のシラスネーク。特にアジ用として最適な3インチのシラスネークはジグヘッドやスプリットショット、キャロライナ、ダウンショット等様々な使用法で使いこなすことが可能です。

# TRILOBITE

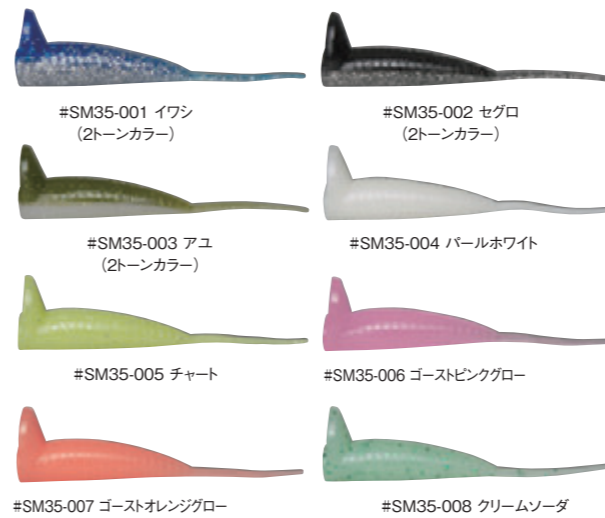
SSサイズ：【全長】45mm 【価格】441円(税抜420円)【誕生日】2010/12/18  
Sサイズ：【全長】55mm 【価格】473円(税抜450円)【誕生日】2010/6/10  
Mサイズ：【全長】64mm 【価格】504円(税抜480円)【誕生日】2010/6/10  
※カラーは全て共通。画像はMサイズ



シンプルな形状でありながら、ボディ全体のヒダでわずかな気泡とフォーミュラーを含み、闇夜の海中でも最大限のアピール力を生み出す。狙いのターゲットに合わせた3サイズのTRILOBITEが、ライトタックルゲームに新たな風を吹き込む。

# Sea Mouse

【全長】85mm  
【価格】788円(税抜750円)【誕生日】2011/7/18



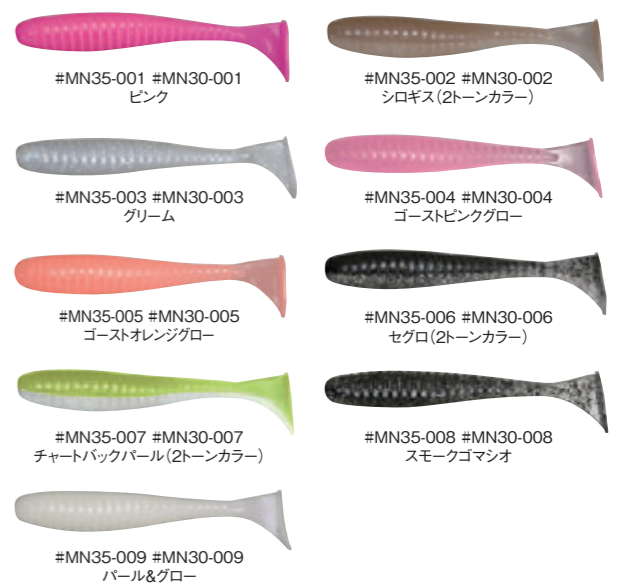
ワームの外見を持ちながらアクションはミノー感覚。リトリブをするとブルブルと泳ぐ感触が手元に伝わる。ワームの常識を覆すローリングアクションを発生し、シーバスはもちろんのこと、ヒラメやマゴチといった砂モノ、バスにも幅広く対応。プラグを使って結果が出ない時の一手や、根掛かりが激しいポイントでのボトム攻略に最適な攻撃的アイテム。

# Metty Nymph Gyo Do 3.5inch

【全長】3.5inch  
【価格】735円(税抜700円)  
【誕生日】2011/5/25

# Metty Nymph Gyo Do 3inch

【全長】3inch(約75mm)  
【価格】683円(税抜650円)  
【誕生日】2012/6/25



ヒラメや北国の大型根魚専用設計のワームがメルティニンプ。特徴的な大型シャッドテールが水を掴み、ボディ全体を振るわせるようなアクションを誘発。正に生き物のような生命感を生み出します。もちろん味・匂い付きの集魚材が配合されているので、食い渋りの低活性時にもバイト持ち込むことが可能だ。柔らかめの素材を採用し、食い込みの良さも抜群。

# シラスネークミニ

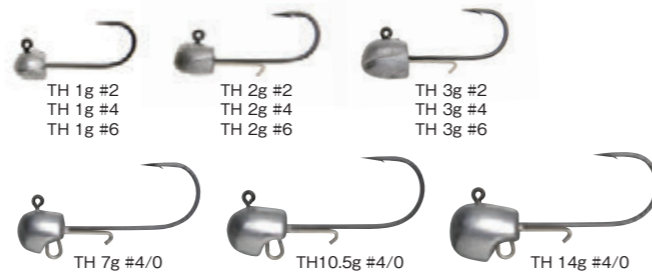
【全長】1.8inch(46mm)  
【価格】525円(税抜500円)【誕生日】2012/12/10



メバル用としてラインナップされた1,8インチのシラスネークミニ。極小ジグヘッドとの組み合わせで生命感あるアクションを演出します。特徴のある柔らかい素材はショートバイトが多発するような低水温時でも口にくわえている時間が長く、フッキングさせやすいという長所があります。

# Turtle Head

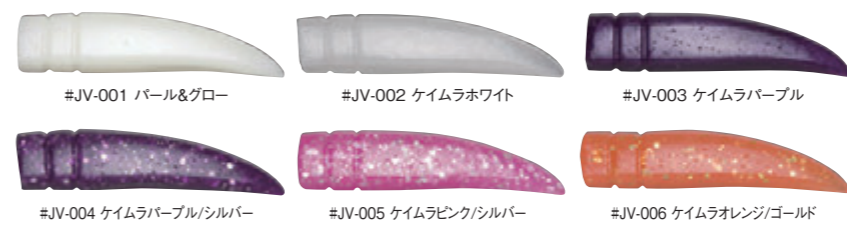
1g：【フック】OWNER JIG28 #2 #4 #6 【価格】431円(税抜410円)【誕生日】2010/6/10  
2g：【フック】OWNER JIG28 #2 #4 #6 【価格】441円(税抜420円)【誕生日】2010/6/10  
3g：【フック】OWNER JIG28 #2 #4 #6 【価格】452円(税抜430円)【誕生日】2010/6/10  
7g：【フック】OWNER JIG28 #4/0 【価格】368円(税抜350円)【誕生日】2011/7/18  
10.5g：【フック】OWNER JIG28 #4/0 【価格】368円(税抜350円)【誕生日】2011/7/18  
14g：【フック】OWNER JIG28 #4/0 【価格】368円(税抜350円)【誕生日】2011/7/18



imaオリジナルのヘッド形状がわずかな水流に反応し、横揺れを生み出し大型のメバルにその効果を発揮。小型ジグヘッドとしては例を見ない“太軸フック”にワームキーパーを装備することで、ワンランク上のライトゲームを可能とした。

# JIVE

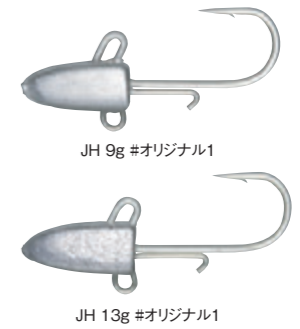
【全長】2inch(約51mm)【入り数】8本【価格】662円(税抜630円)【誕生日】2012/7/10



手軽にオカッリで小型回遊魚を楽しむためのワームがジャイブ。ジャイブヘッドと組み合わせて、ラインスラックを巧みに操りながらジャークをすれば、左右へ鋭くダートします。ミノーやメタルジグに反応しない青物もジャイブの激しいアクションに思わずバイト! もちろんシーバスのデイゲームにも抜群です。

# JIVE HEAD

【重量】9・13g【フック】OWNER JIG #オリジナル1  
【入り数】3個【価格】9g 578円(税抜 550円)、  
13g 630円(税抜 600円)  
【誕生日】2012/7/10



ペンシルポッパー  
ペンシルベイトの操作性にアピール力を  
プラスした小型TOPウォータープラグ



komomo 145  
ビッグフィッシュに照準を絞った  
お馴染みシャローランナー

フガチョアコブラ60  
オリジナルサイズに劣ることのない抜群の  
操作性による機敏なウオーキングアクションで  
黒鯛をはじめ、シーバス、メッキ、ショゴ等の  
小型回遊魚まで幅広い対応力の小型ペンシル



カタチゴコロウ  
その名の通り、ベイト系の偏食によるセレクトティブな状況下での  
使用に特化したシンキングペンシル



ステアーアークロウ  
コノシロパターンや河川の  
ビッグフィッシュ狙いに  
RED中村が鋭意開発中



魚道110SR  
魚道シリーズのニューカマー、  
遠浅サーフで威力を発揮する  
シャローランナータイプ



フレイミングダート125SR  
同シリーズが持つ意図的なダートの再現を目論む  
シャローランナータイプのフレイミングダート

## 2013 NEW PRODUCTS

スラップハニー(仮)  
磯や河口など、一般的な細身のミノーでは、  
時としてアピール力不足になりがち、  
そんな状況を打破する新型リップレスミノー



コウメインフィニティ20  
従来の30gではオーバースペックな条件下で  
威力を発揮するダウンサイジングモデルの登場



魚道110MD  
imaが放ったヒラメ専用MIDダイバーの開祖が  
フルモデルチェンジ潮の高い時間帯や、  
急深サーフを得意とする。



メルティニンフ4インチ  
ヒラメに根魚でお馴染みメルティニンフに  
4インチサイズが仲間入り。  
サイズアップでアピール力もアップ

GUN吉50・60g  
キャストでもバーチカルでもどんな使い方も  
出来るガンキチにニューサイズ50g60gが追加

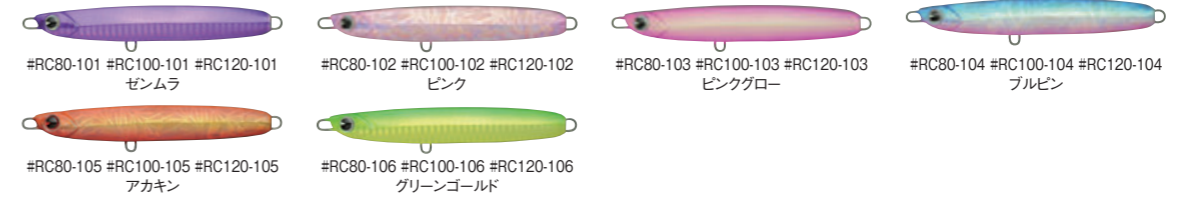


キャストジグ  
ゆっくりとしたロッド操作での使用を前提とし、  
ただ巻きでウォブリングする新型ジグの登場。



八十郎：[重量]80g [誕生日]2003/8/21 [価格]945円(税抜900円)  
百郎：[重量]100g [誕生日]2003/8/21 [価格]998円(税抜950円)  
百二十郎：[重量]120g [誕生日]2003/12/9 [価格]1,050円(税抜1,000円)  
六十郎リアウエイト：[重量]60g [誕生日]2005/9/30 [価格]1,155円(税抜1,100円)  
八十郎リアウエイト：[重量]80g [誕生日]2005/9/30 [価格]1,155円(税抜1,100円)  
※六十郎・八十郎両リアウエイトモデルにはフロントフックアイはありません

### 八十郎 百郎 百二十郎



### 六十郎 リアウエイト 八十郎 リアウエイト



タチウオのバーチカルジグ用のメタルジグ。  
従来のリアフックのみのメタルジグでは、フッキングミスが多発するため、ミノーと同じようなフロントフックアイを装備させた。  
バイトしてきたタチウオの口に高確率でフックアップ、またフォールのフッキング率も大幅にアップしているのも見逃せない。



GUN吉 20：[全長]73mm(アイ含む) [重量]20g [誕生日]2005/5/31 [価格]630円(税抜600円)  
GUN吉 30：[全長]80mm(アイ含む) [重量]30g [誕生日]2004/4/21 [価格]683円(税抜650円)  
GUN吉 40：[全長]85mm(アイ含む) [重量]40g [誕生日]2005/8/31 [価格]735円(税抜700円)  
GUN吉 7：[全長]45mm(アイ含む) [重量]7g [誕生日]2011/8/12 [価格]525円(税抜500円)  
GUN吉 12：[全長]55mm(アイ含む) [重量]12g [誕生日]2011/8/12 [価格]578円(税抜550円)

### 20g 30g 40g



裏面(#GK210-112・#GK30-112・  
#GK40-112 キンギン)

※カラーは全て共通。画像はGUN吉30g

### 7g 12g



裏面(#GK07-006・  
#GK12-006 キンギン)

※カラーは全て共通。画像はGUN吉12g

岸壁ジグングに最適なメタルジグ。フォールさせるとランダムにスライドアクションを起こす為、フォール時にバイトが多発する。  
バーチカルジグングでも的確なアクションをジグに伝えることができ、青物のキャストジグはもちろんだ、  
最近ではヒラメのボトム攻略、イシモチのジグング等万能型メタルジグとして様々な応用方法が開発されている。  
高いポテンシャルを秘めたバーサタイルジグ。

世代を超えた絆に導かれ再びアカメの海へ。

香川県在住の i ma アングラー濱本国彦。彼の呼びかけで始まった S W A P (Salt Water Angler's Party)。

小林厚治は、参加者としてその会場にいた。会場に展示されていた小さなブースに、巨大なアカメの写真がところ狭しと並んでいるのが目に入った。

「これどうやって釣ったの？」と出展主に尋ねると「全部ね、僕の船で釣ったんですよ。難しいけど、釣れますよ」という答えが返ってきた。

「これには信じられなかった。それが「やまひろつりぐ」山本浩雅氏との出会いだった。」濱本国彦が間に立つと、会話はより弾んだ。「厚治さん、僕がご案内しますよ」と山本氏は小林厚治に約束した。

この時から、彼のアカメ熱は再燃する。絆を大切にするために S W A P を主宰する次世代のアングラー、濱本国彦が運んできた縁で、アカメへと続く道が、彼の前に再び開けたのである。

週末に高知へと通う日々が戻ってきた。山本氏は、多忙なスケジュールの合間を縫って小林厚治を乗せ海に出た。そしてさまざまな縁でつながった、高知に住むたくさんの仲間が遠征毎に彼を温かく迎え入れ、全力でサポートした。

「やまひろつりぐ」の船が出せないときは、仲間の船が代わりに出船したこともあった。

「一緒に釣りをする若きアングラーたちは、「アニキに釣ってほしいから」と自らのロッドを置くことも多かった。」

その思いに応えようと、小林厚治は精力的にキャストを続ける。

時は経っても彼の情熱と行動力は、微塵も衰えてはいなかった。釣りを楽しみながら、時には海辺で休みながら会話を楽しんだりロッドをしまつて呑みに行ったり、仲間と過ごす時間を楽しんでも忘れなかった。彼にとっては、目指す魚との出会いと、釣り場で共有する仲間たちとの時間とは同じくらい大切なことだったのだ。

2011年11月25日。この日の小林厚治は、高知在住の i ma アングラー西村好仁、同じく i ma アングラー今井隆道と共に、夜の浦戸湾へ静かに出航した。50×60cmのボラが群がってステイするシャローエリア。ルアーは、i ma Hound 25H Glide。

「投目。ボラに当たりながらゆっくりと泳がせていると、ボラ達が狂ったように逃げまどい始めた。」

「瞬間、ルアーの重みが消え、そして動かなくなった。次の瞬間、ラインは巨大な力に引きずられて暴走を始める。」

ドラッグは間断なく叫び、一気に50m以上ラインが引きずり出された。

「必ず獲れる」小林厚治は自分にそう言い聞かせ、丁寧にポンピングを繰り返し魚を少しずつ手繰り寄せた。やがて相手は浮き上がり、水面にその姿を晒した。

「デカイ」ランディングに備え、見守っていた仲間たちは息を呑んだ。

1m20cm、20kgあるうかつというアカメだ。ようやく船縁に寄せ、いよいよランディングしようとした時だった。

疲れていたはずの相手は突如その筋力を爆発させた。強烈なエラ洗いに水面が激しく割れ、魚は突進する。

ガイドを破壊し、ロッドをへし折り、40lbのラインをブレイクさせ全てを振り払って巨大アカメは海へと消えた。

その場にいた誰もが言葉を失った。アカメは、またしても小林厚治の手に落ちるのを拒んだのである。

それでも彼は落胆しなかった。このような興奮を与えてくれたアカメと浦戸の海、そしてこまで連れてきてくれた仲間たちに感謝することを忘れなかった。

遠征の日々は続く。

そして2012年5月11日、遂に20年越しの夢が叶う、その日が訪れたのだ。



小林厚治を浦戸湾へと導いた「やまひろつりぐ」店主山本浩雅氏(写真右上)。高知市内のこぢんまりとしたショップにはマニア垂涎の釣具、キャンプ道具、本などがオモチャ箱をひっくり返したようにうず高く積み上げられている。元はフライマンの為にボートを出していたキャプテンではあるが、近年ルアー狙いにも精力を注いでいる。土佐弁と相まって少しぶっさらぼうに見えるが、その実は情に厚い「いごっそう」である。氏の周りには数々の道具を眺めてみる。オールドフライタックル、マテリアル、洋書、キャンプストーブ、コップフェル、石油ストーブ、サングラス、ミルスベックのブーツ、セーター、上着に至るまで、好きなものに徹底的にこだわるその生活は、当然ボートガイドにも発揮されている。ポイントを知り尽くし、流れと時間、ルアーを投入する角度に至るまで研究され尽くしている。当然釣果にも眼を見張るものがある。そしてゲストと共にそれを喜び楽しむその姿には「釣りのある人生」が滲み出ている。



## エキスパートのメモリアル & レトロ GOODS

釣りのある人生には道具が不可欠だ。エキスパートに連れ添う思い出のある道具を挙げていただいた。



ABU 6000C 1972

濱本国彦 (imaテスター)  
親父から譲り受けた現役バリバリのリール。今でも雷魚用で使い、バラしてメンテナンスを覚えた一台。メンテをする事で愛着が湧き、物を大切にすることを覚えた様な気がする。



エースワーカー

RED中村 (アムズデザイン広報)  
磯でヘルメットというのは新しいものではなく、石鯛師の一部で昔から使われていたものだ。映画「ブラックホークダウン」のデルタフォース隊員のヘルメットを見て「これだ!」っと思ってお店へ。結局デルタ隊員と違うモデルに一目惚れした。10年近く使っているが、壊れる様子も無い実に優れた逸品である。※廃盤モデル



ハッセルブラッド 500C/M

松尾道洋 (imaテスター)  
1970~1989年まで製造されたスウェーデン製のレンズシャッター式一眼レフレックスカメラである。撮影から現像まで手間が掛かるが、それがまた良い。撮影に夢中になり過ぎて時合いを逃す事もしばしば。



ジムニー

荒木潤一 (imaテスター)  
五年ほど前、本土から引っ張ってきた愛車ジムニー。これが無いと秘密の釣り場に行けない。離島のオフロードを突き進むウエポン。



コールマン ランタン

山本浩雅 (やまひろつりぐ店主)  
独特の発光音と、力強く優しい灯りは雰囲気を出すキャンプサイトの最重要アイテム。これが無いと自分のキャンプは成立しません。数あるコールマンランタンの中でも200系と言われる機種が大好きで、一番のお気に入りにはジャンク品から蘇らせた1951年製200A。今でも絶好調で活躍中。



komomo SF-125 sasuke 120 裂波

樋口 泰正 (imaテスター)  
はじめて90cm UPのシーバスとアカメを釣ったkomomo SF-125、sasuke 120 裂波。大切に魚拓と一緒に飾っています。このルアーに刻まれた一つ一つのキズが、あの時のファイトを思い出させてくれ見えてきて飽きないので、この先、一生使わないでしょう。



imaゲームベスト

堀浩輔 (imaテスター)  
imaテスターとして初めて支給されたゲームベスト。これは嬉しかった。フローティングベストばかりリリースされているけど、当時はこんな物もありました。旧ロゴが懐かしいですね。同様にいただいたkomomoは有難くて使えなかったのを覚えています。



ufm ウエダ ロッド

小林厚治 (imaテスター)  
ufmウエダのファクトリーが私のために作ってくれた手書きのネーム入りスペシャルロッド。高知でアカメを獲るための特別なチューニングが施されている。124cmアカメを無事キャッチしたこの竿はメモリアルとして大切に仕舞っておこうと思う。

【ルアー名】sasuke120裂波【理由】ずっと餌でチヌ釣りをやって越えれなかった50cmの壁を、その後ルアー釣りを始めた頃にシーバス狙いの外道で50cmオーバーを2投で2枚釣ったから…もちろん初シーバスもこのルアーに釣らせてもらいました。凄いルアーです!【お名前】吉田さん  
【ルアー名】sasuke120裂波【理由】周りがシーバス釣れない中、諦めてアジなど狙っていて、一人諦めず投げ続けて諦めかけたその時、85cm、9kgのナイスな野郎をつれてきた俺をヒーローにしてくれたルアーだから【お名前】松尾さん  
【ルアー名】sasuke120裂波【理由】現時点で最大の85cm、6kgものシーバスを叩き出しました。その後も60cmクラスも数本追加した後に、そのsasukeを友人に貸したとこと、ラインブレイクというオチ付きです(笑)【ペンネーム】M川の怪人さん  
【ルアー名】sasukeSF-95【理由】釣具屋で薦められるがままに購入したボラカラーで80cmオーバーゲット!シーバスを本格的に始めて間もないときだったの興奮しました!【ペンネーム】だいちゃんさん  
【ルアー名】sasuke120裂波【理由】その名のとおり時代化た波でも釣れたルアー。タックルボックスに欠かす事のできない信頼度No.1のルアー。【お名前】Otaさん  
【ルアー名】sasukeSF-95 グラデイワシ【理由】ロストしたルアーを探しに行ったところ…ゲット(ﾟ▽ﾟ)ノそして、ヒラメの77cm5.0kgをゲット(ﾟ^^)ノ翌々日におヒラメの60cmUPをバラシ…(ﾟ\*)【お名前】菊川さん  
【ルアー名】sukari50SSソルトチューン グラデイワシ【理由】憧れの辺見さんとボートシーバスにw思い出の1個です。【お名前】Suzukiさん  
【ルアー名】komomo110Scounter【理由】初めて使用して自身初の80cmオーバーを出したから。【ペンネーム】ハヤクンババさん

【ルアー名】BarbarossA120【理由】サラシの中に流し込で石鯛GETしました〜(。-)ゞ【ペンネーム】磯上のヒラリストさん  
【ルアー名】komomoSF-125【理由】初めてのkomomoでいきなりヒット!!ドドラが鳴り止まずやっと足下まで寄せたけど、痛恨のラインブレイク!!悔やんでも悔やみきれない。大切な人を無くしたような気分でした。でもkomomoに、心底惚れました。【ペンネーム】さちゃんさん  
【ルアー名】Farina90F【理由】河川や湾奥のミノーイングでは欠かす事が出来ないルアーです、流れが強い河川でも飛ばし出す早巻きが可能で湾奥では岸壁のジャッキングでええ思いをさせて頂きました!【ペンネーム】ミサゴさん

【ルアー名】p-ce100西村カラー【理由】四十万川の落ちアユシーズンにはドリフトにてお世話になりました。【お名前】松本さん  
【ルアー名】sukari50SS ヤマメ【理由】使い始めた昨シーズンはデコリ釣行が一度も無いから!どんなに強い日も最終兵器で投入すれば必ずヒットしてきたから!デス!【ペンネーム】損上ブラッガーさん  
【ルアー名】trip66【理由】初めてルアーでタマン(ハマフエフキ)65cmオーバーGETしたから。\*(^o^)/【ペンネーム】タマタマンさん  
【ルアー名】komomo125counter【理由】小さなサイズのシーバスしか釣ったことなかった僕に始めて96cmのシーバスの引きを味合わせてくれた!!すごく身近な川でこんな大きな魚が釣れるんだと、衝撃と感動!!コモちゃんは、大きなシーバスだけじゃなく僕自身をもルアーフィッシングの世界へと釣りあげた(≧▽≦)今では、必ずコモちゃんか自分の釣りの1番バッテリー実績はナンバーワン!泳ぎはオンリーワンな大好きなルアーです(▽▽)【ペンネーム】レアンドロさん  
【ルアー名】koi130S【理由】季節を問わず数々のランカー、メモリアルフィッシュ(最大寸97.5cm)、1晩で10匹のシーバスを釣らせてくれた【ペンネーム】zukkyさん  
【ルアー名】PUGACHEV'SCOBRA【理由】真夏のリパートップチヌ、初めてのフィールドで思い描いた通りのヒット!下げの時合、流れが効きだした時、流芯の上を流し、流れが広がり始めるポイントで逃げるブガチョフコブラに突き上げてきた55cm。トップチヌは追尾されているときの息のつけない興奮もいいが、チヌの瞬発力の鋭さに震天動地のごとく驚かされるバイトはまた格別。これらもチヌはブガチョフコブラに感興し続けるだろう。【ペンネーム】おら〜たさん  
【ルアー名】SeaMouse+TurtleHead【理由】シーバス釣りはじめて二匹目をゲットしたルアー。ずっと釣れ

なくて悩む中、自分の思い通りの狙いでヒット。アシストフックを付け、ランディングまでのやり取りの安心感もたまりません!!あのブルブルした動きが可愛すぎます。今ではパイロットルアーとして使用してます。【ペンネーム】ウグイマスターさん  
【ルアー名】PUGACHEV'SCOBRA【理由】初めてこのルアーを購入し、酒沼ファンキーカーで、酒沼初シーバスをキャッチ出来たので。思い出に残るルアーのひとつです!!【お名前】原田さん  
【ルアー名】魚道 Heavy Surfer90【理由】はじめてのサーフルアーゲームでルアーフィッシングをよく分かってなかった私が用意したのは、チョイ投げセットにヘビサを結んだものでした(笑)。しかし彼は私に初めてのヒラメを連れてきてくれました。【お名前】山本さん  
【ルアー名】sasuke120裂波【理由】友人達がシーバス釣りを始めてずっとシーバスが釣れなかった僕に「今日は絶対に釣らしたる!!」と言って、連れてかれて初めてシーバスを釣ったルアー。それ以来タックルケースにはいつも裂波が入ってます。【ペンネーム】りょうたろうさん  
【ルアー名】sasukeSF-95 スモモカラー【理由】自宅前の河川干潟でシーバスを狙い、色々なルアーで狙っていましたが、魚は居るのにたまにしか釣れず苦戦していたときにサスケと出会い、それまでの釣果が嘘のように連日の爆釣、それからサスケばかり購入して、ルアーチェンジはカラーローテーション。友達からは「またサスケかよ?」と言われ、地元の釣り仲間からは「サスケの〇〇さん」と呼ばれていました。気が付くと仲間たちのボックスの中にはチャッカリサスケが入っていました。【お名前】戸塚さん  
【ルアー名】sasuke120S裂風グラデイワシ【理由】初ヒラキキャッチ&ランカーでした!!82cm約6kg!!今でもあの感動は忘れません!!【お名前】山崎さん



**ima memorial lures!**

imaユーザーの記録と記憶に残る  
お気に入りのルアーをお聞きました。  
アナタのお気に入りに入っていますか?

【ルアー名】ズバリ! koume60 ハッピーレモン!!【理由】どうにもこうにもならん時…先行者がビッシリな時…ピンなシャローをネチネチやる時…2012やたらとお世話になりました!D社のミニエント共にハッピーレモンは間違いなくハッピーカラーです。大野君スゲーなって感じ!【お名前】松本さん  
【ルアー名】B-太70【理由】シーバスを始めたものの全く釣れなかった僕に始めてシーバスを釣らせてくれたのがB-太だったんです。それ以降、B-太で釣れない日がないんです。顔も泳ぎも全てが完璧!!【お名前】真壁さん  
【ルアー名】sobat80チャートバックパールです。【理由】知人からもらったんですが、104.5cmを釣ったルアーです。デカイ奴は割りと小さいルアーが好き、と教えてくれたルアーです。【お名前】祝さん  
【ルアー名】PUGACHEV'SCOBRA【理由】一番好きです!!【お名前】Yasuiさん  
【ルアー名】sasuke120裂波 コットンキャンディー【理由】小舟でイナダ爆釣!!流し中に置き竿したらそれにも食いついてきました。湾内では、カンパチ70cm2本連チャンもありました。【ペンネーム】ユウジさん  
【ルアー名】sasuke120裂波 クリアーキバナゴ【理由】オニヒラアジのナブラ撃ちで2度ラインブレイクを経験し、釣れるルアーってのはわかってやっとの思いで初ゲットした。今ではこいつ以外考えられない【ペンネーム】aranさん  
【ルアー名】sasuke120裂波【理由】初めてシーバス釣ったのが120裂波アカキンでした【お名前】和泉さん  
【ルアー名】sasuke120裂波【理由】大物ばっか喰いついてくるのでドラッグ出っ放しのライン全部持ってかれ～のラインブレイクばっかで買ひ足し回数メモリアルなルアー。【ペンネーム】imaにお金入裂波さん

【ルアー名】sasukeSS-95【理由】今年の秋、連発したルアーです。重心移動のSSには無反応なのに…ルアーの奥深さを教えてくれた逸品です。【お名前】鴻井さん  
【ルアー名】SQUAREBILLです【理由】使いやすくてよく釣れる、特に春のシャローはコレばっか投げてます。大好きです。【お名前】Okuyamaさん  
【ルアー名】komomoSF-125【理由】13年前、友人がimaが最高とっていたので初めて買ったのがアイルマグネットDB100でした。というのほどでもない話ですが、やっぱりkomomoSF125が一番です。【お名前】吉永さん  
【ルアー名】sasuke120裂波【理由】細魚のナブラの中で唯一のあたりを獲る事が出来たルアー。最高の経験が自分にも訪れた。【ペンネーム】煌雅さん  
【ルアー名】komomo!!【理由】imaの凄さを知らされました!!今は息子とimaを取り合っています!!(^^)【お名前】横山さん  
【ルアー名】sasuke120裂波、玉彩カラーです。【理由】初めてヒラスズギを連れてきてくれたルアーであり、状況が渋い時にも信頼してキャストし続けられる最高のパートナーです。【お名前】高橋さん  
【ルアー名】komomo110S counterレッドヘッドパール【理由】初めて釣り上げたシーバスがkomomo110S counterで上げた93cmのランカーサイズ。釣り上げたときは目茶目茶嬉しかった。代償としてガイドが破損と2番3番フックが伸びてました。【ペンネーム】紫雲さん  
【ルアー名】CALM80チャートバックパールです。【理由】大野ゆうきさんのimaチャンネルを見てからですがシーバスに挑戦し、初めて釣れたルアーでありバチ抜け攻略で幾度となく助けられたルアーだからです。年間通じて(サイズは置いておいて)最も釣れているルアーです。釣れ過ぎて同じものを再購入しました。【お名前】Nakamuraさん  
【ルアー】SPINGULF20【理由】寒く反応が渋い港内で何を投げても反応が無い中で、パイプレーションでも反応しないレンジで、SPINGULFは40分足らずの間に三匹も釣らせてくれた!! 数は少ないけれど激流の中での三匹は寒さを忘れさせてくれる!!【ニックネーム】髪風さん  
【ルアー名】SPIN GULF 30【理由】うちの小1の息子が、初めてルアーで魚(ソーダガツオ)をゲットした、記念すべきメモリアルルアー!あれ以来、釣りに連れて行け行けと、お父さんは大変です。imaさんのせいです。【お名前】北中さん  
【ルアー名】p-ce100で【理由】これまで風の日にシンベンは使いにくいと思ってたのに、このルアーで風を味方につけることが出来るようになりました。【お名前】金森さん  
【ルアー名】FOXY FRY【理由】フィールドを選ばず、フィードのいいバスを何匹も連れて来てくれました(^^)/【お名前】志村さん  
【ルアー名】komomo SF-125【理由】初めての投げで着水一発だったからそれからこのルアー使う時はなぜか着水一発です【ペンネーム】裕太さん  
【ルアー名】koume70【理由】初めて投げた日に、3キャスト3キャッチ!ツポにハマったらしく、友人とkoume70だけで8キャッチ!【お名前】野中さん  
【ルアー名】komomoSF-125【理由】初めてシーバスを始めたとき、釣れなくて諦めかけた時にヒットしたルアーがkomomoでした!【お名前】Koikeさん  
【ルアー名】sasuke105【理由】一目惚れした【お名前】Takamiさん  
【ルアー名】sasukeSS-95【理由】初めて買ったima製品、買った夜にシーバスに持って行かれてしまった…(><)【お名前】日高さん  
【ルアー名】komomo125 counter【理由】発売当時から一番長く使って一番釣っているルアーです。第一投目のサーチルアーでもあり、悩んだ時に投げるルアーでもあります。これからも使い続けます。【お名前】佐藤さん  
【ルアー名】BarbarossA【理由】奈良県の釣友に「ミノウオを釣り上げて下さい」と手渡されたバルバロッサのボラマツカラーです!76cmですが毎日投げ続けて釣友約束を果たす事の出来た感激のルアーです(^^o)【お名前】kinokenさん  
【ルアー名】Hound 125F Orca【お名前】浦島さん  
【ルアー名】imapopkey【理由】アイマポッキーのボラカラーで、96cmのランカーゲットできました。ポッキーの使い方をRED中村さんに教えていただきゲットできました。【ペンネーム】CobraPugachevsさん



新保明弘 (imaテスター)  
2000年IGFAオールタックル部門を獲得した時のメモリアルルアー。自己満足のために申請したのだが、サポーターメーカの方々が非常に喜ばれて、自分の釣りが人の役に立つこともあるんだと強く記憶に残っています。



田澤晃一 (imaテスター)  
ルアーロード:UFM SUPER PULSER NEO NCS-50UL/C  
フライロード:UFM SUPER PULSER CGF-752  
ルアーロードは今から27~28年前、フライロードは30年以上前のモデルです。



辺見哲也 (imaテスター)  
ルアーというモノは時に1人の男の人生をも変えてしまう程不思議な魔力を持っている。これは私が10歳、今から30年以上前に購入した物。小学生にはあまりにも高額だったが、どうしても欲しくてお年玉を握り締めて買った。そのときの気持ちを今でもハッキリと覚えている。後にこのルアーを自分で売る事になるとは思いもせずに…今の私はこのルアーとの出逢いが無ければ存在し得ないのだ。



佐々木孝基 (imaテスター)  
一眼レフよりも機動性に富んだコンパクトしかも防水デジカメを愛用している。新製品がでると買い換えて今は五台目を数えるまでになった。釣果や風景をメモ代わりにスナップしている。



荒木潤一 (imaテスター)  
稚鮎バターンでなかなか口を使ってくれないときにヒットした初のメーター越えシーバス。こいつはメモリアルとして二度と使わない!メモリアルルアーである。



飯村英明 (imaチーフデザイナー)  
古い道具であっても、釣具としての機能はもちろん、使っていてオモシロいし、ちゃんと釣れる道具としての性能を有している所がまた素晴らしい。僕は釣りと言う行為は単純に結果(釣果)を求めるだけでは到底ルアーフィッシングには成り得ない。そう思っています。だから必然なのです。



ジェネラル大澤 (imaテスター)  
18才の誕生日、知り合いの親父さんから頂いたナイフ。大人になり責任のある行動や言動を自覚して生きる!!というメッセージが入った思い出の物。キャンプや源流釣行には欠かせない。



濱本国彦 (imaテスター)  
走行距離25万キロ超。通勤が無いので、大半が「釣り」です。車で移動し、寝る、飯を食う、語り合う。ボクの釣り人生と共に在りました。車ならなんでもいって感じですが、さすがにこれだけ乗るとカワイイなあ。そんな愛車でございます。



小林厚治 (imaテスター)  
当時、釣り具店では筒状のパッケージのkomomoがやけに目を引いていた。正月になるとimaスタッフから「迎春」と背中書かれたkomomoを挨拶代わりにいただき、その行為がかなり洒落ていてkomomoが大好きになった。特別な印の付いた「迎春」komomoは、今後も使うことはないだろう。

ビッグターゲット豊富な北海道で  
可能な限り釣りを楽しみたい。

僕が住む北海道は、広大で四季折々の表情を見せる土地。春、夏、秋、冬と季節の変化で追い求める魚種が変わっていきます。トラウトを追うアングラーは支流、本流、そして湖とフィールドを変えてビッグトラウトを追い求め、ソルトアングラーは冬の時期からオーシャントラウトや、ヒラメ、根魚を追う。最近では夏に青物を釣るアングラーも増えてきています。

「離れ島の北海道」は本当に広い。僕が住んでいる札幌からは、どんなに近くても車で30分以上走らなければ釣りできません。その為各地方へと遠征することになるのですが、中でも僕が一番通っているフィールドが海アメマスの聖地と言われている島牧村近郊。日本海側の積丹半島から松前半島の中間くらいに位置するこのフィールドへは、一年の約半分の季節通っています。もちろん地元のアングラーや行けばよく顔を合わせる馴染みのアングラーと話をさせてもらうことも多く、近くのショップの店長さんやお食事処のマスターとも情報交換するようになり、彼らの店には行けば必ず顔を出すようになりました。

僕にとっての「釣りがある人生」についてお話してみます。まだまだ短い経験ですが、なぜここまで通う事になったのか…。僕が釣りを始めたきっかけは会社の上司からの誘いでした。釣りは学生時代は海の見える町に住んでいたため少しは経験がありましたが、道具を持っていなかったので急遽近くの釣具屋に行き、安い道具を買い揃えて同行しました。もちろん餌釣りです。そんなに遠くに投げられるわけではなく、届く範囲での釣りでしたが、そこでアイナメを釣る楽しさを覚えました。北海道での投げ釣りはカレイ類がメインターゲットで「なんでそんなデカイの釣れるんだ？」と興味を持ち、どんどん釣りにのめりこんでいき、その後色々雑誌等を見るようになって、ルアーフィッシングに興味



を持つようになりました。

ルアーで最初に始めたのが根魚狙いのワームフィッシングでした。最初は釣れなくて苦労したことを覚えています。ショップへ何度も足を運んで、どんなルアーで釣れるんだ、どんな所で、どんな時期が良いのかと色々聞きながら釣り場へと通いました。そして経験が積み重ねられていき、たくさん釣れるようになってくると、今度は周りが聞いてくれるようになってきました。そうして友達や仲間がどんどん増えていき、逆に今ま一人ですしていたことを仲間と共有し、試していくと、もっとも釣れるようになってきました。

そんな仲間との会話の中で、また新たなターゲットを知るようになります。そう海アメマスとの出会いでした。タックルなども根魚とは違い、ロッドは7フィート前後から11フィート前後に。リールも2500番くらいから4000番、そしてハイギヤの物へと変更。ルアーもソフトからハードルアーへ。準備だけでもお小遣いがトントンなくなっていました。その分新しい世界を前にワクワクしていました。

友人と毎週のように冬の厳しいフィールドへ通いましたが、全くヒットさせることができません。行つてはボーズの繰り返し。でも諦めずに通っているとヒギナーズクラブってやつですか！島牧村で開催されたイベント、海アメマスの大会で入賞できるグッドサイズを釣ってしまったのです。しかも10年通ってもごく少人数しか釣っていないような大きなサイズを！さらに翌年も好釣果。やり始めの何も知らない素人みたいな僕が、年々減少傾向にあるフィールド

ドで幸運にも2年連続となるモンスター海アメマスを釣ることができ、そして入賞という結果も得ることができました。

そうして様々な経験をしている中で出会ったのがiMaでした。ものすごく光栄なお話を頂き、僕の釣り人生が大きく変わる事に。また右も左も分からないような僕に声を掛けて頂けるとは…本当にありがたい限りです。

北海道でもiMaといえばsusuke120裂波です。海アメマス、海サクラマスに無くてはならないルアーです。北海道のアングラーの間でも、その能力はよく知られています。さらに状況に合わせて、メタルジグのガン吉を使用し釣果をあげています。また新しくハウンドシリーズの登場でサスケで探れなかったレンジ攻略が可能となり、さらに飛距離が伸びたことで、より広く探れるようになりました。パターン攻略の幅の広がりが、意外とレンジが深いオーシャントラウトの釣りの釣果アップに寄与しています。

防寒対策をしっかり準備し、サーフや磯へと足を向ける。中には霜焼けを通り越し、指が凍傷になってしまふアングラーもいるくらいです。それだけ寒い中夢中になれる！夢を、モンスターを追いかける釣りなんです。

僕は年間を通して釣りをしている訳ではありません。仕事あつての釣り。しかし可能な限り休日があればフィールドへ通いたいと思っています。たくさん魅力的な釣りのターゲットが棲む、広大な島、ここ北海道で。





タイカーフッシュを狙う。そこには常に本やTVで幼いころから見てきたアフリカが存在する。間違いなく自分がアフリカの大地に包まれながら釣りをしていることを常にも感じながら釣りをすることができた。

出逢った多くの魚達との思い出と同じ位の感動を与えてくれたのは釣果で勝るケニアではなく、タンザニア釣行であった。釣りなのだからもちろん魚を獲りたい、しかし釣りという遊びはそれだけではない。住み慣れた土地から一歩踏み出してその土地の自然に触れ、食を噛み、酒を飲み、その土地の人々に触れる。そしてその土地の大自然に育まれた魚達と触れあう。これこそが釣りという遊びの楽しみ方なのではないか。

今、恩師の教えが身に染みるほど理解できる。それはシーバスを追い求めているだけでは理解することは難しかったであろう。色々な魚との出逢いを求め釣りと係わって来たからこそ理解することが出来たのだと私は考える。

釣りとの係わり方は人それぞれ。エサ釣りにも多くの釣り方があるし、疑似餌釣りにも魚の数だけ釣法が存在する。そんな多彩な釣りという遊びの中で私はルアーフィッシングを選んだ。ただ魚を捕りたいだけならばエサを使う方が総合的には有利であるに違いないし、網を使って根こそぎ魚を捕らえる方法だってある。しかし私たちルアーアングラーは漁師ではなく釣師なのだ。魚に出逢うためにはある意味不利ともいえるルアーフィッシングという疑似餌釣りをチョイスした時点で本来は釣果を捨てているに違いない。それよりも出逢うためのプロセスを楽しむということをチョイスしたのだと私は考えている。

魚から見たらルアーは人工物であり、異物以外の何物でもない。しかしそんな異物をどうすればエサに見せられるか?という負け戦とも言えるべき行為の中で、いかにして釣果をあげていくかというところに私は楽しさを見出している。異物をエサと認識させた時点で私の釣りは成立して、その後のキャッチするまでの過程はエクスパートポイントでもいへき部分だ。

最後に魚をキャッチした瞬間、出逢えた喜びと

共に魚に対して申し訳ないという気持ちにも襲われる。ならば釣りなんてやめてしまえばとも思うのだが、それも出来ない。

大自然の流れの中に生きる美しい魚達は地域によってまた河川によって色彩が微かに違い、季節によっても変化する、そんな魚を自分の手中に収めると、この出逢いを失いたくないと思う。偽善であるのは承知しながらも、釣りという遊びからは離れることは出来ない。それはやはり、釣りが釣果だけでは語れない遊びであるということに他ならない。

先に述べた旅であることも含め、言つなれば殺伐とした現代社会から逃れる術であるのが釣りという遊びなのであろう。

ところが釣果至上主義である現在のフィッシングシーンはまるで現代社会そのもの。結果だけを求めるばかりに釣果情報の良い場所にはアングラーが群がり、先行者に声も掛けずにスカスカとすぐ隣に入ってくる。特にシーバスシーンに多いこの状況は、スキをこよなく愛するアングラーの一人としてまったくもって心が痛む。

トラウトシーンにはまた昔ながらのマンナが存在し、暗黙のルールのなかが気持ちよく釣りができている気がする。それはやはり昔から言われる、鱒族の魅力を理解できる成熟した大人達の遊びであるということであらう。

1匹の魚の価値を人間社会の物産とは違う価値観で計れるアングラー達が進むトラウトシーン。そのトラウティスト達が旅の中で選ぶルアーは有名アングラーの影響などは及ばない。本当に使えるルアーのみが選ばれる世界だ。妥協は簡単に見送られてしまう世界だからこそ、私達は常に現場でモノ創りを行い、本気で遊び、その中で自分たちが必要と思ふルアーを創ってきた。

その中には新たなメンソッドのためのルアーも存在し、多くのアングラーには理解されないモノも有るかもしれない。しかしごく一部のアングラーでも理解してくれるのであれば、世に送り出してほしいと思う。トラウティストの貴重な旅の1ページを飾るキャストの1員を育てる。そんな思いで私達はこれからもルアーを創り、皆様にお届けしていきたいと考えている。

Life & Fishing

Tetsuya Henmi  
辺見哲也

一匹の魚の価値を、現代社会とは違う価値観で計る。そんなアングラー達に愛されるルアーを創り上げていきたい。

釣りは「旅」である。私が社会人として、そして釣師として多くを学んだ恩師の教えである。当時、まだ若かった私はとにかく釣りがたくて釣りがたくて仕方がなく、恩師が何を言わんとしていたかあまり考えもせずその言葉を飲み込んでいた。それから私は日本はもとより世界にも足を延ばし釣りという遊びに没頭してきた。その後10年以上シーバスフィッシングのプロアングラーとして活動してきたのだが、そんな私もプライベートでは川に足を向ける機会が多い。内水面の釣りでは特にその土地を強く感じられる。極端な例ではあるのだが、私はアフリカ大陸へ2度の釣行を経験している。

1度目はケニア。オフショアでマグロやGTを狙った。沖へ出てしまつと日本もアフリカも同じ海、景色は大きく変わることはなく自分がアフリカにきているということを忘れてしまう瞬間が訪れる。対して2度目のタンザニアでは内水面での



# sukari 50SS

[全長]50mm [重量]5g [タイプ]シンキング  
 [フック]ST-36BC #12 [リング]オリジナル#1  
 [価格]1,575円(税抜1,500円) [誕生日]2013/2/10

# sukari 50S

[全長]50mm [重量]4g [タイプ]シンキング  
 [フック]ST-36BC #12 [リング]オリジナル#1  
 [価格]1,575円(税抜1,500円) [誕生日]2013/2/10

# sukari 50SS Deep

[全長]50mm [重量]5g [タイプ]シンキング  
 [フック]ST-36BC #12 [リング]オリジナル#1  
 [価格]1,575円(税抜1,500円) [誕生日]2013/2/10

# issen 45S

[全長]45mm [重量]3.7g [タイプ]シンキング  
 [フック]SBL-55M #10 シングルフック (スイベル式フックハンガー仕様)  
 [リング]オリジナル#1 [価格]1,575円(税抜1,500円) [誕生日]2013/2/10



## 重さ故に生み出された対応力

ヘビーウエイトミノーが持つ超重量は、時として仇ともなり兼ねないオーバースペックである。しかし、シーズン初期の低水温や人為プレッシャーによるタフコンディション下での釣りを強いられる時こそ、その重量がもたらすメリットは際立ってくる。強い弾道でこそ狙える、超ピンスポットへのアプローチ。ファストシンキングならではの高い沈下率で、太い流れの層を自在に刻む事を可能とする。あえて強調した、使い手の技量を必用とするマニュアル的要素は、フライや餌釣りの理論とルアーの理念を融合した結論である。

## 重いだけじゃない、意味を持たせてこそ価値がある

単に深く潜らせるだけのディーブダイバーでは、コアなエキスパート達のルアーケースに常備されることは、決して許されなかったであろう。「アングラの夢＝大物への欲求」はいつの時代も普遍のテーマ。ヘビーウエイト&ロングリブが持つ最大の利点を別アングルから見直す事で“大物への近道”がまた一つ具現化された。“溪流用”の枠に収まることのない異色の存在感こそ、本流での高い釣果実績が証明しているのである。

## 重苦しさからの脱却

ヘビーウエイトの概念を払拭した時、このミノーが得たのは、より高い身体能力であった。優れたキャストバランスにより、ショート・ロングとストレスフリー。釣り上がりの手返しを約束してくれる。着水から見せ付ける表層での華麗なヒラウチは視認性に優れ、抜群の操作感を誇る。45mmサイズでは異例の前後フックハンガーに回転式スイベルを採用しバランを軽減。魚へのダメージを最小に抑えるシングルバーブレスフックを標準装備する。





sukari 60 DEEP  
各地の本流エキスパートから絶賛される、唯一無二のディープダイバーに更なるアピール力を追加したサイズアップモデルの登場。

sukari 63 HS  
辺見テスター監修モデルのスカリシリーズに本流仕様が追加ラインナップ、戻り山女のみならず、レインボーやイワナと言った本流ならではの対象魚に如何にして挑んでいくか。餌釣り、ウエットフライの考え方まで落とし込んだ、氏の拘りが詰まった進化系モデルの登場

2013  
NEW PRODUCTS



サクラマス用ミノー  
辺見テスターの長年の経験を元に別角度からアプローチを試みる新基軸サクラマス用ミノー。

Farina® 70S

[全長]70mm [重量]5.5g [タイプ]シンキング [フック]ST-26TN #8  
[リング]オリジナル#2 [価格]1,733(税抜1,650円) [誕生日]2010/2/21



Farina® 90SR

[全長]90mm [重量]12g [タイプ]シンキング [フック]ST-46 #6  
[リング]オリジナル#3 [価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2007/2/10



Farina® 90F

[全長]90mm [重量]10g [タイプ]フローティング [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2005/12/1

Farina® 90S

[全長]90mm [重量]12g [タイプ]シンキング [フック]ST-46 #6 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2007/1/21



Farina® Deep 85F

[全長]85mm [重量]10g [タイプ]フローティング [フック]ST-46 #6  
[リング]オリジナル#3 [価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2007/1/21



## Life & Fishing

**Yukinari**  
内山 幸也  
**Uchiyama**

スモールフロッグ×ダブルプロップバイト  
ふたつのトップウオータールアーが、  
日本のバスフィッシングを面白くする。

スモールシルエット&ハイアピールをコンセプトに開発中のスモールフロッグ。フロントカップとその両サイドに続く特徴的なチーク(頬)カップによる、他に類をみないトリプルカップ構造が複雑なスプラッシュとポップ音を生む。年々タフ化する日本のフィールドに向け「フィネスフロッギング」という新しい概念を提案する一品。



2013  
NEW PRODUCTS

**BASS**



オリジナルポッパーが生み出す軽快なサウンド&スプラッシュ。ジャークするたびに水面でボディを翻すヒラ打ち性能。様々なフィールドでバスのメインベイトになっているブルーギルの産卵期のアクションを忠実にイミテート。バスという生物の本能を逆手に取った超攻撃的アイテム。

「フロッグに憑りつかれた者はその呪縛から逃れられない」僕自身だけではなく、ガイドのお客さんやセミナーでお話しさせていただいた皆さんを見ても、その断言できる。キャスト、アクション、フッキングとバスフィッシングの醍醐味が凝縮しているのがフロッグフィッシングであり、その三要素のひとつでも欠けてしまったらこの釣りは成立しないのだ。

今でも鮮明に覚えている2007年5月のレイクフオーク。アメリカ在住時にお世話になっていたバススターエリートプロの宮崎友輔さんが、この釣りを教えてくれた。

大半のバスはスポンを終えたばかりのタイミング。数を釣るには一番楽しいシーズンだが、ビッグだけを狙っていくと難易度は途端に上がる。

スローニングエリアにはグラスが生え始めており、一時的にスライするそのグラスにディスタンスをとってフロッグで攻めていくと、面白いように大きい魚のみをキャッチしていくことができた。狙ってビッグを獲れるバイトというのは少ないが、フロッグにはその可能性を感じた。

そこからはオールシーズンとにかかわらずいろんなタイプのフロッグをアメリカと日本で投げまくった。自分がこの釣りをモノにできたと感じたのは2010年くらいだったろうか。

だがまだその時点ではこのアイマフロッグ(仮称)構想は持っていなかった。2012年のフロリダで行われたフィッシングショーでの出来事、アイマブリスで色々なプロと意見交換していると、あるトーナメントプロが某スモールフロッグを大量にオーダーしているのを目撃した。1人ではなく複



数人、それもこそりと。中には超トッププロもいた。そこで思い出したのは、2011年のガイドの時の経験だった。フロントでオリジナルサイズを投げた僕は、リアにいるお客さんにも同サイズのフロッグを投げてもらっていた。2人ともバイトは無し。だが小さめのフロッグに変えた途端、同じストレッチで怒涛の入れ食い、しかも全てビッグサイズ。自分自身の勝手な思い込みで「小さいフロッグ」魚のサイズも小さい」と考えていたことをとても恥ずかしく感じた。大きくても小さくてもフロッグはフロッグなのだ。

それ以降あらゆるフィールドで極秘にテストを重ねてきたこのアイマフロッグ。その特徴はスモールシルエット&ハイアピール。そして投げやすさとラッキング性能だ。少しノーズをこがらせ、スタックレス性能を確保しながらも、口をポッパータイプにすることによって移動距離の短い首振りも可能にしている。当然ポッパーのような使い方もOK。

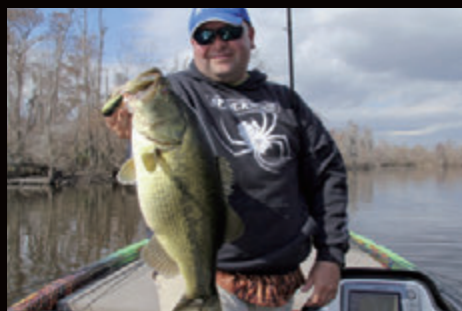
また他に類を見ない特徴的な両サイドのカップ形状は首振り時のスプラッシュによるアピールと水押し力の強さが自慢だ。カパーを釣るフロッグにおいてはアピールの強さは絶対に必要だが、フレキシチャーの高い日本の湖ではハイアピールだけではバイトにまで持ち込むことができない。全体的なシルエットをコンパクトにすることにこそハイプレッシャーのレイクでもバイトに持ち込め、琵琶湖でもフロッグのローテーションとしてしっかりと使用できる。スーパーチャローでは大きめのシルエットが嫌われるタイミングが必ずあるので、バイトがない時はこのアイマフロッグにスイッチしてみることをお勧めする。

# SQUARE BILL

【全長】55mm 【重量】10g 【タイプ】フローティング  
 【フック】Owner ST-36 #6 【リング】オリジナル#2  
 【価格】1,680円(税抜1,600円) 【誕生日】2011/2/28



高浮力ファットボディと薄型基盤リップを搭載したシャローークランクベイト「スクエアビル」。際立つ高浮力を軸としたバランス設定により優れた障害物回避能力を持ちハードカバーからグラスカバーまで使用する場所を選ばない。ロールをやや押さえた特徴的なウォブリングアクションは他のクランクベイトには見られない「低水温期にも強い」という特異な性能を合わせ持つ。カバーエリアの釣りからオープンウォーターの釣りまで多種多様な使い方が可能な新次元のクランクベイト。



米国バスターメンのトップカテゴリーBASS  
 30シリーズにおいて、imaはそのブランド力を  
 急速に確立しつつあります。その立役者がビル  
 ローエン選手と共同開発したシャローークラン  
 ベイト、その名もSQUARE BILL(スクアビル)です。  
 このルアーは、実はビルの友人がハンドメイドで製  
 作し密かに試合に投入していた、ハルサクランクが元  
 になっていたのですが、単にウッドクランクをABS  
 化するということではなく、その実釣性能に更なる  
 磨きをかけることが開発の課題でした。フィール  
 ドがタフ化した状況でも安定してバイトを得続け  
 られること、他のクランクベイトでは取ることので  
 きないバイトを確実にモノにできること、それこそ  
 が彼が「スクアビル」に求めたものでした。  
 2012年2月、ルイジアナ州レッドリバーで行  
 われたバスマスタークランク。ビルは終始トップ争  
 いに絡み、最終10位でこの大会を終えたことになる  
 のですが、ブラクティス〜本戦3日間を通して彼は  
 このスクアビルを本気で投げ続けました。いくら  
 スポンサーのルアーだとしても、信頼することが出  
 来ないルアーを試合で使い続けるアングラーはす  
 ぎありません。地位と名誉をかけたこの「バスマス  
 タークランク」という世界の大舞台に、メインベ

## 米国トーナメントシーンにおける ima。

イトとして実投入されたという事実、それこそがこ  
 のスクアビルの性能を裏付ける、確固たる証拠だ  
 と言えるでしょう。  
 ＊タフコンディションに極めて強い、という特異な  
 性能は、その後日本のフィールドでも目の当たりに  
 することになります。2012年6月、琵琶湖アロ  
 ガイド内山幸也氏の動画撮影。予定していた日程  
 がズレにずれ、ポストアフタースポーンの非常に気  
 難しい魚を相手にする状況になりました。気が  
 が蓋を開けてみれば、カバーにサスペンドし体力の  
 回復を図っている魚を次々とキャッチすることがで  
 き、撮影は大成りに終わったのでした。  
 ＊タフになればなるほどその力を発揮する、という  
 コンセプトで開発されたこのクランクベイトは、極  
 端にハイプレッシャー&タフ化が進んだ昨今の日本  
 のフィールドにおいても遺憾なくその実力を証明  
 してみせたのです。  
 ビルローエンからの依頼で始まったスクアビ  
 ル開発は、米国と日本、海を隔てた両国で実を結  
 び、物語はまだまだ現在進行形です。使い込めば  
 使い込むほどにアングラーとの意思疎通が可能に  
 なっていくスクアビル。人間にとっては驚異、魚に  
 とってはまさに脅威です。

## アムステルダム 菅沼史朗



冒頭に挙げた三大要素に沿って説明してみると  
 よりイメージしやすい。まずはキャスト。体高を高  
 くすることによって浮力を確保しつつ、丸みを帯び  
 た形状のおかげできれいに水面をスキップしカバー  
 の奥の奥まで入っていく。次にアクション。首を振  
 らせることによりサイドのカップでスプレッシュを  
 上げ、カレントのあるフィールドでもしっかりとアク  
 ションを殺さずにアピールできる。首振りが高ア  
 ビールと感知すれば、ボッパのような使い方でフロ  
 トカップを活かしてアクションさせ、タフな時でもハ  
 イトに持ち込める。最後にフッキング。スモールフ  
 ロッグにありがちなフックゲイブの狭いフックではな  
 く、このサイズのプロッグではトップクラスのワイド  
 ゲイブフックを使用しているので、すば抜けやパ  
 ラシのリスクがかなり軽減されている。  
 と、もしあなたがこまごまを気に読んでいたら、も  
 うすでにフロッグ病に足を踏み入れてしまってい  
 る。このアイマフロッグをきっかけに是非とどろりと  
 その呪縛にとらわれてほしい。  
 そして現在もう一つ開発中なのがダブルプロッ  
 プベイト。最近の日本では「一字系」と呼ばれる、水中を  
 ストレートリトリブで攻めつけていくジャンルとし  
 て流行しているが、今開発しているのはスイッ  
 シャー。つまりトップウォーターだ。アイマプロップの  
 最大の特徴はフラットサイドボディであること。そ  
 れが一番の肝だ。ピンと来てない方も、これを読んだ  
 後には必ず自分のフィールドに置き換えてイメージ  
 することが出来るだろう。  
 僕のカイロフィールドの琵琶湖において、攻略の

ひとつのキーとしてブルーギルの存在が挙げられ  
 る。そう、ブルーギルを意識した形こそ、このアイマ  
 プロップ(仮称)なのである。  
 一番のタイミングはポストスポーンからサマーシーズ  
 ン。ブルーギルがシャローでスポーンするタイミング  
 にアイマプロップは大爆発する。バスのポストスポ  
 ーンとちょうど重なることから、大型のメスはシャ  
 ローに残り、スポーンが上がってきたブルーギルを捕  
 食しながら回復していく。スポーン時のブルーギル  
 はボディをくねらせて産卵する。このフラットサイ  
 ドはジャックするたびに一定の方向にボディが倒れ  
 る。それがギルのスポーニング姿勢を模倣し、バスの  
 食性にスイッチを入れるのだ。  
 また、音も大事なファクターだ。ボッパよりも  
 ソフトな音でプレゼンテーションできる。そしてオリ  
 ジナルのプロップはしっかりと水を掻きながらも心地  
 よいサウンドを奏でる。この時期のバスは音に関し  
 ては両極端。すこく嫌う時もあるし、スポーン後の  
 威嚇行動の名残として爆発することもある。食わ  
 せ、リアクションと両方の面から攻略することによ  
 って格段にバイトが増える。  
 当然オールシーズントップウォーターとしても優  
 秀で、風や引き波でアピールが少ない時はプロップ  
 のサウンドによりアピールしてくれるし、ハイプレッ  
 シャーレイクでもそのサイエンス感でバイトに持ち込む  
 ことができる。ブルーギルがいる場所限定というわ  
 けではなく、音という要素を意識して普段行ってい  
 るフィールドで試してみてもほしい。

# PINJACK-200<sup>®</sup>

【全長】55mm【重量】13g【レンジ】MAX 2m(12l bライン使用時)  
 【アクション】ロールアウォール3【フック】ST-36BC #4【リング】オリジナル#2  
 【価格】1,680円(税抜1,600円)【誕生日】2012/2/21

シャローからディープへ、ディープからシャローへ。シズナルパターンに合わせレンジとエリアを移動する途中の魚への対応策。  
 緩めに設定された潜行角度により過剰なボトムノックを回避、低速巻きではワイド、高速巻きではタイトな可変式アクションを搭載する。  
 固定ウエイト=完全サイレントボディがウッド素材に負けない切れのよいハイピッチアクションを生み出す。  
 「広範囲に探りピンで食わせる」比類なきミッドダイバーが今ここに誕生する。



#PJ200-001 シトラスブルーチャート

#PJ200-002 ブラウンバックチャート

#PJ200-003 マスタードシャッド

#PJ200-004 チャートセクシーシャッド

#PJ200-005 テネシーシャッド

#PJ200-006 ゴーストアユ

#PJ200-007 ステインゴールド

#PJ200-008 シルバーシャッド

#PJ200-009 ブルーギル

#PJ200-010 パーチ

#PJ200-011 ソフトレッドクロウ

#PJ200-012 ファイヤークロウ

#PJ200-013 グリーンクロウ

## 2013 NEW PRODUCTS

# 魚心 NAMAZU

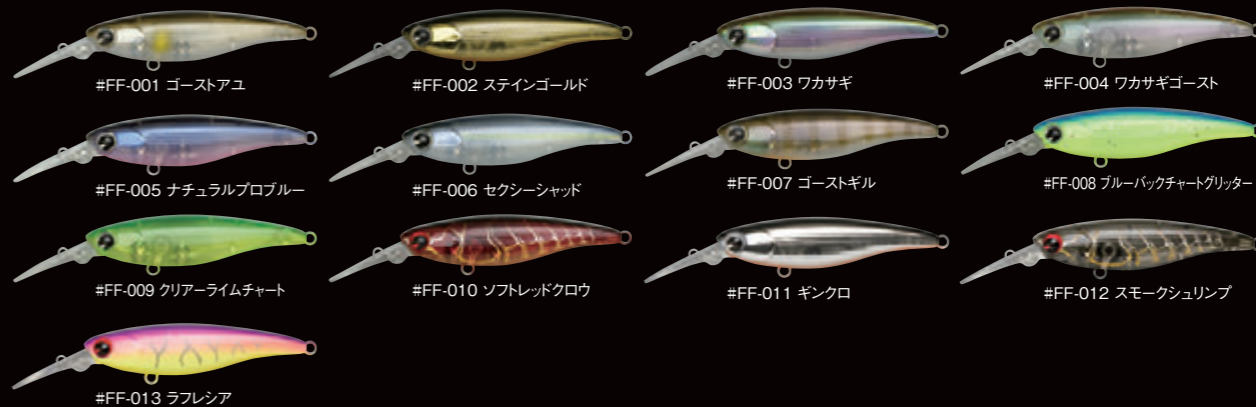


ただ釣るだけではつまらない、どうしたらもっともっと楽しめるか？  
 そんな想いから生まれたナマズを本格的に楽しもうとする  
 専用トップウォータープラグの登場。  
 ベーシックなバグタイプとギリ反則(?)なシャローランナーの  
 二種類が登場予定!

# FOXY FRY<sup>®</sup>

【全長】60mm【重量】5g【タイプ】サスペンド  
 【アクション】タイトピッチウォンローリング【フック】ST-26 #10【リング】オリジナル#1  
 【価格】1,575円(税抜1,500円)【誕生日】2010/12/18

超低水温期のデッドスローリトリブからハイシーズンの高速タダ巻きまで。スピードとアクションの方程式を根底から覆した  
 衝撃のシャッドプラグ。変則型リップがもたらす水噛み性能は、トゥイッチ、ジャーク、ステイ、シェイクなどにも高次元で対応。  
 60mm・5g・固定重心というスペックながら重心移動モデルを軽くないす抜群のキャストビリティを持ち最近流行のベイトフィネスにも最適。  
 愚直なまでも忠実にして何処までも狡猾な性能。アングラーが熱望した理想のシャッドプラグがここにある。



#FF-001 ゴーストアユ

#FF-002 ステインゴールド

#FF-003 ワカサギ

#FF-004 ワカサギゴースト

#FF-005 ナチュラルプロブルー

#FF-006 セクシーシャッド

#FF-007 ゴーストギル

#FF-008 ブルーバックチャートグリッター

#FF-009 クリアライムチャート

#FF-010 ソフトレッドクロウ

#FF-011 ギンクロ

#FF-012 スモークシュリンプ

#FF-013 ラフレシア

昨年、長らく住んだ関東から生まれ故郷の中部に再び移住することになりました。それに伴い長年ホーハイフとしてきた霞ヶ浦を離れ、活動の場を中部地区のレイクに。ここには数多くのフィールドがあり基本的に陸っぱりがメインです。様々な規模の河川が複雑に入り組んでおり、各河川によって水深、水質、ストラクチャー等が違っているので必然的に狙い方も変わってきます。休日は数多くのアングラーで賑わい、常にプレッシャーが高く、なおかつ陸っぱりができるポイントが限られているため先行者がいる場合が多いのです。そんな中でもやる気のある魚を丁寧に探していくには、やはりハードルアーの使用がメインになります。水質は霞ヶ浦とは正反対のクリアもしくはステイン。マッドレイクでは水中で自立したチャート系の使用頻度が高かったのですが、クリアレイクではバスからの視認性が高いチャート系では見切られることが多く、ナチュラル系タイトアクションなルアーの出番が必然的に多くなってきました。さらに甲殻類より魚系のベイトボラサヨリ、モロコを捕食している個体が多い傾向にあります。こんな時はタイトなアクションのFOXFRY(フオクシーフライ)とPINJACK200(ピンジャック200)の出番です。フオクシーフライはピンポイントにルアーを通し、可能な限り発せたい音を届けることを想定したフランクベイトです。ポトムタッチは柔らかく軽い引き心地。ポトムタッチが柔らかいというこ

フィールドを選ばない汎用性&サーチ力  
 ハイプレッシャーだからこそこの  
 ハードベイト攻略。

Life & Fishing  
**Norihiko Otsu**  
 大津 乗彦



は、ルアーがストロークチャーに当たった時に弾かれる距離が小さく狙っているコースから外れにくいということ、なおかつアクションがタイトなため、過度なプレッシャーを与えることなく狙い続けることができます。『陸っぱりで2mレンジは深くないか?』と言われそうですが、クリアウォーターは視認できるレンジにバスがいる可能性が低く、ある程度水深があるポイントにいることが多いのです。私がよく行くフィールドは透明度が平均1m前後で、水深1.5~2mレンジがホットスポットになるためピンジャック200が有効です。そして数々の伝説的爆釣劇を演じてきたフオクシーフライ。発売して2年の月日が経ちますが、今尚その威力が衰えることなく釣れ続けシャッドプラグです。全長60mmで日本のベイトサイズにピッタリ。障害物回避性能に優れ、幅広いリトリブスピードに対応でき、使用する場所を選ばない。スローに引いてもバスが好むアクションを誘発しほとんどのバスが引いたがるバイトで食ってきます。また、浅瀬にフィードリングで上がってきたバスを高速リトリブで狙いストロークチャーに当ててもバランスを崩すことなくリリースできます。もはやこのルアーなしには私の釣りが成立しないと言っても過言ではありません。中部地区の皆さん、フィールドで見かけた際には、気軽に声を掛けてください。2013年も思い出しに残るバスを沢山釣りたい!



[全長]100mm [重量]10g [タイプ]サスベンド  
[フック]Owner ST-36BC #6 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,838円(税抜1,750円) [誕生日]2011/1/25



フリット100は同120の単なるダウンサイジングモデルではない。  
連続ジャークでの使用を目的にボディ形状を一から見直したこのフリット100は  
その超攻撃的ダート性能で食い気のないニュートラルなバスの本能を直接刺激し  
いやがおうにもストライクに持ち込んでしまう。  
ハードジャークにどこまでも追従してくる軽快なレスポンス。  
同サイズのジャークベイトを逸脱したランカーキラーぶりは計り知れない。



[全長]67mm [重量]23g [タイプ]フローティング [レンジ]MAX4.2m  
[フック]ST-36BC #2 [リング]オリジナル#2 [適合ライン]14LB  
[価格]1,838円(税抜1,750円) [誕生日]2011/8/21



琵琶湖の3.5~4mラインに潜水獣(ビースト)を狩る(ハント)ために生まれた  
ima初のディーブクランク「ビーストハンター」。  
ただ深く潜る一般的なディーブダイバーとは一線を画す。  
繁茂するグラスに「タッチ」しながらも「スタックさせない」という相反する  
要求を、計算された潜行角度とリップ面積の適正化により実現。  
ボディ断面肉厚2mmの極厚シェルがもたらす本体重量の分散化と  
熟考されたボディ形状が生み出す安定した飛行姿勢。  
そのキャスタビリティはまさに異次元の様相を呈す。



[全長]120mm [重量]14g [タイプ]サスベンド  
[フック]Owner ST-36BC #6 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2010/3/31



「ポーズで魅せる」ハイパフォーマンスジャークベイト。  
崇高なるラドリングへのリスペクトから生まれた「フリット120」。  
十分な潜行能力を持ち水圧のかかるミドルレンジにおいても  
切れ味鋭いダートアクションを見せラトルチャンバーが奏でる甘いラトル音でバスに口を使わせる。  
2ジャーク1ポーズ。このジャークベイトの基本リズムでのパフォーマンスはまさに他を圧倒する。



[全長]120mm [重量]11g [タイプ]フローティング  
[フック]Owner ST-36BC #5 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,890円(税抜1,800円)



高浮力ハイアピールサウンドのボーンボディを使用した限定モデル。  
Flitはヘッドアップに姿勢チューニングされている。  
ラトルの乾いたシャランチャラというラトル音がアフター期のギルの捕食行動をイミテートし、  
BIGBASSの食性を強烈に刺激する。同時期、小バスが稚バスを捕食する様も  
よく見られることからバス&ギルカラーを採用した鉄壁の布陣。



[全長]70mm [重量]16g [タイプ]フローティング  
[フック]Owner ST-36BC #4 [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円)



[全長]60mm [重量]14g [タイプ]シンキング  
[フック]Owner ST-36BC #5 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2010/4/10



[全長]60mm [重量]17g [タイプ]シンキング  
[フック]Owner ST-36BC #5 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2010/4/10



リップレスクランクの基本となる17gとやや軽い14g。使い方はいたって簡単。投げて巻くだけ。  
魚を探しキャッチするという基本性能を徹底的に追究。  
タダ巻きにおける使い易さからストップ時のフォール姿勢まですべてが計算され尽くした  
この「ロックンバイブ」は、その使用方法の多彩さからデビューしてから  
今日までフィールドを選ばず各地で旋風を巻き起こし続けている。



[全長]60mm [重量]19g [タイプ]シンキング  
[フック]Owner ST-36BC #5 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2011/10/9



60mmの小型ボディに内蔵された19gというヘビーウエイトは  
ただ単に深い水深を釣るためのものではない。  
より広大なシャローエリアをより切れのいいアクションでテンポよく探る。  
昨今魚の数が減少し、よりアメリカ化した日本のフィールドにおいての  
サーチベイトとしての能力を特化。  
また琵琶湖のようなグラスレイクにおける真冬のリアクションの釣りにも最適。  
このセッティングでなければ反応しない魚が確かに存在する。



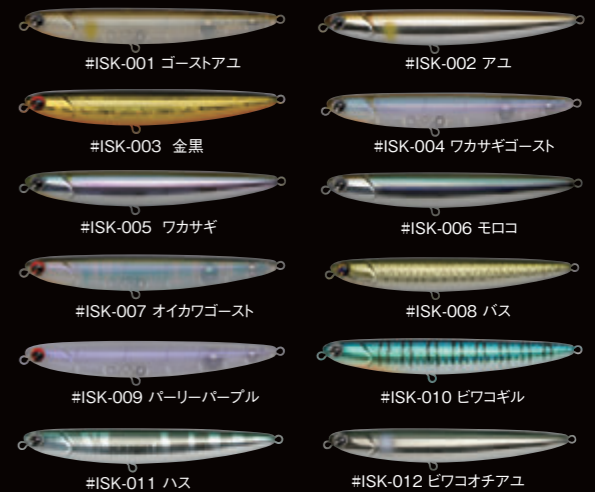
[全長]70mm [重量]18g [タイプ]フローティング  
[フック]前:Owner ST-36BC #4 後:トーナメントレラー [リング]オリジナル#3  
[価格]1,890円(税抜1,800円) [誕生日]2010/6/10



表層の狂乱者「ランバ」スポーニング期の神経質なバスには特に効果的で、  
内臓された特大ラトルボールが生み出すゴトゴト音が  
彼らの闘争本能に火をつける。  
またミッドサマーの沖に浮くニュートラルバスにも効果絶大。  
常に魚に丸呑みにされて帰還するという悲しい運命を背負ったランバ  
どれだけ水面を泳いで逃げても、その運命からは逃れられない。



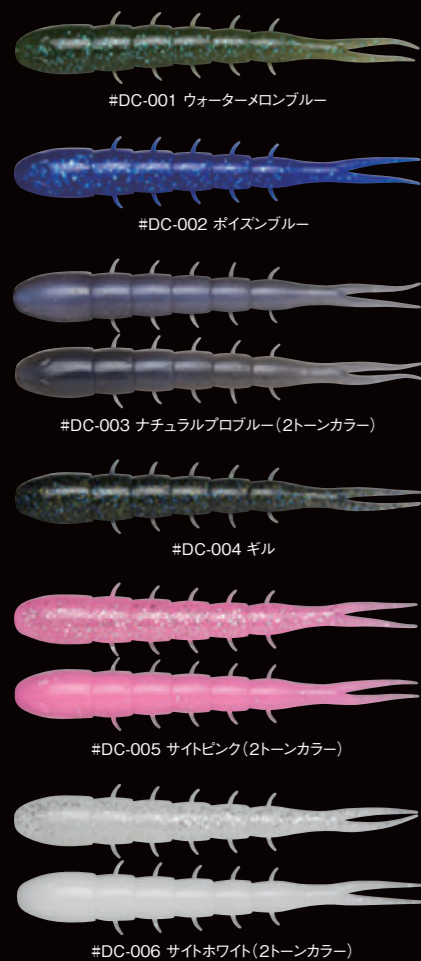
[全長]110mm [重量]13g [タイプ]フローティング [フック]Owner ST-36 #4  
[リング]オリジナル#2 [価格]1,680円(税抜1,600円) [誕生日]2010/5/31



細身のボディからは想像しがたい強靱な肉体の持ち主「スキマー」。  
安定した飛行姿勢によって生まれる驚異的な飛距離で誰よりも遠くの  
スポットを直撃。ボディの細身化から起こるアクション性能の低下など皆無。  
ナイフのようにシェイプされた扁平な頭部からは飛沫を発生し、  
その軌跡を水面に深く刻み込む。幅の広いスライディング&ドッグウォーク、  
ボール打ちに最適な超高速トゥイッチにも完全対応。  
スキマーの持つこの異質感こそがターゲットへ近づく本質である。

## DEVIL'S CROSS®

[全長]4inch [入り数]8pcs  
[誕生日]2012/3/10 [価格]830円(税抜790円)



悪魔の十字架、デビルズクロス。

ローリングを迫及したその扁平ボディはヘビダンで最もその効果を発揮する。

極細ツインテールはわずかな水流にも確実に反応し震え

ワンスポットで長時間バスを誘い続けることが可能。

持続性アクションと抜きん出たバイト誘発性能。

何かに取り憑かれたようにバスはバイトを繰り返すことになる。

## PLUS DRIVER®

[全長]5.5inch [入り数]8pcs  
[誕生日]2012/3/10 [価格]798円(税抜760円)



その名の通り特徴的な十字型テールを持つ「プラスドライバー」。

複雑な波動を生み出すこのテール形状により

ネコリグ、ジグヘッドワッキー、ノーシンカーと様々なリグに対応。

ひとたびアクションを加えると悶えるようにその細身ボディをくねらせ

小魚から甲殻類まで幅広いベイトフィッシュに変貌する。

まさに変幻自在のストレートワーム。

## MIGHTY HOG®

[全長]4inch [入り数]6pcs  
[価格]840円(税抜800円) [誕生日]2012/5/10



ハードカバーへのフリップ、グラスカバーへのパンチングと、カバーの種類を選ばないオールラウンダー。

逆さ付けフックセッティングによるバックスライドから、ラバージグ等のトレーラーまで、専用性と汎用性を併せ持つフリップベイト。

## imaShaker®

[全長]60mm [重量]11g [タイプ]フローティング  
[フック]Owner ST-36 #4 [リング]オリジナル#2  
[価格]1,785円(税抜1,700円) [誕生日]2010/4/30



高比重扁平ボディが生み出す強烈な水掻きとロール時に見せる色彩の点滅効果。冬から早春の超低水温期に圧倒的な釣果をもたらすフラットサイドクランクベイト。

スピナーベイトやチャターベイトにも似たその特殊性能は実はどんなシーズンにおいても活躍の場が用意されている。

リーリングスピードの調整によって変幻自在の性能を見せる「シェイカー」はもはやクランクベイトというジャンルを完全に超越している。

2013 NEW



折りたたんだ状態でも使用できるランディンググリップ。魚を挟んで保持する強度に優れ、負荷が掛っても外れづらい構造になっています。釣り上げた魚に与えるダメージを最小限に止め、鋭い魚の歯やルアーのフックから自らの手を守ることができます。

ima x DRESS グラスパー

[素材] アルミ  
[カラー] グリーン×ブラック 品番:4014022  
ブラック 品番:4014032  
[価格] 31,290円(税抜 29,800円)



錆に強い



imaピンオンリール装着可能

ダブルポケット仕様

2013 NEW

ima ダブルポケットポーチ

簡易防滴

[サイズ] W95×H160×D55mm  
[素材] ターポリン  
[カラー] ブラック×ホワイト 品番:4009048  
ブラック×シルバー 品番:4009049  
[価格] 3,675円(税抜3,500円)

ima ポーチ

[サイズ] M: W85×H130×D50mm  
L: W90×H150×D50mm  
L: W95×H160×D55mm

簡易防滴

[素材] ターポリン  
[カラー] ホワイト×ブラック 品番:4009034 (M)  
品番:4009036 (L)  
品番:4009038 (L)  
シルバー×ブラック 品番:4009035 (M)  
品番:4009037 (L)  
品番:4009039 (L)

[価格] M: 2,625円(税抜 2,500円)  
L: 2,835円(税抜 2,700円)  
L: 3,150円(税抜 3,000円)



ima x THE MEASURE

[サイズ] 150×5cm  
[カラー] グリーン 品番:4009014  
ブルー 品番:4009023  
[価格] 2,625円(税抜 2,500円)

2013 NEW

ima 4.5inchアルミプライヤー&専用ホルダー

[素材] アルミ  
[カラー] グリーン×ブラック 品番:4014030  
[価格] 3,045円(税抜 2,900円)



専用ホルダー&ランヤード付

錆に強い

ima 6.5inchラバーグリップマルチプライヤー

[素材] アルミ・ステンレス  
[カラー] グリーン×ブラック 品番:4014025  
[価格] 5,250円(税抜 5,000円)

Accessories & Equipment



肩ベルトの構造変更や浮力体を4分割にすることで肩1点に集中していた負荷を分散。フィット性が良く、長時間のウエーディングにおいても疲労を軽減してくれます。

ima x RBB フローティングベスト

[サイズ] フリー  
[カラー] ブラック 品番:4004043  
[価格] 27,300円(税抜 26,000円)

疲労軽減 最大75kg対応



BACK



ima x RBB フローティングベストの120kg対応モデル。

ima x RBB フローティングベスト HEAVY CLASS

[サイズ] フリー  
[カラー] ブラック 品番:4004044  
[価格] 28,350円(税抜 27,000円)

疲労軽減 最大120kg対応

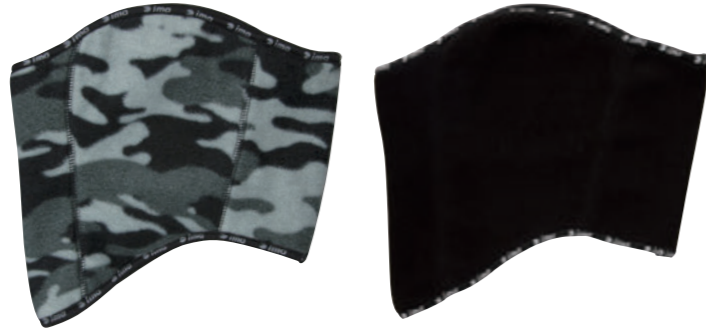


BACK



**imaサーフハット**

[サイズ]フリー  
 [素材]ナイロン・ネオプレン  
 [カラー]チャコールグレー 品番:4007132  
 カモ 品番:4007133  
 [価格]4,410円(税抜 4,200円)



**imaフリースネックウォーマー**  
 [サイズ]フリー  
 [カラー]ブラック 品番:4010012  
 グレーカモ 品番:4010013  
 [価格]3,465円(税抜 3,300円)



**imaニットキャップMOKO**  
 [サイズ]フリー  
 [カラー]ブラック 品番:4007163  
 モカ 品番:4007164  
 ダークレッド 品番:4007165  
 [価格]3,675円(税抜 3,500円)



アウトラスト  
 NASAで開発された、温度調節素材です。繊維の中にミクロン単位で組み込まれたカプセルの成分が温度変化に応じて液体→固体→液体と変化、吸熱・蓄熱・放熱することによって、いつも快適な温度帯にコントロールします。

**imaニットワークキャップDEEP**

[サイズ]フリー  
 [カラー]ブラック 品番:4007169  
 ブラウン 品番:4007170  
 [価格]3,465円(税抜 3,300円)



**imaコットンワッチ**

[サイズ]フリー  
 [カラー]ブラック 品番:4007139  
 チャコール 品番:4007140  
 アイボリー 品番:4007141  
 [価格]2,835円(税抜 2,700円)



**imaアメリカンキャップ**

[サイズ]フリー  
 [カラー]ブラック/ホワイト 品番:4007157  
 ネイビー/ホワイト 品番:4007158  
 グリーン/ブラック 品番:4007159  
 [価格]3,465円(税抜 3,300円)



**imaアメリカンキャップ**

[サイズ]フリー  
 [カラー]ブラック/ネイビー 品番:4007151  
 ブラック/グレー 品番:4007152  
 カモフラ/ブラック 品番:4007153  
 グレーカモ/ネイビー 品番:4007154  
 [価格]3,465円(税抜 3,300円)



**imaメッシュグローブ(3フィンガーレス・5フィンガー)**

[サイズ]L  
 [素材]ナイロンニット・アマラ(人工皮革)・ネオプレン  
 [カラー]ブラック 品番:4013022(5フィンガー) 品番:4013024(3フィンガーレス)  
 ネイビー 品番:4013023(5フィンガー) 品番:4013025(3フィンガーレス)  
 [価格]3,465円(税抜 3,300円)



**imaタイタニウムグローブ(3フィンガーレス)**

[サイズ]M-L  
 [カラー]ブラック 品番:4013028(M)  
 品番:4013029(L)  
 [価格]6,300円(税抜 6,000円)



**imaエイガード**

[サイズ]M:24~25.5cm 品番:4015001  
 L:26~27.5cm 品番:4015002  
 XL:28~30cm 品番:4015003  
 [素材]ケブラー×メーメックス生地  
 [カラー]ネイビー  
 [価格]47,250円(税抜 45,000円)



**imaネオブレングローブ(3フィンガーレス)**

[サイズ]フリー  
 [素材]ネオプレン  
 [カラー]ブラック 品番:4013030  
 [価格]4,200円(税抜 4,000円)







**ima ルアーケース3010**

[サイズ]205×145×40mm  
 [カラー]ima ホワイト 品番:4005027  
 ima ブルー 品番:4005028  
 ima グリーン 品番:4005029  
 ima ガンメタ 品番:4005030  
 ima レッド 品番:4005031  
 ima ブラウン 品番:4005032  
 [価格]735円(税抜 700円)



**ima 2009 ウェーダーバッグ**

[サイズ]W480×D360×H430mm  
 [素材]表面:ターボリン 内張:PVC サイドボード:EVA  
 [カラー]ブラック 品番:4009009  
 [価格]11,550円(税抜 11,000円)



濡れたままのウェーダーもそのまま折り込める折り畳み式のウェーダーバック。ネオプレンウェーダー+フローティングベストがそれぞれ1着がラクに収納でき、余ったスペースにその他道具を入れれば、車内もスッキリ。簡易保冷機能があり、魚の持ち帰りもOK。折り畳むと高さが10cmまでコンパクトになります。



**ima アタッシュケース**

[サイズ]330×260×85mm  
 [カラー]クリア 品番:4005034  
 [価格]1,680円(税抜 1,600円)



ルアーケース3010×4箱 収納可能

**imaピンオンリール**

[コード]90cm  
 [カラー]ブラッククリア 品番:4014023  
 クリア 品番:4014024  
 [価格]840円(税抜 800円)



**2013 NEW**

**ima マグネットリリーサー**

[素材]アルミ  
 [カラー]グリーン 品番:4014029  
 [価格]1,470円(税抜 1,400円)



**2013 NEW**

**ima カスタムホロシール**

[カラー]ブライト ホログラム、スターダスト ホログラム、クリア ホログラム、アバロンクリア ホログラム  
 [セット]背腹セット、側面セット、背腹・側面セット  
 [価格]背腹セット、側面セット各525円(税抜500円)  
 背腹・側面セット945円(税抜 900円)

**komomo SF-125**

**■側面セット**

ブライト ホログラム 品番:4018001  
 スターダスト ホログラム 品番:4018004  
 クリア ホログラム 品番:4018007  
 アバロンクリア ホログラム 品番:4018010

**■背腹セット**

ブライト ホログラム 品番:4018002  
 スターダスト ホログラム 品番:4018005  
 クリア ホログラム 品番:4018008  
 アバロンクリア ホログラム 品番:4018011

**■背腹・側面セット**

ブライト ホログラム 品番:4018003  
 スターダスト ホログラム 品番:4018006  
 クリア ホログラム 品番:4018009  
 アバロンクリア ホログラム 品番:4018012

**sasuke 120 裂波**

**■側面セット**

ブライト ホログラム 品番:4018013  
 スターダスト ホログラム 品番:4018016  
 クリア ホログラム 品番:4018019  
 アバロンクリア ホログラム 品番:4018022

**■背腹セット**

ブライト ホログラム 品番:4018014  
 スターダスト ホログラム 品番:4018017  
 クリア ホログラム 品番:4018020  
 アバロンクリア ホログラム 品番:4018023

**■背腹・側面セット**

ブライト ホログラム 品番:4018015  
 スターダスト ホログラム 品番:4018018  
 クリア ホログラム 品番:4018021  
 アバロンクリア ホログラム 品番:4018024

**ima パワフルスナップ**

[サイズ] #1 品番:4017001  
 #1.5 品番:4017002  
 #2 品番:4017003  
 [価格]735円(税抜 700円)  
 ※1パック7コ入り



**ima ロッドベルト(S)**

[サイズ]30×240mm  
 [カラー]グレー 品番:4014026  
 グリーン 品番:4014027  
 ブルー 品番:4014028  
 [価格]1,365円(税抜 1,300円)  
 ※同色2本入り



水深2m対応の完全防水仕様(IPX7相当)! 光源にはSUPERマルチカラーLEDを使用し、約10ルーメンの明るさで視認距離は約100m。赤・緑・青の3カラーモード搭載。カラビナホルダーが付属しているので、ゲームベストやカバン・バッグに装着できます。

**ima フラッシャー**

[サイズ]W23×H72×D23mm  
 [カラー]ブラック 品番:4014031  
 [価格]3,150円(税抜 3,000円)



**3カラーモード搭載**



imaルアーの形にカット済み! カスタムカラー作成や補修に最適です。また、薄く伸びやすいストレッチ素材なので、曲面でもシワになりにくく、段差も少なく貼れます。ハサミでも簡単・キレイに切れます!



ima × APiA 最先端マテリアル 4軸カーボン×W.C.W 類い稀なる飛距離と操作性を実現。



ディープウェーディングによるランガンスタイルを視野に入れ開発された“フロウハント”。機動力を重視、短めのレンジにショートグリップを採用し携行性が重視されている。ワンポイントのウェーディングでじっくりとシーバスと対峙する為のロッドスペックを追求。不安定な足元でも振り切れるやや長めのレンジと脇に挟んでリーリングできる最適なグリップ形状を採用した。



サーフでの使用をメインに定め、求められる飛距離と、遠距離かつ大型の魚に対応できるフッキングパワー、さらに近年サーフでの使用頻度が高い鉄板・ブレード系を強いカレントの中でも使えるように設計されたサーフの救世主“カレントメサイヤ”。4軸カーボン+W.C.Wの最先端マテリアルとimaの技術力が融合した最先端ロッド。



濱本 国彦  
Kunihiko Hamamoto

香川県在住ながら四国全域をカバリーする人情系釣師が活躍の場。アングラ、河川、港湾、磯、サーフとシールバスが楽しめる。所なら節操なくランカーに狙いを絞る。最近ではシールバスターをじっくり見ながらランカーを取る独特の釣法に開眼。驚異的なランカーハント確率を叩き出し注目を集めている。



西村 好仁  
Yoshihito Nishimura

高知の清流、四万十川に淀川を中心に活躍する。数々の巨大アカメやタイリクスズキを手中に収める四国屈指のアングラ。ヒラメやオシロイの道譜も深いこと知られている。また、フルトばかりでなくアマゴの降海型、サキマスを狙うエキスパートでもある。



西村 雅裕  
Masahiro Nishimura

シールバスとトラウトのルアーフィッシングの歴史を創り上げてきた人。シールバスの専門性や人気を飛躍的に高めたことで有名。干瀬におけるシールバスのウエディングゲームや磯ルアーゲームは、氏のロッド開発と共に進歩してきたことさえ言える。豊富な経験に裏付けられた卓越した知識と技能は、まさに日本を代表するアングラトと言える。



富田 典彰  
Noriaki Tomita

秋田、青森県の日本海を片道200kmかけて通い、若熱血アングラ。メインターゲットはシールバスで東北の各河川である。雄物川や米代川を釣り歩く。オアシスではジギングのマイイ、秋にはサ、モン、冬にはマダラを狙う。荒海と繰り出す。東北地方ならではのクローヤリイカといった魚種にも精通。



寺本 雄二  
Yuji Teramoto

日本有数の干満差を持つ有明海、熊本県下の流入河川をメインフィールドとして活躍している。特にリバーゲームでのアップストリームを駆使した手返しの早い釣りを得意とし、メーター級のランカーシールバスを次々と仕留める凄腕の持ち主。干満差の激しいフィールドで培ったスピード釣法が、近々復活の予定！



田村 稔  
Minoru Tamura

ルアー歴30年。過去にルビ、ヒラ、タイリク3種のメーター10キロオーバーをゲット！アカメは現在100kgクラス。最近では体力低下、及び家庭の事情で釣行回数が少なくなっています。仁淀川、新川川(高知県)



高津 利広  
Toshihiro Takatsu

日本中のシールバスが集まることで知られる「もんじゃ五十一」の店長。東京湾奥でボートを使ったチャロゲームでの大型シールバス狙いに定評がある。論より証拠の実践派で、100kg、凄腕、TSOに等、実際のボートナメタリでも数々の好成績を残している。仕事柄、方々からは出れないため、タスマメが釣れるというところを知らないのが玉に瑕な珍しいシールバスターである。



大澤 大介  
Daisuke Osawa

茨城を拠点にオカバリのヒラメをひたすら追い求め14年。関東一円を釣り歩き、バズフィッシングで得た経験をヘリスサーフでのヒラメフィッシングを展開している。地元元祖仲間と共に、フルト&ストリーム誌ではラメローラー隊として活躍。シーズン中は寝ても覚めてもヒラメのことを頭から離れず、週に一度は夢にうなされる日々。



大久保 亨一  
Ryoichi Okubo

偏執的なまでに磯でのシヨゲームにこだわり続けるヒラメフィッシング。ヒラメのたまたまあらゆる困難と苦労を厭わず、道なき道を歩き回りポイントへのアプローチを練り出す。さまざまな釣りスタイルを極めるとする修行僧のような強靱なる意志を持つ根柢からの釣師。



岩田 昭治  
Shoji Iwata

四季を問わず禁漁期の無い北海道で年間を通して、河川、シヨ、アから大型のトラウトを狙う。またクローヤリイカやアサヒといったターゲットにも道譜が深い。もはやライトタクルと一括りでは語れない北海道の超大型根魚を次々とランディングするテクニックは、任巻、メルテ、フン、シマウツの使い手。



今井 隆道  
Takamichi Imai

四国高知在住のベテランアングラ。陽気な豪快な性格とは裏腹に経験に基づいた正攻法な釣りを展開する。タイリクスズキ1200をこえるランカーゲット率の高さは、並み居るアイマスタア陣の中でも上位に入る。仁淀川やその周辺のサーフを得意フィールドとし、青物、アカメといった高知ならではのターゲットにも詳しい。



荒木 潤一  
Junichi Araki

五島といえはこの男。永きに渡りヒラメスズキに魅了され続け、足しげく磯へ通つエキスパート。五島という恵まれたフィールド、そしてその壮大な自然を誰よりも強く深く愛している。最近ではヒラマサに強い思いを馳せている。妄想家。



浅川 和治  
Kazuharu Asakawa

厚総半島帯をホームとしつつ、シールバスターゲットを追い求め日本各地を駆け巡るマルチスタイルアングラ。ソルトウォーターのシヨ、オアシスのみならず、源流のイナナから本流のサクラマまで多様なターゲットを求め、人生と共にルアーを投げ倒しているソウルラングラー。



赤堀 文仁  
Fumihito Akahori

御存知！ハバナの葉巻がシンボルマークの武闘派中年ラングラー。特殊部隊出身と言う特異な経歴を持ち、激流のリバー、シールバスからフラットまでこなす。趣味はタナゴ釣り「ガーディング」(D.I.Y.スパーG.T.観戦)と幅が広い。今年でライター&タスマ1歴25年。アメプロ(マンダシ)の赤堀の独り言。



山岡 一信  
Kazunobu Yamaoka

磯からのシヨジギングを得意とするアマメスター陣の中でも、異なる存在。キヌステイグに頼らず、根柢はパーチカルで攻める斬新なスタイルで次々と大物を中に入れている。過去にはオクトパルサーという経歴を持ち、琵琶湖の畔に在住。地の利を生かしてラングバスターやトラウトも楽しんでる。



村岡 昌憲  
Masanori Muraoka

言わずと知れた港部のカリスアマングラー。釣りに対する真摯な姿勢と理論的な釣法により多くのファンを獲得している。メディアやネットでのイメージが先行しがちであるが、実はシヤで温厚な性格の持ち主。このイメージとはかけ離れたキヤでもまた彼の魅力の一つであろう。



松尾 道洋  
Michihiro Matsuo

広島河川を中心に中国エリアを広くカバーしています。シールバスのみならず、メバルなどの根魚もよく愛しており、全くの釣り全の魚種において食欲にランカーを追いかけられるスタイルです。



マサケン  
Masaken

転勤の関係で、名古屋、伊勢湾、神戸、ベトナム、姫路周辺、福岡周辺と広大なホームグラウンドを持つ。定住型釣行をライフルワークと、各地のシムステイトに精通している。デイゲームを中心に磯サーフ、ウエディング、ベイ、河川とあらゆるフィールドで活躍中。チームサムデイM、チームシルティ、アイ、チームフルスクイの各副会長を兼任。



堀 浩輔  
Kosuke Hori

日本海、近畿、田の磯や河川を中心に活動する関西在住アングラ。リバーシールバス、磯、サーフを始め、シヤ、青物、アオリイカから雷魚と幅広いルアーゲームを楽しんでいる。アングラ同士のつながりを大切に、アフター5には大阪の某釣具店に必ず顔を出す。ハニートラップの使い手としても知られる。



藤谷 聡  
Satoshi Fujiya

今年、田澤氏と一緒にはじめてシールバスで一人170匹オーバーの爆釣を体験した。馬力船外機とボートを購入し、リバーを含め今まで攻略できなかったポイントを試してみたい。海までは遠いがシールバスは近づくまで遊ばせてくれる環境。



樋口 泰正  
Yasumasa Higuchi

シヨからのキヌステイグゲームを得意として、河川や磯、サーフと場所を問わずシールバスを追い求めている。シールバス以外にもデカエバ、アオリイカ、深流魚を四季折々楽しめ、宮崎県在住のアングラ。行動範囲は、熊本、鹿児島にも及び、時にはボートからG.T.狙いで遠征することもある。



桑村 孝  
Takashi Kuwamura

典型的なサラリマンアングラ。玉砕せんせいの愛称で知られ、等身丈のテスターとして親しまれている。ホームは主に横浜、湘南、内房エリア。オカバからウエディングゲーム、メイト、シヨ、ジギングを得意としている。家族の機嫌を取りつつ、深く楽しい努力をしながら少ない時間を作って釣りを楽しんでいる。



岸本 泰史  
Hiroshi Kishimoto

京都丹後地方をホームグラウンドとし、主に磯場でのシールバスをターゲットに狙う。回避待の釣りよりも攻撃的ランカーを好みポイントや釣り場を確実にシールバスを仕留めている。最近では磯マルばかりでなく当地でのヒラメスズキ開拓に挑戦している。また、サーフの砂マルやメバルも得意分野。



金子 具幸  
Tomoyuki Kaneko

イカツ系ならキヌステイグ、一匹のシールバスに出会うため一匹のランカーシールバスに出会うため、記憶に残る記録に残る出会いを夢見て、港、河川、干潟、磯で修行中。林の中、川など引き出される多彩な釣りを展開、確実な内川のシールバスを仕留めてゆくスタイルは地元アングラの中でも高い評価を得ている。



加藤 正則  
Masanori Kato

東京湾奥部から内房地域の港、河川、干潟をメインに釣り。秋から早春のシーズンにかけては、修繕中、林の中、川など引き出される多彩な釣りを展開、確実な内川のシールバスを仕留めてゆくスタイルは地元アングラの中でも高い評価を得ている。

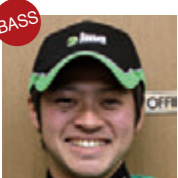


大野 ゆうき  
Yuki Ono

東京湾奥部から内房地域の港、河川、干潟をメインに釣り。秋から早春のシーズンにかけては、修繕中、林の中、川など引き出される多彩な釣りを展開、確実な内川のシールバスを仕留めてゆくスタイルは地元アングラの中でも高い評価を得ている。

ima Expert Anglers

imaは日本国内での様々なメソッドや特殊パターンに注目。その実践的なデータを製品に反映させるべく、北は北海道から南は沖縄まで「アイマエキスパートアングラーズ」の意見を取り入れています。これからも「釣れるルアー」を皆様のお手元に届けられるように実釣テストを繰り返して製品を開発していきます。彼らの活躍に期待下さい。



高橋 和也  
Kazuya Takahashi

幼少の頃から、鯉、鯉、鯉釣りを楽しみ、大人になってからバスフィッシングを始め。最初のバス1匹に時間がかかりながらも徐々にめり込み、トーナメントに挑戦するようになる。現在は印旛水系を活動拠点に、印旛沼のカバー打ちで鍛えたパワーフィッシングを得意とする。



大津 乗彦  
Norihiko Otsu

中部河川および野池(愛知県)



内山 幸也  
Yukinari Uchiyama

幼少期よりヘラ、鯉、鯉釣りを楽しみ、大人になってからバスフィッシングを始め。最初のバス1匹に時間がかかりながらも徐々にめり込み、トーナメントに挑戦するようになる。現在は印旛水系を活動拠点に、印旛沼のカバー打ちで鍛えたパワーフィッシングを得意とする。



辺見 哲也  
Tetsuya Henmi

春には河川を遡上するサクラマス。夏場には溪流トラウトやリバーシールバス。秋には磯ルアーゲームと合わせて幅広いゲームを楽しむ。それぞれの釣りに深い経験と知識を持ち、様々なテクニックを駆使して日本各地を攻略しつづける。東京湾、ボートゲームキヤンペーンとしての手腕も不動の地位を築いている。



中濱 仁智  
Yoshinori Nakahama

本土地とはまた違った生態系を持つ北の大地北海道。ホーは支笏湖を拠点として多彩な釣りを追いかけて道内を釣り歩く。特に支笏湖のモンスタートラウト、北海道ネイティブトラウトである道東のアマス、野生化したレインボートラウトへの思い入れが強く、巨大トラウトとの出会いを夢見て日々フィールドへと足を運んでいる。



川村 寿臣  
Hisaomi Kawamura

多分1mでは最年長だと思いましたが今年53才のシルバース系親父ス。まあ何となく油汗たらしなが、ボチボチやまはしもつとも。若い人が頑張るて、imaを引っ張って行こうはしもつとも。



横坂 浩一  
Koichi Yokosaka

長ルアー歴を持つ東北の重鎮アングラ。既存の釣りに満足できず、常に新しいターゲットや先進の釣りを求め続ける。メイフィールドは東北だが、北海道から沖縄、海外も視野に入れた遠征釣行も多い。ソルトキヌステイグは四季折々のゲームを堪能、各種媒体への露出も多く、名実共にラングラーを代表するアングラのひとり。



田澤 晃  
Akira Tazawa

長ルアー歴を持つ東北の重鎮アングラ。既存の釣りに満足できず、常に新しいターゲットや先進の釣りを求め続ける。メイフィールドは東北だが、北海道から沖縄、海外も視野に入れた遠征釣行も多い。ソルトキヌステイグは四季折々のゲームを堪能、各種媒体への露出も多く、名実共にラングラーを代表するアングラのひとり。



鈴木 斉  
Hitoshi Suzuki

得意なフィッシングスタイルはリバーシールバスゲームであるが、フィールドをほぼ全国を放浪しつつ遠征釣行に出向く。その他、トラウト、ジギング、マグロのキヌステイグは、四季折々のゲームを堪能、各種媒体への露出も多く、名実共にラングラーを代表するアングラのひとり。



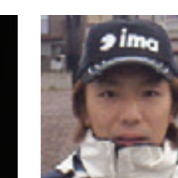
新保 明弘  
Akihiro Shinpo

静岡の名河川、狩野川をホームグラウンドとし、幼少の頃からシールバスのウエディングゲームに親しみ、ベストフィッシュは2007年にk.o.m.o.で止めた905g。現在は釣りの幅を広げアオリイカ、メバル、シヨ、青物やオアシスのシマ、カツオのキヌステイグゲームを楽しむ。時には銭洲やインバ、遠征して大型青物を狙うことも。



佐野 正行  
Masayuki Sano

三番瀬、盤州干潟といった東京湾にわずかに残される希少な干潟がメインフィールド。サーフ、フィッシュだけじゃなく、全てのレンジを駆使して干潟のシールバスを攻略中。内房、南房地区の磯ルアーも得意とし、晩秋には足籠く通いつめ、釣りの他にサッカードをこよく愛し、釣り、釣り、釣り、釣りは生活現役が口癖。



佐藤 篤  
Atsushi sato

秋田在住。海、川と厳寒期以外はシールバスを求め歩き、大物(至り)狙いのスタイルが得意。パターンを掴めれば、120kgの釣果を叩き出す場面多数。数年前からハードルアーでのメバル狙いにもマツている。釣りのキャリアが長いせいか地元、他県の釣友も多く、「楽しい釣り」をモットーに活動している。



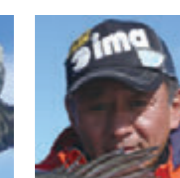
佐々木 孝基  
Takanori Sasaki

2010年北海道から沖縄県に拠点を移す。生息魚種や環境が大きく変化があったが、持ち前の応用力でカバーし、釣果を叩き出す。本島周回の珊瑚礁でタマン(ハドラー)のメバル狙いにもマツている。釣りのキャリアが長いせいか地元、他県の釣友も多く、「楽しい釣り」をモットーに活動している。



小林 厚治  
Koji Kobayashi

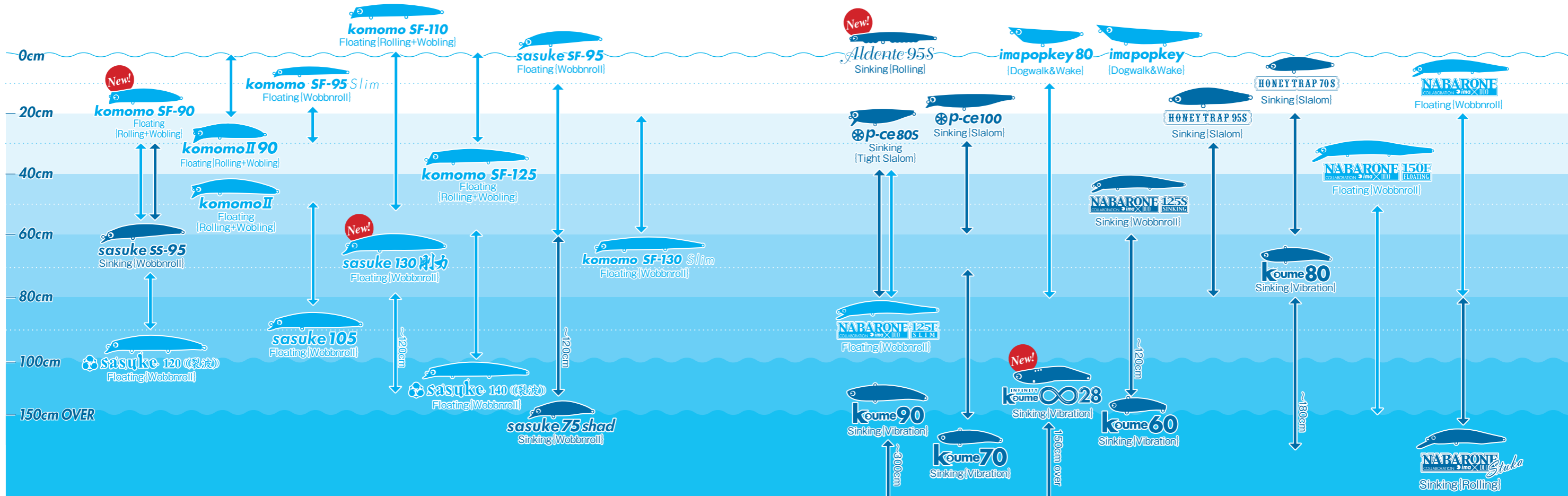
老舗クラブ「東京シールバスターズ」の代表を務める。東京湾全域、房総半島を中心に多彩な魚種を相手に連日連夜釣行を繰り返している。ソルトばかりでなく、トラウトから各種多岐にわたる幅広いジャンルをこなす。最近では九州方面への遠征も多く、リバーシールバスや磯ヒラを楽しんでいる。



小林 厚治  
Koji Kobayashi

老舗クラブ「東京シールバスターズ」の代表を務める。東京湾全域、房総半島を中心に多彩な魚種を相手に連日連夜釣行を繰り返している。ソルトばかりでなく、トラウトから各種多岐にわたる幅広いジャンルをこなす。最近では九州方面への遠征も多く、リバーシールバスや磯ヒラを楽しんでいる。

SALT WATER LURE DEPTH CHART [イマルアー深度表]



	sasuke 140 裂波	sasuke 120 裂波	sasuke105	sasuke75 shad	sasuke SF-95	sasuke SS-95
全長	140mm	120mm	105mm	75mm	95mm	95mm
重量	20g	17g	13g	8g	8g	10g
タイプ	フローティング	フローティング(海水)	フローティング	シンキング	フローティング	シンキング
レンジ	60~100cm	70~90cm	50~80cm	60~120cm	10~60cm	30~60cm
アクション	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール
フック	ST-46 #6	ST-46 #6	ST-46 #4	ST-46 #6	ST-46 #6	ST-46 #6
リング	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#2	オリジナル#3	オリジナル#3
価格(税込)	2,520円	2,100円	2,100円	1,628円	1,785円	1,785円
誕生日	2008.6.21	2004.9.21	2009.11.30	2009.6.30	2001.11.15	2001.11.15

	sasuke 130 剛力	komomo SF-125	komomo SF-110	komomo SF-95 slim	komomo-SF130 Slim	komomoII
全長	130mm	125mm	110mm	95mm	130mm	110mm
重量	25g	16g	12g	6g	12g	15g
タイプ	フローティング	フローティング	フローティング	フローティング(海水)	フローティング	フローティング
レンジ	80~120cm	0~30cm	15~30cm	20~60cm	0~20cm	0~20cm
アクション	ウォブンロール	ローリング+ウォブリング	ローリング+ウォブリング	ウォブンロール	ウォブンロール	ローリング+ウォブリング
フック	ST-46 #2	ST-46 #4	ST-46 #8	ST-46 #10	ST-46 #6	ST-46 #3
リング	オリジナル#4	オリジナル#3	オリジナル#2	オリジナル#2	オリジナル#3	オリジナル#3
価格(税込)	2,310円	2,205円	1,995円	1,890円	2,205円	2,205円
誕生日	2012.9.10	2010.11.21	2011.7.18	2007.3.10	2005.12.21	2009.3.10

	komomoII90	komomo SF-90	Hound 125F Glide	Hound 125F Fang	Hound 125F Orca	Hound 100F Sonic
全長	90mm	90mm	125mm	125mm	125mm	100mm
重量	12g	14g	20g	20g	20g	14g
タイプ	フローティング	フローティング	フローティング	フローティング	フローティング	フローティング
レンジ	0~20cm	30~60cm	70~100cm	80cm~130cm	80cm~130cm	40~80cm
アクション	ローリング+ウォブリング	ローリング+ウォブリング	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール
フック	ST-46 #4	ST-46 #4	ST-46 #4	ST-46 #2	ST-46 #4	ST-46 #4
リング	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3
価格(税込)	1,890円	1,943円	2,310円	2,310円	2,310円	1,890円
誕生日	2011.4.18	2012.5.25	2011.10.25	2011.12.25	2012.4.30	2013.2.25

	Keep 125F	魚道130MD	魚道110MD	魚道Heavy Surfur90	imapopkey	imapopkey80
全長	125mm	130mm	110mm	90mm	120mm	80mm
重量	15g	22g	17g	28g	16g	8g
タイプ	フローティング	フローティング	フローティング	ヘビーシンキング	直立浮き	直立浮き
レンジ	40~100cm	70~100cm	80~160cm	100~120cm	スラローム+ウォブンロール	ドッグウォーク&ウェイク
アクション	ウォブンロール	ローリング	ウォブンロール	スラローム+ウォブンロール	ドッグウォーク&ウェイク	ドッグウォーク&ウェイク
フック	ST-46 #6	ST-46 #4	ST-46 #6	ST-46 #6	ST-46 #4	ST-46 #6
リング	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3
価格(税込)	2,205円	2,468円	2,100円	1,995円	2,310円	1,995円
誕生日	2008.4.21	2007.6.10	2005.8.10	2012.5.10	2007.9.10	2010.6.21

	NABARONE 150F	NABARONE	NABARONE 125S	NABARONE 125F slim	NABARONE Stuka	ko130S	Aldente 95S
全長	150mm	125mm	125mm	125mm	90mm	130mm	95mm
重量	23g	16g	17.5g	14g	12g	12g	7.1g
タイプ	フローティング	フローティング	シンキング	フローティング	シンキング	シンキング	シンキング
レンジ	50~150cm	20~80cm	60~120cm	40~80cm	80~150cm	0~60cm	0~1cm
アクション	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール	ローリング	ウォブンロール	ゆるぎロールアクション
フック	ST-46 #3	ST-46 #6	ST-46 #6	ST-46 #4	ST-46 #6	ST-46 #8	ST-46 #10
リング	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#2	オリジナル#2
価格(税込)	2,730円	2,100円	2,258円	2,258円	1,995円	2,100円	1,575円
誕生日	2009.8.10	2005.11.21	2008.8.10	2010.4.30	2007.7.10	2006.11.21	2012.12.10

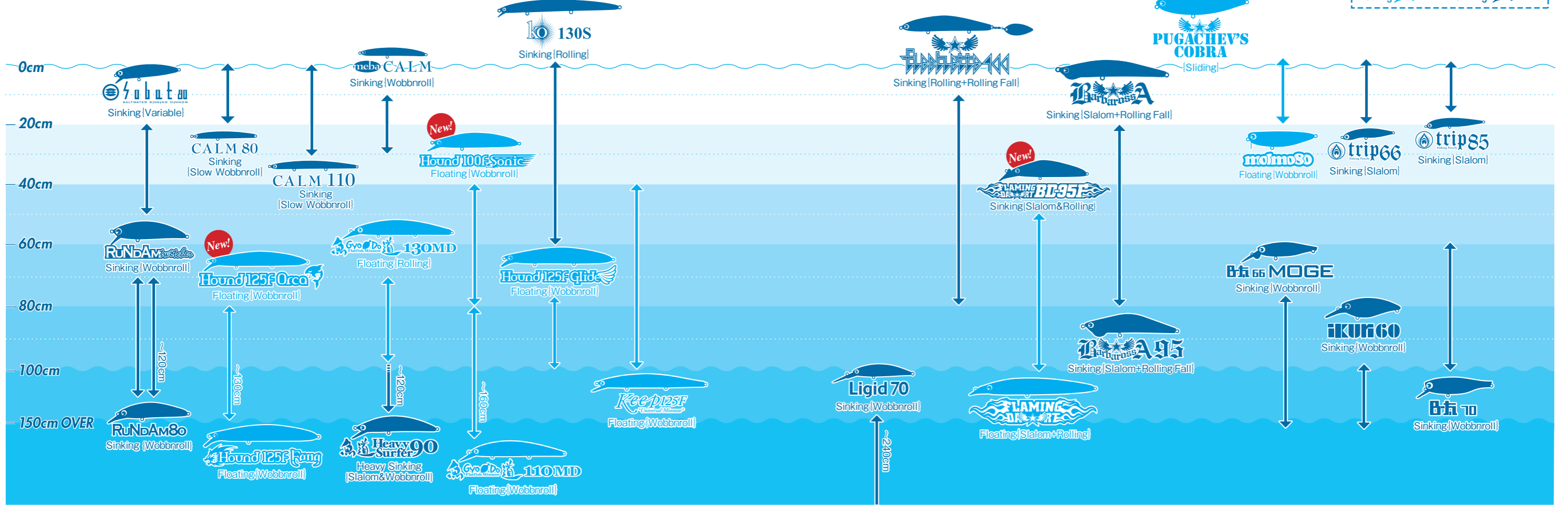
	p-ce100	p-ce80S	HONEY TRAP 95S	HONEY TRAP 70S	molmo80	B-太 70	B-太 66 MOGE
全長	100mm	80mm	95mm	70mm	80mm	70mm	66mm
重量	17g	16g	25g	14g	12g	8g	8g
タイプ	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング	フローティング	シンキング	シンキング
レンジ	30~60cm	40~80cm	30~80cm	20~60cm	0~20cm	60~100cm	80~150cm
アクション	スラローム	タイトスラローム	スラローム	スラローム	ウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール
フック	ST-46 #4	ST-46 #6	ST-46 #3	ST-46 #6	ST-46 #6	ST-46 #8	ST-46 #8
リング	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#4	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#2	オリジナル#2
価格(税込)	2,100円	1,838円	2,100円	1,995円	1,890円	1,575円	1,680円
誕生日	2009.9.30	2010.10.21	2006.12.21	2008.3.21	2011.3.31	2004.6.21	2004.10.21

	Koume90	Koume80	Koume70	Koume60	Koume INFINITY 28	trip85	trip66
全長	90mm	80mm	70mm	60mm	80mm	85mm	66mm
重量	20g	15g	13g	11g	28g	12g	10g
タイプ	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング
レンジ	160~300cm	80~180cm	70~150cm	60~120cm	150cm over	0~15cm	0~20cm
アクション	バイブレーション	バイブレーション	バイブレーション	バイブレーション	バイブレーション	スラローム	スラローム
フック	ST-46 #4	ST-46 #8	ST-46 #10	ST-46 #10	ST-46 #8	ST-46 #8	ST-46 #10
リング	オリジナル#2	オリジナル#2	オリジナル#2	オリジナル#2	オリジナル#3	オリジナル#2	オリジナル#2
価格(税込)	1,680円	1,628円	1,470円	1,470円	1,418円	1,785円	1,680円
誕生日	2011.2.18	2010.5.21	2010.4.28	2011.1.25	2012.8.15	2005.4.21	2006.1.21

	CALM 110	CALM 80	meba CALM	IKURI60	Sobat 80	SPIN GULF 30	SPIN GULF 20
全長	110mm	80mm	60mm	60mm	80mm	105mm(ボディ55mm)	95mm(ボディ45mm)
重量	11g	7g	4.8g	10g	13g	30g	20g
タイプ	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング
レンジ	0~30cm	0~20cm	10~30cm	100~150cm	20~50cm		
アクション	ウォブンロール	スローウォブンロール	ウォブンロール	ウォブンロール	可変アクション		
フック	ST-46 #10	ST-46 #10	ST-36BC #14	ST-46 #8	ST-46 #6	ST-46 #8	ST-46 #10
リング	オリジナル#2	オリジナル#2	オリジナル#1	オリジナル#2	オリジナル#3	オリジナル #2	オリジナル#2
価格(税込)	1,733円	1,523円	1,418円	1,733円	1,680円	1,313円	1,313円
誕生日	2008.12.15	2007.1.31	2009.12.21	2010.5.31	2005.6.21	2011.8.25	2012.8.10

ブレード:オリジナル #3 ブレード:オリジナル #3

# SALT WATER LURE DEPTH CHART [imaルアー深度表]



	Ligid70	RUNDAM80	RUNDAM twitcher	flechette 100
全長	70mm	80mm	75mm	150mm (ボディ100mm)
重量	13g	13g	11g	24g
タイプ	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング
レンジ	150~240cm	60~120cm	60~120cm	10~80cm
アクション	ウォンロール	ウォンロール	ウォンロール	微振動ローリング+ローリングフォール
フック	ST-46 #6	ST-46 #4	ST-46 #5	ST-46 #6
リング	オリジナル#2	オリジナル#3	オリジナル#2	オリジナル#2
価格(税込)	1,785円	1,680円	1,680円	2,100円
誕生日	2010.7.21	2008.9.21	2010.9.21	2011.11.10

	BarbarossA	BarbarossA 95	FLAMING DART	FLAMING DART BD-95F	PUGACHEV'S COBRA
全長	120mm	95mm	125mm	95mm	90mm
重量	33g	22g	20g	18g	12g
タイプ	シンキング	シンキング	フローティング	フローティング	トップウォーター
レンジ	20~80cm	20~80cm	50~100cm	50~100cm	
アクション	S字スラローム+ローリングフォール	S字スラローム+ローリングフォール	ハンティングスラローム+ローリング	ビーストライドランク スラローム+ローリング	スライディング
フック	ST-46 #3	ST-46 #4	ST-46 #3	ST-46 #3	ST-46 #6
リング	オリジナル#4	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3	オリジナル#3
価格(税込)	2,100円	1,890円	2,205円	1,995円	2,100円
誕生日	2010.7.31	2011.9.25	2011.12.10	2012.7.20	2010.8.21

# BASS

	ROCK-N' VIBE 14g	ROCK-N' VIBE 17g	ROCK-N' VIBE 19g	PINJACK-200	BEAST HUNTER	SQUARE BILL
全長	60mm	60mm	60mm	55mm	67mm	55mm
重量	14g	17g	19g	13g	23g	10g
タイプ	シンキング	シンキング	シンキング	フローティング	フローティング	フローティング
レンジ				MAX 2m	MAX 4.2m	
アクション				ロール7:ウォブル3		
フック	Owner ST-36BC #5	Owner ST-36BC #5	Owner ST-36BC #5	ST-36BC #4	ST-36BC #2	Owner ST-36 #6
リング	オリジナル #2	オリジナル #2	オリジナル #2	オリジナル #2	オリジナル #2	オリジナル #2
価格(税込)	1,680円	1,680円	1,680円	1,680円	1,838円	1,838円
誕生日	2010.4.10	2010.4.10	2011.10.9	2012.2.21	2011.8.21	2011.2.28

	ROUMba	imaShaker	FLIT120	FLIT 100	FOXY FRY
全長	70mm	60mm	120mm	100mm	60mm
重量	18g	11g	14g	10g	5g
タイプ	フローティング	フローティング	サスベンド	サスベンド	サスベンド
レンジ					
アクション					タイトピッチウォンロール
フック	前 ST-36BC #4 後 トーナメントレター	Owner ST-36 #4	Owner ST-36BC #6	Owner ST-36BC #6	ST-26 #10
リング	オリジナル #3	オリジナル #2	オリジナル #2	オリジナル #2	オリジナル #1
価格(税込)	1,890円	1,785円	1,890円	1,838円	1,575円
誕生日	2010.6.10	2010.4.30	2010.3.31	2011.1.25	2010.12.18

# ima TROUT

	issen 45S	sukari 50S	sukari 50SS	sukari 50SS Deep	Farina 70S	Farina 90SR
全長	45mm	50mm	50mm	50mm	70mm	90mm
重量	3.7g	4g	5g	5g	5.5g	12g
タイプ	シンキング	シンキングウォンロール	シンキング	シンキング	シンキング	シンキング
フック	SBL-55M #10 シングルフック	ST-36BC #12	ST-36BC #12	ST-36BC #12	ST-26TN #8	ST-46 #6
リング	オリジナル #1	オリジナル #1	オリジナル #1	オリジナル #1	オリジナル #2	オリジナル #3
価格(税込)	1,575円	1,575円	1,575円	1,575円	1,733円	1,890円
誕生日	2012.2.21	2010.4.10	2011.3.10	2011.3.10	2010.2.21	2007.2.10

	Farina 90F	Farina 90S	Farina Deep85F
全長	90mm	90mm	85mm
重量	10g	12g	10g
タイプ	フローティング	シンキング	フローティング
フック	ST-46 #6	ST-46 #6	ST-46 #6
リング	オリジナル #3	オリジナル #3	オリジナル #3
価格(税込)	1,890円	1,890円	1,890円
誕生日	2007.12.1	2007.1.21	2007.1.21

## 小林厚治の、釣り人生。

小林厚治は、数字としての釣果を誇るようなタイプのアングララーではない。しかしそれでも、その数を並べてみたいと思わせるような釣果を上げる。

2012年5月シヨアからの70cmの初めてのアカメを皮切りに、10月には同じくシヨアから87cmのアカメ、11月に97cmのランカーシーバス。

そして12月にはついに124cm、34kgの巨大アカメを釣り上げ、さらに同日自己記録となる100cmのシーバスをキャッチするという快挙を成し遂げている。

もちろん高知だけではない。ホームである東京湾釣行の合間に遠征を繰り返し、3月の五島列島でのヒラスネキ82cm、クロダイ53cm。10月には沼津の海で140cmのハラムツを釣り上げた。

「仲間に言われたとおりによったおかげです。釣らせてもらったんです」と謙虚に彼は言う。自らの腕を誇る気配は微塵もない。

たしかにどの魚を釣り上げた時も、彼の傍らには、その後ろ姿を見守る仲間たちの姿があった。自らのロッドを置いて、ネットを構え、彼が魚を釣り上げるのを待つ仲間たちは小林厚治というアングララーに、心底惚れ込んでいるのだ。

彼は自身のブログでの釣果報告で「乾杯！」という言葉をも使う。それは決して釣果を誇る言葉ではなく、出会えた魚と、その魚を育て

くれた海とサポートしてくれた仲間たちへの感謝を表す言葉なのではないだろうか。

「働いて、休みの日に家族に見送られて釣りに行く。そして釣り場では、仲間と楽しい時間を過ごすこと。これが私の永遠のテーマです」小林厚治は、釣りを愛している。

「自分の生活の中で、出来るだけの時間を釣りに費やし、その中で出来るだけ大きな魚に会いたい。数字の目標はありません」小林厚治の釣りに勝ち負けはない。

そのスタイルは多くのアングララーを魅了し、彼らがまた小林厚治というアングララーの釣りを支えてきた。

そこには、釣りという遊びにのめり込むことで人生そのものを豊かにしてきた人の人間の姿がある。

どこかの水辺でもし、彼に出会ったなら気軽に話しかけてみるというかもしれない。

彼はきっと多くの釣行と仲間たちとの出会いに彩られた幸せな笑顔、優しく応えてくれるだろう。ひよとすると、あなたの釣りと人生をより豊かにする何かを見せてくれるかもしれない。

小林厚治というアングララーの、釣りと人生に、乾杯しよう。



人生に、もっと思い出を。



komomo SF-125 2012年11月18日。テスター小林厚治が高知県浦戸湾で97cmのスズキを釣ったメモリアルルアー。



ima facebookページは、imaホームページと連携して製品情報を始めとして、日々更新されるimaテスターブログの紹介や、イベント、メディア情報、facebookオリジナル企画などを毎日大量発信中「いいね!」や気軽なコメントをお待ちしています。twitterでも同様に情報発信中!

facebook [www.facebook.com/amsdesign.ima](http://www.facebook.com/amsdesign.ima)  
twitter [twitter.com/#!/ima\\_ams](http://twitter.com/#!/ima_ams)



WEBSITE [www.ima-ams.co.jp](http://www.ima-ams.co.jp)



毎月更新! imaNEWS

新製品、限定商品を使い方を交えながらご紹介するimaニュース。ブログよりPDFダウンロードが可能。毎月更新!



ますます充実! imaチャンネル!  
HOTな新製品情報や、エキスパートアングラーによる実釣・解説などを動画でお届けする「imaチャンネル」。スマートフォン、携帯でも閲覧可。



imaパッケージ回収キャンペーンは釣り場のゴミを減らし、釣り場環境の保全を目的にルアー製造メーカーとして始めた活動です。多様な生態系を持った釣りの楽しめる環境を次の世代へと巡らせたい。そんな思いをこめた取り組みにぜひご参加ください。

公式メールマガジン imag (PC・モバイル)  
ima webサイト公式メールマガジン。ホームページの更新情報や、新製品の紹介はモチロン、会員様限定の豪華プレゼントやお得な情報! ippaiのメルマガを配信。携帯にはテキストメールのimagmobile。PCには画像付きで分かりやすいHTML版のimagをご用意。

ima陸上チーム

ima陸上チームは2007年に創部された陸上クラブチームです。幼稚園児から小学生、青年男女を含む3つのクラブチームで編成されています。2012年全国実業団で総合成績4位を獲得しました。



まるごみ協賛

海をメインフィールドとし、フィッシングに関わる企業として環境への取り組みは重要であると考えています。株式会社アムズデザインは、2008年より協賛しております。詳しくはホームページをご覧ください。●まるごみHP [marugomi.jp](http://marugomi.jp)



パドボフィッシング振興支援

今、世界的に流行のスタンドアップパドルボード。弊社ではパドボの生みの親である奥田哲氏(オクダスタイルサーフィン代表)のアイデアに共感し、スタンドアップパドルボードを利用した新しいフィッシングスタイル「パドボフィッシング」の振興に支援をしております。鎌倉の海を舞台とした競技会「パドボグランプリ」、またパドボグランプリから独立したパドボフィッシング専門の大会「イナダクラシック」などへ協賛しております。●パドボフィッシング HP [www.padobo.com](http://www.padobo.com)

